Panasonic®

取扱説明書 基本ガイド

パーソナルコンピューター

品番 CF-B10 シリーズ

（Windows 7）

本機の説明書には、各種『取扱説明書』や、パソコンの画面で見る『操作マニュアル』などがあります。以下のように活用してください。

はじめに見る

『取扱説明書 準備と設定ガイド』
●最初に「付属品の確認」で付属品を確認してください。

付属品、Windowsのセットアップ、別売品、保証とアフターサービスなど

次に見る

『取扱説明書 基本ガイド』（本書）— 基本操作、各種設定、メモリーの取り付け、再インストールなど

『操作マニュアル』
画面上の 操作マニュアル をダブルクリックして表示

インターネット、省電力など

困ったときに見る

『取扱説明書 基本ガイド』（本書）の
「このパソコンにトラブルがあったときは」（➡64ページ）

必要なときに見る

『取扱説明書 Windows® 7入門ガイド』
『取扱説明書 無線LAN接続ガイド』
（機種によっては付属していない場合があります。）

『ネットセレクター２の使い方』
『ハードディスクの取り扱いについて』
『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』

（表示方法 ➡ 本書の22ページ）

は画面で見るマニュアルのマークです。

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●**ご使用前に「安全上のご注意」（11 ～ 15ページ）を必ずお読みください。**
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
●製品の品番は、本体底面の品番表示または「仕様」でご確認ください。

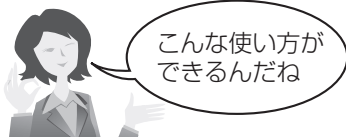
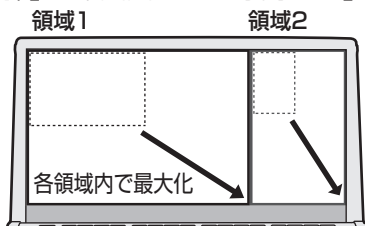
レッツノートでできること

楽しみを広げる

● **ワイヤレスでブロードバンド**
無線LAN機能を搭載しています。[※1]

● **SDメモリーカードスロット装備**

※1 5.2GHz/5.3GHz帯（W52/W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。W52/W53をご使用で無線LANがオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめIEEE802.11aを無効に設定しておいてください（➡『操作マニュアル』「（無線機能）」の「IEEE802.11aの有効/無効を切り替える」）。5.47GHz～5.725GHzの周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

便利に使う

● **画面表示を分割できる**
画面分割ユーティリティを使って画面全体を上下左右に2分割/3分割/4分割し、各領域内でウィンドウを最大化することができます。
➡『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「画面表示を分割する」

● **Windows 7（32ビット）とWindows 7（64ビット）が選べる**
本機では、ハードディスクリカバリー機能を使ってWindows 7を再インストールするときに、32ビットか64ビットかを選ぶことができます。（➡84ページ）

パソコンを守る

● **自分に合ったセキュリティ設定**
セキュリティ設定ユーティリティで、パスワードなどさまざまなセキュリティ対策を行うことができます。（➡35ページ）

● **ウイルスから守る**
デスクトップに が表示されている機種ではマカフィー・PCセキュリティセンターをセットアップできます。

快適に使う

● **使う目的に合わせてパソコンの設定を切り替える**
Windows標準の電源プランに加えて、「パナソニックの電源管理（標準）」「パナソニックの電源管理（プレゼンテーション）」「パナソニックの電源管理（モバイル）」「パナソニックの電源管理（省電力）」「パナソニックの電源管理（放熱優先）」の5つの電源プランが用意されています。
会議でプレゼンテーションをするときは、電源プラン拡張ユーティリティを使って電源プランを「パナソニックの電源管理（プレゼンテーション）」に設定。スクリーンセーバーが起動することなく、画面をオンのままにするなど、プレゼンテーションに適した状態で使うことができます。

● **Windowsが起動するまでの時間を短縮**
クイックブートマネージャーを使ってセットアップユーティリティの「起動」メニューの[Boot Mode]を[高速]に設定したり、Windowsの設定を変更したりすることで、パソコンの電源を入れてからWindowsが起動するまでの時間を短縮することができます。
➡『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「Windowsが起動するまでの時間を短くする」

詳しい説明は画面で見る『操作マニュアル』を活用

各項目をクリックしてください。

無線機能　バッテリー　レッツノート活用
セキュリティ　周辺機器　など

もくじ

本機を安全・快適に、そして便利に活用していただくために、次の説明書を用意しています。

『取扱説明書 準備と設定ガイド』 はじめに必ずお読みください。	• 初めてお使いになるとき（ご使用前の準備・設定や付属品の確認） • 消耗品、別売り商品、アフターサービスについて知りたいとき
『取扱説明書 基本ガイド』（本書）	• 基本操作や仕様などの情報を知りたいとき • 困ったとき（画面で見るマニュアルが見られない場合）
画面で見る 『操作マニュアル』と『困ったときのQ&A』	• 本機の機能・操作・活用方法を知りたいとき • セキュリティ機能について知りたいとき • 困ったとき

●安全上のご注意

●はじめに

●使ってみる

もくじ

●困ったとき

バッテリーのQ&A

ポインターと画面表示のQ&A

リカバリーディスク（プロダクトリカバリー DVD-ROM）のQ&A

ハードウェアを診断する

ハードディスクを復元する

再インストールする

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

エラーコードが表示されたら

アプリケーションソフトの問い合わせ先

フィルタリングについて

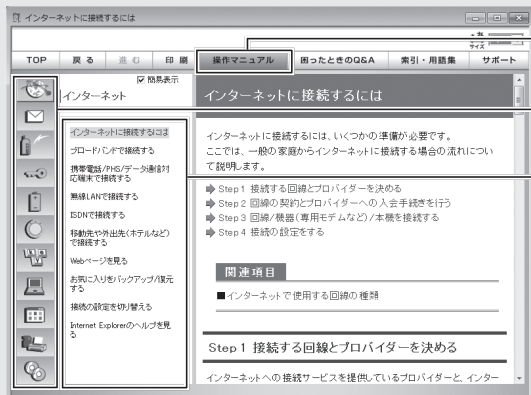
●仕様一覧

●さくいん

さらに詳しい情報は、画面で見る『操作マニュアル』をご覧ください。➡次ページ
保証とアフターサービスについては、付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』をご覧ください。

もくじ

画面で見る『操作マニュアル』

本機の機能詳細・操作・活用方法やセキュリティ機能について知りたいときにご覧ください。
デスクトップの をダブルクリックしてください。

TOP メニュー

本機の機能や活用方法を調べる
使用時のトラブルの解決方法を調べる
用語集・索引で探す
商標・表記について
電子マニュアルの使い方

インターネット

インターネットに接続するには
ブロードバンドで接続する
携帯電話/PHS/データ通信対応端末で接続する
無線LANで接続する
ISDNで接続する
移動先や外出先（ホテルなど）で接続する
Webページを見る
お気に入りをバックアップ/復元する
接続の設定を切り替える
Internet Explorerのヘルプを見る

電子メール

Windows Live メールの設定をする
メールを作成/送信する
メールを受信する/読む
迷惑メール対策をする
アドレス帳（Windowsアドレス帳）を使う
メールをバックアップ/復元する
アドレス帳をバックアップ/復元する
Windows Live メールのヘルプを見る

無線機能

無線機能のオン/オフを切り替える
使用上のお願い
<無線LANについて>
『取扱説明書 無線LAN接続ガイド』について
無線LANとは
IEEE802.11aの有効/無効を切り替える
電波の状態を確認する
接続の設定をする
本機の暗号化の設定を変える
パソコン間でデータをやり取りする
外出先で使う
インテル® ワイヤレス・ディスプレイを使う

セキュリティ

セキュリティについて
ステップ別セキュリティ対策
アクションセンター
Windowsを最新の状態にする
Windows Defenderで個人情報（プライバシー）を守る
ウイルスの感染を防ぐ
Windowsファイアウォールを使う
ユーザーアカウント/Windowsパスワードを設定する
パソコン起動時/リジューム時のパスワードを設定する
ログオン時にユーザー名を表示しない

もくじ

CD/DVDドライブ

画面で見る『困ったときのQ&A』

本機が正常に動作しないなどのトラブルが発生したときにご覧ください。
デスクトップの［操作マニュアル］をダブルクリックしてください。

インターネット/無線LAN

バッテリー

液晶/画面表示

メッセージ/通知領域

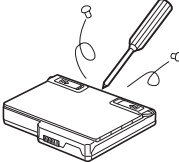
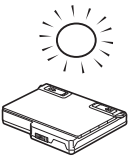
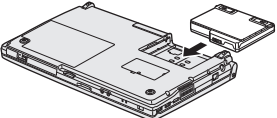
文字入力/キー操作

もくじ

画面で見る『困ったときのQ&A』

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

バッテリーパックに関する注意 危険

火中に投入したり加熱したりしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

クギを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

●強い衝撃が加わったら、すぐに使用をやめてください。

プラス（＋）とマイナス（－）を金属などで接触させない

発熱・発火・破裂の原因になります。

●ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしないでください。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

指定の方法で充電する

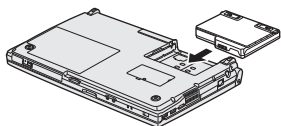
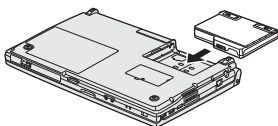
指定の方法で充電しないと、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

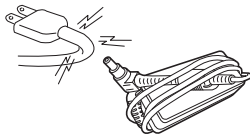
劣化したら新品と交換する

劣化したバッテリーパックを使用し続けると、発熱・発火・破裂の原因になります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

バッテリーパックに関する注意

付属のバッテリーパックは、必ず本機で使用する	必ず、指定のバッテリーパックを使用する
CF-B10シリーズ専用のバッテリーパックです。CF-B10シリーズ以外に使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。	指定（付属および指定の別売り商品）以外のバッテリーパックを使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

警告

異常・故障時には直ちに使用をやめる	電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない	電源プラグのほこりなどは定期的にとる
異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く ●破損した ●内部に異物が入った ●煙が出ている ●異臭がする ●異常に熱い そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、販売店に修理についてご相談ください。	傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない 禁止 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 ●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。	 プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。 ●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

⚠警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

長時間直接触れて使用しない

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど※1の原因になります。

長時間通風孔（排気）からの温風にあたらない

低温やけど※1の原因になります。
また、通風孔（排気）を手などでふさぐと内部に熱がこもり、やけどなどの原因になります。

本機の上に水などの液体が入った容器や金属物を置かない

水などの液体がこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

- 内部に異物が入った場合は、すぐに電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを抜いて、販売店にご相談ください。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

雷が鳴り始めたら、本機やケーブルに触れない

感電の原因になります。

分解や改造をしない

感電や、異物の混入などによる火災の原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

※1 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

安全上のご注意 必ずお守りください

警告

植込み型心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

航空機内では電源を切る

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る

手術室、集中治療室、CCU※2などには持ち込まないでください。本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

※2 CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

高温の場所に長時間放置しない

禁止

火のそばや炎天下など極端に高温になる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良などにより火災・感電につながることがあります。

⚠注意

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

通風孔（排気）をふさがない

布などでくるんだり、布団や毛布などの上で使用したりして通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

LANコネクターに電話回線や指定以外のネットワークを接続しない

LANコネクターに以下のようなネットワークや回線を接続すると、火災・感電の原因になることがあります。

- 1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T以外のネットワーク
- 電話回線（IP電話、一般電話回線、内線電話回線（構内交換機）、デジタル公衆電話など）

CD/DVDドライブの内部をのぞきこまない（CD/DVDドライブ搭載モデルのみ）

内部のレーザー光源を直視すると、視力障害の原因になることがあります。

● 内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

ひび割れたり変形したりしたディスクは使用しない（CD/DVDドライブ搭載モデルのみ）

高速で回転するため、飛び散ってけがの原因になることがあります。

● 円形でないディスクや、接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので、使用しないでください。

ACアダプターに強い衝撃を加えない

落とすなどして強い衝撃が加わったACアダプターをそのまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

● ACアダプターの修理は、販売店にご相談ください。

必ず指定のACアダプターを使用する

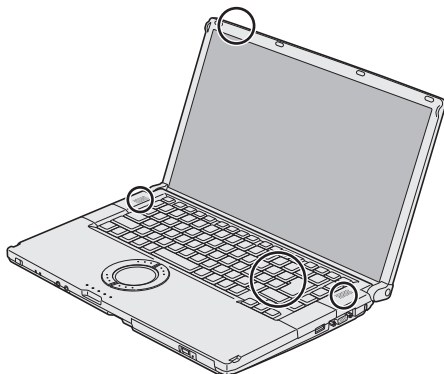
指定（付属および指定の別売り商品）以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

（CD/DVDドライブ搭載モデルのみ）
本装置はレーザー利用機器です。ご注意-ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。分解や修理は行わないでください。 14-J-1-1

クラス1 レーザー製品

使用上のお願い

使用/保管に適した環境

- 平らで落下のおそれがない場所
  パソコンが落下すると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。
- 使用時の温度：5℃～ 35℃
  湿度：30 % RH ～ 80 % RH（結露なきこと）
  保管時の温度：－20℃～ 60℃
  湿度：30 % RH ～ 90 % RH（結露なきこと）
  上記の範囲内であっても、低温、高温、高湿度など極端に偏った環境で長期間使い続けると、製品の劣化により製品寿命が短くなるおそれがあります。
- 熱のこもらない環境
  - 保温性の高いところ（ゴムシートや布団の上など）での使用は避け、スチール製の事務机など放熱性が優れた場所でお使いください。
  - 放熱の妨げとなりますので、タオルやキーボードカバーなどで覆わずにお使いください。
  - 本体のディスプレイは、開いた状態でお使いください（ディスプレイを閉じた状態でも、発煙・発火・故障のおそれはありませんが、温度が上がらないように動作が遅くなる場合があります）。
- 磁気を発生するものおよび磁気カードなどから離れた場所
  - 磁石、磁気ブレスレットを近づけないでください。
  - 本機は下図の丸印の位置に磁石および磁気製品を使用しています。磁気カードや磁石、磁気ブレスレットなどが触れた状態にしないでください。

長時間連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

使用中に本機が熱いと感じたら

CPUの動作などにより本機が熱くなることがありますが、故障ではありません。
特にインテル® ワイヤレス・ディスプレイ※1を使って外部ディスプレイに画面を表示していると、CPUに負荷がかかるため本機が熱くなる場合があります。

- **インテル® ワイヤレス・ディスプレイ※1を使って外部ディスプレイに画面を表示している場合は、画面右下の通知領域の をクリックして、（電源プラン拡張ユーティリティ）をクリックし、[省電力]をクリックしてください。**
  （電源プランの[省電力]はパフォーマンスを抑える設定のため、アプリケーションソフトや周辺機器を頻繁に使用すると、パソコンの処理速度が遅くなる場合があります。）
  ※1 インテル® ワイヤレス・ディスプレイを使うと、ケーブル接続なしでパソコンの画面を外部ディスプレイに表示することができます。テレビなどの大画面にパソコンの画面を表示して複数の人で見る場合などに便利です。
- **インテル® ワイヤレス・ディスプレイを使っていない場合は、次の設定を行うと、パソコン内部の発熱を下げることができます。**
  - 画面右下の通知領域の をクリックして をクリックし、[パナソニックの電源管理（放熱優先）]をクリックしてください。
    [パナソニックの電源管理（放熱優先）]に設定すると、次の設定などが変更されます。
    - ファン制御モードが[高速]に変更。
      冷却ファンの回転が高速になり、本機の温度を下げることができます。ただし、バッテリーの駆動時間が短くなります。
    - スクリーンセーバーを表示しない設定に変更。
    - その他、内部LCDの輝度を下げたり、Windows Aeroを無効に変更したりします。

  CPUの使用率が高くない場合や、冷却ファンの回転音などが気になる場合は、必要に応じて次の手順でファン制御モードを[標準]または[低速]に設定してください。
  画面右下の通知領域の をクリックして をクリックし、[ファン制御モード]をクリックして[標準]または[低速]をクリックする。
  詳しくは、『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「利用シーンに合った電源設定をする（電源プランの設定）」をご覧ください。

重 要

●［パナソニックの電源管理（放熱優先）］に設定すると、次の現象が発生する場合があります。
- 動画再生時に滑らかに再生できない。この場合は、WinDVDのオンスクリーン表示を解除してください（WinDVD画面上で右クリックし、［設定］-［環境設定］をクリックして［オンスクリーンディスプレイを有効にする］のチェックマークを外してください）。
- グラデーション表示などの画質があらくなる。

●アプリケーションソフトによっては、処理が遅くなる場合があります。その場合は、［パナソニックの電源管理（標準）］に戻してください。

- 無線LANをご利用にならない場合は、無線機能をオフにしてください。

●**メモリーを増設する場合は当社推奨のRAMモジュールをお使いください。**
推奨以外のRAMモジュールを取り付けると、発熱量が大きくなったり、正常に動作しなかったりする場合があります。

メ モ

ACアダプターは、使用中熱くなりますが異常ではありません。

内蔵ハードディスクのデータ保護

データ保護のために次のことをお守りください。

●**パソコン本体の取り扱いには十分注意し、衝撃を与えない。**

ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやWindowsおよびアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。

●**Windowsやアプリケーションソフトの動作中およびアクセスランプ🗄の点灯中は、電源を切らない。**

ハードディスクのトラブルを避けるため、（スタート）メニューから電源を切ってください。

●**磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。**

ハードディスクに保存されていたデータが消失するおそれがあります。

●**データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。**

➡ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」

『ハードディスクの取り扱いについて』もご覧ください。（➡22ページ）

Windows 7プリインストールモデルのサポート情報

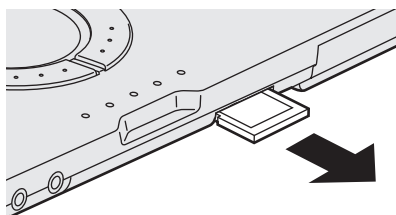
次のWebサイトでWindows 7に関する注意事項など、Windows 7プリインストールモデルのサポート情報が入手できます。
http://askpc.panasonic.co.jp/win7/pre_in/index.html

持ち運ぶとき

お守りください

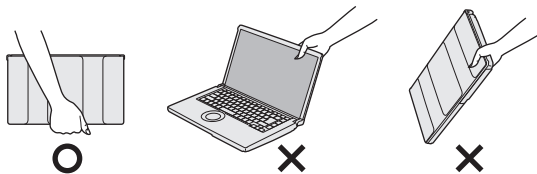
●本機は、ハードディスクドライブなどへの衝撃が小さくなるように設計されていますが、衝撃による故障は保証しかねます。本機は精密機器ですので、取り扱いには十分注意してください。

●電源を切る。

●外部装置やケーブル、本体から突き出たSDメモリーカードなどをすべて取り外す。

●落としたり机の角など硬いものにぶつけたりしない。

使用上のお願い

● ディスプレイやディスプレイの周りのキャビネット部を持って運ばない。

○　×　×

● 航空機利用時は次のことを守る。
  - パソコンやディスクなどは、手荷物として持つ。
  - 航空機内の使用は、航空会社の指示に従う。

● 液晶部分が破損するおそれがあるため、バッテリーパックを取り外しているときは、ディスプレイを閉じた上から必要以上の力を加えない。また、この状態でかばんなどに入れて持ち運ぶときも、満員電車などで力がかからないように気を付ける。

お勧めします

● ACアダプターと、予備のバッテリーパック（別売り）を用意する。

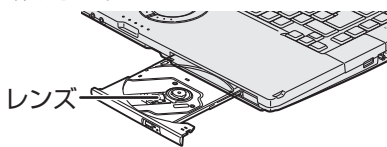
● 予備のバッテリーパック（別売り）は、コネクター保護のためビニール袋などに入れる。

● SDメモリーカード、USBメモリー、外付けハードディスク（いずれも別売り）などにデータのバックアップを取る。

お手入れ

● ディスプレイやホイールパッドのお手入れは、ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

● ディスプレイ以外の部分やホイールパッドに汚れが付着した場合は、水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸した柔らかい布をかたく絞ってやさしく汚れをふき取ってください。
中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

● CD/DVDドライブのレンズのクリーニングには、カメラ用のレンズブロアーを使用してください。スプレー式の強力なものは使わないでください。

重 要

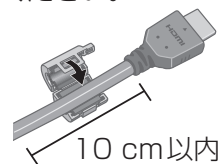
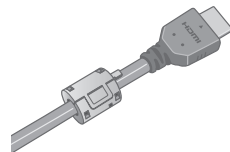
● **ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。**

● **水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。**

HDMIケーブル使用時

お客さまがお買い求めになったHDMIケーブルを本機に取り付けて、テレビやラジオの近くで使用されますと、受信障害を発生することがあります。
本機に付属のコアを必ずHDMIケーブルに取り付けてください。

● **取り付け方**

① コネクターから10 cm以内の位置にコアを取り付けます。
できる限り、コネクターに近い位置に取り付けてください。

② コアのつめがしっかりとかむまで押さえて閉じます。

③ コアを取り付けたコネクターをパソコン本体のHDMI出力端子に接続します。

● **コアの開け方**
ピンセットなどでコアのつめを外します。

気温が高い場所でお使いになる場合

● 気温が高い場所で連続してお使いの場合、パソコン内部の発熱を下げるモードに入るため、一時的に動作が遅くなることがあります。

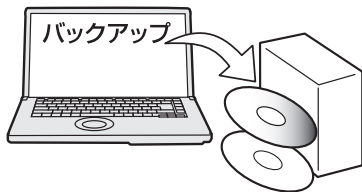
● 気温が高い場所で連続してDVDなどのディスクへの書き込みを行った場合、書き込み時間が長くなることがありますので、書き込みの間隔をあけてお使いください。

電子メールなどのバックアップと復元

ハードディスクに保存している電子メールやアドレス帳、お気に入りなどの必要なデータは、定期的にバックアップを取ることをお勧めします。

詳しくは『操作マニュアル』「（インターネット）」または「（電子メール）」をご覧ください。

ネットセレクター２のエクスポート機能を使うと、ネットワークの設定を保存することができます。

➡ 『ネットセレクター２の使い方』

故障や不本意なデータ更新/消失などのトラブル発生時の被害を最小限に抑えるためには、定期的なデータのバックアップが有効です。（「ハードディスクを復元する」➡82ページ）

バッテリー状態表示ランプが点灯しないとき

ACアダプターとバッテリーパックを正しく接続していてもバッテリー状態表示ランプが点灯しないときは、ACアダプターの保護機能が働いている場合があります。
電源コードを抜き、１分以上待ってから再度接続してください。
それでもランプが点灯しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

周辺機器の使用について

パソコン本体、周辺機器、ケーブルなどの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- 仕様に適合した周辺機器を使用する。
- コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
- 接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向きなどを確認する。
- 固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
- ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

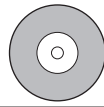
また、本書および『操作マニュアル』と合わせて、使用する周辺機器の取扱説明書をご覧ください。

文字がにじんだりぼやけたりする場合

画面の解像度をLCDのドット数よりも小さくすると、LCDのドット数に合うように画面が引き伸ばされて表示されます。このため、文字がにじんだようになりますが、故障ではありません。

文字をにじませず、大きく表示させたいときは、解像度を変更せず、次の方法をお試しください。

- （スタート）-[コントロールパネル]-[デスクトップのカスタマイズ]-[ディスプレイ]をクリックし、[小-100%]以外をクリックして[適用]をクリックする。
  [今すぐログオフ]または[後でログオフ]を選択してください。本設定を有効にするには、いったんログオフした後に再度ログオンする必要があります。
- Internet Explorer、WordやExcelなどのアプリケーションソフトのフォントサイズを拡大表示する場合：各アプリケーションソフトの表示拡大機能を使う。
- 画面を拡大表示する場合：
  ぴったりビューやズームビューアーを使う。
  ➡ 『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「画面全体を拡大表示する」または「画面の一部を拡大表示する」

リカバリーディスクは大切に保管してください

ハードディスクから再インストールを実行できない場合などに必要です。プロダクトリカバリー DVD-ROMが付属しているかどうかは、付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「1 付属品の確認」で確認してください。
プロダクトリカバリーDVD-ROMが付属していない場合は、リカバリーディスクを作成することができます。作成を希望される場合は、付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「5 リカバリーディスクを作成する」をご覧ください。

無線LANご使用時のセキュリティについて

工場出荷時、無線LANのセキュリティに関する設定は行われていません。
無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。
➡『操作マニュアル』「（無線機能）」の「接続の設定をする」
無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコンと無線LANアクセスポイント（別売り）との間で情報のやり取りを行います。このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。
その反面、ある範囲であれば障害物（壁など）を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、次のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見る可能性があります。
  - IDやパスワード
  - クレジットカード番号などの個人情報
  - メール内容
- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のパソコンやネットワークへアクセスし、次のようなことを行う可能性があります。
  - 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
  - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
  - コンピューターウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

本機の無線LAN機能や無線LANアクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線LANアクセスポイントにあわせて設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。
無線LANのセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線LANの仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解のうえ、ご使用ください。
セキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。お客さまご自身で対処できない場合は、お客様ご相談センターにご相談ください。

省電力設定について

本製品は、デバイスへのアクセスや操作がない状態が一定時間続いたときに省電力機能が働くなど、国際エネルギースタープログラムに準拠した電力管理が工場出荷時に設定されています。本機を使用していない間の消費電力を削減することができます。

- 工場出荷時の設定については、「スリープ状態/休止状態に移行するまでの時間を変更/無効にする」をご覧ください。（➡42ページ）
- スリープ/休止状態から復帰する方法については、『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「スリープ状態/休止状態を使う」をご覧ください。

音声や動画について

- AVIファイルを再生する場合
  アプリケーションソフトをたくさん起動するなどしてパソコンに負荷がかかっている場合や気温が高い場所で使っている場合、AVIファイルの再生時に音声や映像が途切れることがあります。このときは、次の操作を行うと改善される場合があります。
  - 使っていないアプリケーションソフトを閉じる。
  - 使用環境温度を低くする。
  - 画面右下の通知領域のをクリックしてをクリックし、電源プランを[高パフォーマンス]に変更する。
    （気温が高い場所でお使いの場合は、使用環境温度を低くしたうえで[高パフォーマンス]に設定してください。気温が高い場所では、[高パフォーマンス]に設定しても改善されません。）
- SDメモリーカードに保存されている動画ファイル（MPG、WMVなど）や音声ファイル（MP3、WMAなど）を再生すると、音声や映像が途切れる場合があります。
  その場合は、ハードディスクにファイルをコピーして再生してください。

表記について

Enter	**キーボードのEnterキーを押すこと。**
Fn + F5	**キーボードのFnを押しながら、F5を押すこと。** **CtrlにFnの機能を割り当ててお使いの場合（➡54ページ）は、FnとCtrlを置き換えてご覧ください。**
（スタート）-［すべてのプログラム］	**画面上の（スタート）をクリックした後、［すべてのプログラム］をクリックすること。**
➡	**参照先**
	画面で見るマニュアルのこと。

●本書では、コンピューターの管理者の権限でログオンした場合の手順や画面表示で説明しています。

標準ユーザーのアカウントで実行できない機能があったり、説明と異なる画面が表示されたりした場合は、コンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。

●本書では、Windows Aeroを設定していない場合の画面表示で説明しています。

●本書では、「Windows® 7 Professional 32ビット正規版（日本語版）」および「Windows® 7 Professional 64ビット正規版（日本語版）」を「Windows」または「Windows 7」と表記します。

●本書では、内蔵の光学ドライブ（スーパーマルチドライブおよびブルーレイディスクドライブ）を「CD/DVDドライブ」と表記します。

●本書では、内蔵のCD/DVDドライブの種類によって説明が異なる場合、次のような表記で区別しています。

- 「スーパーマルチドライブ搭載モデル」とは、スーパーマルチドライブが内蔵されているモデルのことです。
- 「ブルーレイディスクドライブ搭載モデル」とは、ブルーレイディスクドライブが内蔵されているモデルのことです。

「仕様」でお持ちのパソコンがどちらのモデルか確認してください。

●本書では、接続する外部ディスプレイによって説明が異なる場合、次のような表記で区別しています。

- 「アナログディスプレイ」とは、外部ディスプレイコネクターに接続した外部ディスプレイのことです。
- 「HDMI対応ディスプレイ」とは、HDMI出力端子に接続した外部ディスプレイ（テレビを含む）のことです。

●本書では、次のアプリケーションソフトを省略して表記します。

- 「Corel® WinDVD® 2010（OEM版）」を「WinDVD」

●別売りの商品について

本書で使用している商品品番は変更になることがあります。最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

●再インストールについて

再インストールとは、ハードディスクをフォーマットして、Windowsをインストールし直すことです。

再インストールを実行するとハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

お客さまが作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクへ必ずバックアップを取っておいてください。

再インストールの方法や確認事項については「再インストールする」（➡84ページ）をご覧ください。

画面で見るマニュアルの見方

次のマニュアルは本機に保存されています。Windowsのセットアップ（➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』）が終わった後に見ることができます。

『操作マニュアル』『困ったときのQ&A』を見る

1 デスクトップの 操作マニュアル をダブルクリックする。

『操作マニュアル』を見る場合は、画面上部の[操作マニュアル]をクリックしてください。
『困ったときのQ&A』を見る場合は、画面上部の[困ったときのQ&A]をクリックしてください。

- デスクトップの （バッテリー等の上手な使い方）をダブルクリックすると、『操作マニュアル』の「（バッテリー）」が表示されます。
- デスクトップの （セキュリティについて）をダブルクリックすると、『操作マニュアル』の「（セキュリティ）」が表示されます。
  機種によってはデスクトップに （セキュリティについて）が表示されていない場合があります。

『ネットセレクター２の使い方』を見る

ネットセレクター２の使い方を説明しています。

1 （スタート）-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[ネットセレクター 2]-[ネットセレクター２について]をクリックする。

『ハードディスクの取り扱いについて』を見る

ハードディスクの取り扱いについて説明しています。

1 （スタート）-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[ハードディスクの取り扱いについて]をクリックする。

『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』を見る

内蔵セキュリティチップ（TPM）のインストール方法などを説明しています。

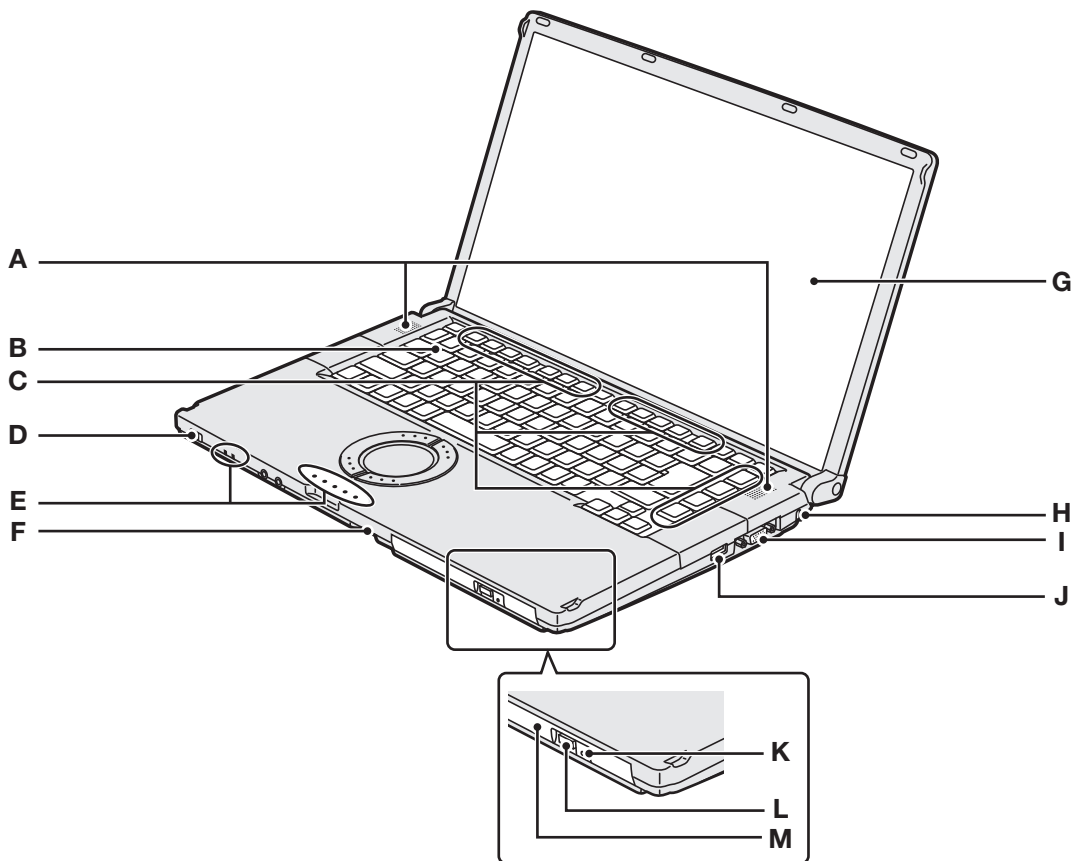
1 デスクトップの 操作マニュアル をダブルクリックする。

2 [操作マニュアル]-[（セキュリティ）]をクリックし、[データを保護・暗号化する]をクリックする。

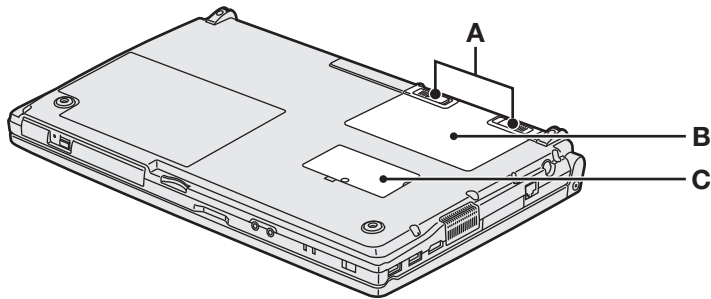
3 [内蔵セキュリティチップ（TPM）を使う]をクリックして説明をよく読み、「内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き」を表示する。

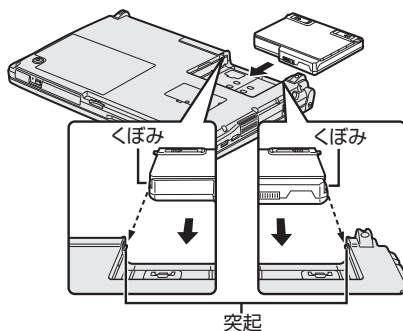
Windowsのヘルプを見る

1 （スタート）-[ヘルプとサポート]をクリックする。

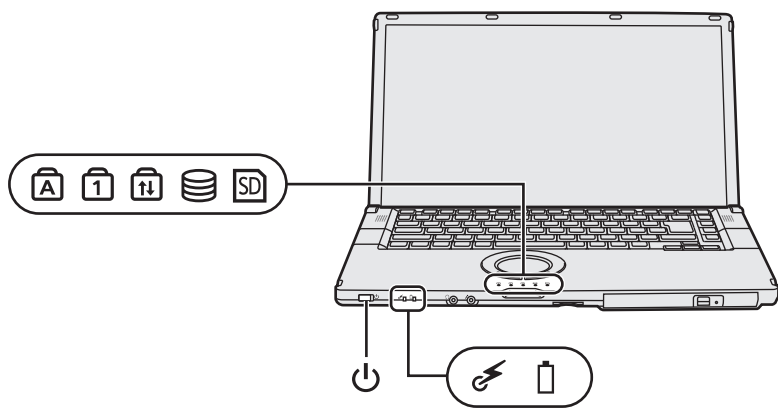
各部の名称と働き

	名　称	働き/参照先
A	スピーカー	• 音量調整　:Fn+F5（小さくする）/Fn+F6（大きくする） • スピーカーのオン/オフ :Fn+F4
B	キーボード	—
C	ファンクションキー	Fnと組み合わせて押すと、各キーに割り当てられている機能が働きます。 ➡33ページ
D	電源スイッチ/ 電源状態表示ランプ	スイッチをスライドすると電源が入り、電源状態表示ランプが点灯します。 （電源状態表示ランプ ➡26ページ/電源スイッチ ➡29ページ）
E	状態表示ランプ	➡26ページ
F	SDメモリー カードスロット	SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード専用です。 ➡ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「SD/SDHC/SDXCメモリーカードを使う」
G	ディスプレイ （内部LCD）	明るさ調整:Fn+F1（暗くする）/Fn+F2（明るくする） ➡28ページ
H	セキュリティロック	ケンジントン社製のセキュリティ用ケーブルを接続することができます。 接続のしかたはケーブルに付属の説明書をご覧ください。 セキュリティロックおよびセキュリティケーブルは盗難を予防するもので、 万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。
I	外部ディスプレイコネクター	アナログディスプレイのケーブルを接続します。 ➡ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「アナログディスプレイを使う」

各部の名称と働き

	名　称	働き / 参照先
J	USBポート	USB機器を接続します。 ➡ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「USB機器を接続する」
K	エマージェンシーホール	CD/DVDドライブのトレイが開かないときや、電源を入れないでCDやDVDなどのディスクを取り出したいときに使います。 ➡47ページ
L	イジェクトボタン	Windowsが起動している状態で押すと、CD/DVDドライブのトレイが開きます。
M	CD/DVDドライブ	➡45ページ、『操作マニュアル』「（CD/DVDドライブ）」

A	ラッチ	バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。取り外すときは、内側にスライドしてロックを解除します。
B	バッテリーパック	➡『操作マニュアル』「（バッテリー）」 バッテリーパックの取り付け / 取り外しの方法は、下記をご覧ください。
C	拡張メモリースロット	RAMモジュールを取り付けます。 ➡48ページ

● **バッテリーパックの取り付け方法**
バッテリーパックを矢印の方向にスライドして取り付ける。
バッテリーパックの左右のくぼみとパソコン本体の突起が合うように挿入してください。

● **バッテリーパックの取り外し方法**
左右のラッチをロック解除の方向にスライドした状態で、本体と平行にバッテリーパックを押し出す。

名 称		働き / 参照先
A	LANコネクター	LANケーブルを接続します。 ➡ 『操作マニュアル』「（インターネット）」の「ブロードバンドで接続する」
B	電源端子 DC IN 16V	ACアダプターを接続します。
C	通風孔（排気）	内部の熱を逃がします。
D	HDMI出力端子 HDMI	HDMI対応ディスプレイ（テレビや液晶ディスプレイ）を接続します。 ➡ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「HDMI対応ディスプレイを接続する」
E	USBポート	USB機器を接続します。 ➡ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「USB機器を接続する」
F	無線用アンテナ（内蔵）	無線通信用のアンテナが内蔵されています。 ➡ 『操作マニュアル』「（無線機能）」
G	ホイールパッド	➡31ページ、『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「ホイールパッドの基本操作」 ➡ 『操作マニュアル』「（ホイールパッド）」
H	マイク入力端子	コンデンサー型ステレオマイクロホンを使用できます。 コンデンサー型以外のマイクロホンを使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。 • 2極プラグのモノラルマイクをお使いになる場合： マイクを接続し、（スタート）-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[サウンド]-[録音]-[マイク]-[プロパティ]-[拡張]をクリックします。[モノマイク]をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックしてください。 • 上記設定を行った後、ステレオマイクを使ってステレオで録音する場合は次の手順で設定を元に戻してください。 上記手順で、[モノマイク]をクリックしてチェックマークを外し、[OK]をクリックしてください。
I	オーディオ出力端子	市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。

状態表示ランプ

名　称	状態/参照先
電源状態表示ランプ	• 消灯：電源オフまたは休止状態 • 点灯：電源オン • 点滅：スリープ状態 工場出荷時の状態では、内部LCDの明るさに合わせて電源状態表示ランプの明るさも変わります。セットアップユーティリティの「メイン」メニューの[LED輝度]を[減光]に設定すると常に暗くすることができます。 スリープ状態または休止状態から復帰するには、電源スイッチをスライドしてください。
無線通信状態表示ランプ	• 消灯：無線を使って通信できない状態 • 点灯：無線を使って通信できる状態 • 点滅：無線を使って通信できる状態からできない状態へ移行中
バッテリー状態表示ランプ	• 消灯：バッテリーパック未装着または充電していない状態 • オレンジ色点灯/明滅：充電中 • 緑色点灯：充電完了 • 赤色点灯：残量約9%以下 • 赤色点滅、オレンジ色点滅：「バッテリーのQ&A」の「バッテリー状態表示ランプが点滅している」（➡73ページ）をご覧ください。
Caps Lockランプ（キャップスロック）	[Shift]を押しながら[Caps Lock]を押すと点灯または消灯し、入力できるアルファベットの種類を表します。解除するには、もう一度[Shift]を押しながら[Caps Lock]を押します。 • 点灯：大文字 • 消灯：小文字
NumLockランプ（ナムロック/テンキーモード）	[NumLk]を押すと点灯し、下図のようにキーボードの一部がテンキーとして機能します。ランプ点灯時にキーを押すと、キーボード上の数字または演算記号が入力できます。 解除するには、もう一度[NumLk]を押します（ランプ消灯）。 テンキーモード [↵]の機能は、アプリケーションソフトにより異なります。
ScrLkランプ（スクロールロック）	[Fn]を押しながら[NumLk]（ScrLk）を押すと点灯または消灯します。使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。
アクセスランプ	ハードディスクまたは内蔵CD/DVDドライブへのアクセス時に点灯します。
SDメモリーカード状態表示ランプ	SD/SDHC/SDXCメモリーカードへのアクセス時に点灯します。

画面の表示について

電源を入れ、Windowsにログオンしたとき、最初に表示される画面を「デスクトップ」と呼びます。

表示例	名　称	働き
など	デスクトップのアイコン	ダブルクリックすると、アプリケーションソフトが起動したり、ウィンドウが開いたりします。
	スタートボタン（画面左下）	クリックすると、メニューが表示されます。使いたいアプリケーションソフトなどをメニューから選択し、クリックします。
クリック カスタマイズ...	通知領域（画面右下）	表示されるアイコンにはそれぞれ役割があり、機能設定や状態確認などを行います。通知領域には一部のアイコンのみ表示されます。本書で説明しているアイコンが表示されていない場合は、をクリックして表示させてください。（本書で説明しているアイコンは、各種機能の設定や接続している機器など、環境によって、種類や順序が実際の表示と異なる場合があります。）

通知領域のアイコン（表示されていない場合は、をクリックすると表示されます）

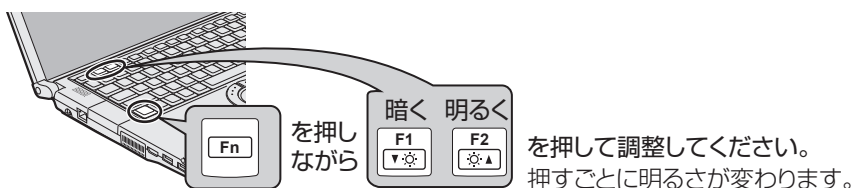
アイコン	名称と役割
または	スピーカー（音量の設定）
など	ネットワーク接続（有線LANや無線LANの接続設定に使用） ➡『操作マニュアル』「（インターネット）」または「（無線機能）」
または	「バッテリ メーター」（ACアダプターを接続するとが表示。「バッテリ メーター」の表示や電源オプションの調整に使用） ➡『操作マニュアル』「（バッテリー）」の「駆動時間について」
または	アクションセンター（セキュリティなどに関する設定状態の確認や設定に使用） ➡『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「アクションセンター」
または	無線機能（IEEE802.11aの有効/無効の切り替えに使用） ➡『操作マニュアル』「（無線機能）」
または	ポインティングデバイス（ホイールパッドの各種設定に使用）
または	ホイールパッドユーティリティ（ホイールパッドユーティリティの状態確認や設定に使用） ➡『操作マニュアル』「（ホイールパッド）」
	Realtek HDオーディオマネージャ（サウンドの詳細設定）
	電源プラン拡張ユーティリティ（電源プランの切り替えや各種省電力の設定に使用） ➡『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「利用シーンに合った電源設定をする（電源プランの設定）」
	PC情報ポップアップ（Web更新情報やバッテリーに関する情報などを表示） お使いの機種によって機能が異なります。 ➡『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「パナソニックからの必要な情報を確認する」
	ネットセレクター2（接続したネットワークに合わせて設定を切り替えるために使用。） ➡『操作マニュアル』「（インターネット）」の「接続の設定を切り替える」

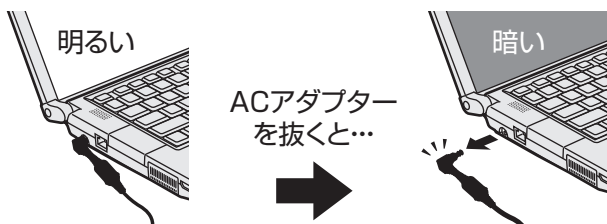
画面の表示について

アイコン	名称と役割
	プロジェクターヘルパー（表示モードの切り替えや画面設定の保存/復元に使用） ➡ 『操作マニュアル』「（アプリケーションソフト）」の「プロジェクターヘルパー」
または	画面分割ユーティリティ（画面分割ユーティリティを起動している場合のみ表示。画面表示の分割に使用） ➡ 『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「画面表示を分割する」
Fn または Fn	Hotkey設定（Hotkey設定画面で[Fnキーの状態を画面に表示する]にチェックマークを付けている場合のみ表示。Fnキーのロック状態の確認に使用） ➡ 『操作マニュアル』「（キーボード）」の「Hotkey設定」
	ズームビューアー（ズームビューアーを起動している場合のみ表示。拡大表示ウィンドウの表示やズームビューアーの各種設定に使用） ➡ 『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「画面の一部を拡大表示する」
または	USBキーボードヘルパー（USBキーボードヘルパーをセットアップしている場合のみ表示。USBキーボードを接続すると、テンキーモードに切り替わります。） ➡ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「USB機器を接続する」
	ディスプレイヘルパー（ディスプレイヘルパーをセットアップしている場合のみ表示。外部ディスプレイ接続時、拡張デスクトップモードでのウィンドウ操作に使用） ➡ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「アナログディスプレイを使う」または「HDMI対応ディスプレイを接続する」
	ぴったりビュー（ ぴったりビューをセットアップしている場合のみ表示。ぴったりビューパネルの表示や画面全体の拡大表示、ぴったりビューの各種設定に使用） ➡ 『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「画面全体を拡大表示する」

画面の明るさを調整する

明るくすると、バッテリーの駆動時間は短くなります。

を押して調整してください。
押すごとに明るさが変わります。

ACアダプターを抜くと暗くなる

工場出荷時、ACアダプターを接続していない状態では画面を暗くするように設定されています。
画面を暗くすると消費電力を節約できるので、バッテリーでの使用に適しています。

ACアダプターを抜くと暗くなるのは、ACアダプターを接続しているときと接続していないときの明るさを、パソコンが別々に覚えているためです。また、明るさの調整は電源プランでも設定できます。（電源プランごとに設定可能）
Fnキーで明るさを調整すると、電源プランで設定した明るさも連動して変更されます。
詳しくは『困ったときのQ&A』「液晶/画面表示」「明るさが変わった（暗くなった/明るくなった）」の「電源プランで設定する」をご覧ください。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

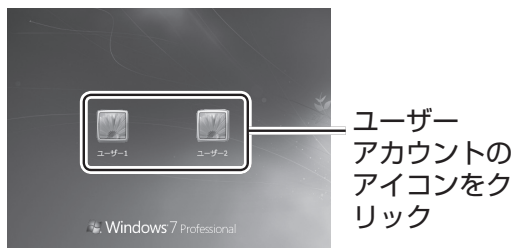
初めて電源を入れるときの操作は『取扱説明書 準備と設定ガイド』をご覧ください。

1 電源スイッチ⏻をスライドし、電源状態表示ランプ⏻が点灯したら手を離す。

● 電源スイッチを4秒以上スライドしたり、連続してスライドしたりしないでください。

● 起動中（ポインターが から通常のもの に戻り、アクセスランプ が消えるまで）は、次のことをしないでください。
- ACアダプターを抜き挿しする。
- 電源スイッチを操作する。
- キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
- ディスプレイを閉じる。
- CD/DVD ドライブのイジェクトボタンを押す。
- SD/SDHC/SDXC メモリーカードを抜き挿しする。

2 Windows にログオンする。

ユーザーアカウントのアイコンをクリック

● パスワードを設定している場合は、パスワードの入力画面になります。

パスワードを入力して をクリックしてください。正しいパスワードを入力するまで操作できません。
文字入力の設定がキャップスロックやテンキーモード（➡26ページ）になっていないことを確認してください。

電源を入れた後、すぐに下の画面が表示されたら…

本機のセキュリティのため、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されています。パスワードを入力し Enter を押してください。正しく入力すると起動します。
3回間違えるかパスワードを入力せずに約1分経過すると、電源が切れます。

画面の表示が消えたら…

お買い上げ時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと省電力機能が働き、画面が暗くなったり画面の表示が消えたりします。
ホイールパッド、キーボードを操作すると元の状態に戻ります。
動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。
また、本機を操作しないと、スリープ状態に入ります。電源スイッチをスライドすると元の状態に戻ります。（➡44ページ）

一定時間アクセスがないと（工場出荷時の設定）

スリープ中に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。
ACアダプターを接続しておくことをお勧めします。

Windows が起動するまでの時間を短縮するには…

クイックブートマネージャーを使ってセットアップユーティリティの「起動」メニューの [Boot Mode] を [高速] に設定したり、Windows の設定を変更したりすることで、パソコンの電源を入れてから Windows が起動するまでの時間を短縮することができます。

➡『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「Windows が起動するまでの時間を短くする」

電源を切る

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する。

2 電源を切る。

ホイールパッドを使って電源を切る

① (スタート) をクリックする。
② [シャットダウン]をクリックする。
電源が切れます。

起動し直したい場合(再起動)は
-[再起動]をクリックします。

キーボードを使って電源を切る

① を押し、を1回押して[シャットダウン]を選ぶ。
② Enter を押す。

Alt + F4 を押して、終了画面を表示させることもできます。

3 電源状態表示ランプ⏻が完全に消灯してからディスプレイを閉じる。

重要

● **電源が切れるまでは、次のことをしないでください。**
- ACアダプターを抜き挿しする。
- 電源スイッチを操作する。
- キーボード、ホイールパッド(外部マウス)に触れる。
- ディスプレイを閉じる。
- CD/DVDドライブのイジェクトボタンを押す。

● **電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。**

● **長時間ご使用にならないときは**
- 節電のため、パソコン本体の電源を切り、ACアダプターを電源コンセントから抜いてください(電源コンセントに接続したままにしておくと、ACアダプター単体で最大0.3Wの電力を消費しています)。
- パソコン本体の電源が切れている状態でもパソコン本体は電力を消費します。長時間ご使用にならなかった場合は、次回お使いになる前にバッテリーを充電するか、ACアダプターを接続してください。
バッテリー残量保持期間は下記の表のとおりです。

席を外すなど、操作を中断する

「スリープ状態」または「休止状態」の機能を使うと、次回電源を入れたとき、操作していたアプリケーションソフトやファイルが表示され、すぐに操作を再開することができます(➡42ページ)。

● Fn + F7 を押すと、スリープ状態になります。
● Fn + F10 を押すと、休止状態になります。
● 電源スイッチをスライドすると元の状態に戻ります。

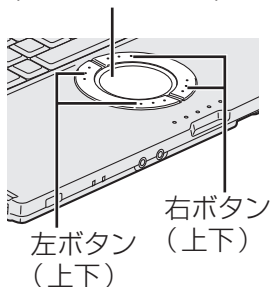
●バッテリー残量保持期間

バッテリーパックの種類	バッテリーパック(L)	バッテリーパック(S)
スリープ状態	約3.5日 (LAN Wake Up機能有効時:約2.5日)	約1.7日 (LAN Wake Up機能有効時:約1.2日)
	スリープ状態でバッテリー残量がなくなると保持されていたデータは失われます。	
休止状態	約20日 (LAN Wake Up機能有効時:約5日)	約10日 (LAN Wake Up機能有効時:約2.5日)
電源オフ	約20日 (Power On by LAN機能有効時:約5日)	約10日 (Power On by LAN機能有効時:約2.5日)

LAN Wake Up機能有効時でも、LANケーブルを接続していない場合は少し長くなります。
LAN Wake Up機能およびPower On by LAN機能については、『操作マニュアル』「(レッツノート活用)」の「他のパソコンから本機をリジューム/起動する」をご覧ください。

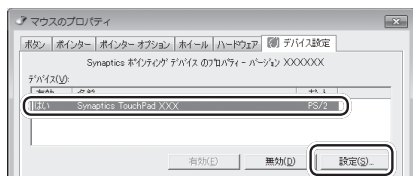
ホイールパッドを使う

マウスと同じようにポインターを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。
使い方については、『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「ホイールパッドの基本操作」をご覧ください。
お使いのネットワーク環境によっては、ホイールパッドユーティリティの起動に1分以上かかる場合があります。

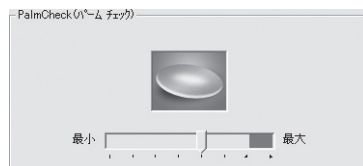
操作面
（ホイールパッド）

ボタンは上下にあります。どちらのボタンでも同じ操作ができます。

ホイールパッドの感度を調節する

「PalmCheck™（パームチェック）」と「タッチ感度」の2つの感度を調節することで、ホイールパッドを使いやすく設定することができます。

1. （スタート）-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[マウス]をクリックする。
2. [デバイス設定]をクリックする。
3. [デバイス]内のデバイス名（例：Synaptics TouchPad）をクリックして、[設定]をクリックする。

4. [ポインティング]をダブルクリックし、[感度]をダブルクリックして、[PalmCheck（パームチェック）]または[タッチ感度]をクリックする。

●PalmCheck（パームチェック）

キーボード操作時、ホイールパッドを操作するつもりがないのに手のひらがホイールパッドに触れてポインターが動いてしまう場合に調節します。

- スライドバーを[最大]側へドラッグすると、意図していないときにポインターが動いてしまうことを防ぐことができます。
- スライドバーを[最小]側へドラッグすると、手のひらがホイールパッドに軽く触れても、ポインターが動くようになります。

●タッチ感度

指がホイールパッドに軽く触れただけでポインターが動いてしまう場合、またはホイールパッド上で指を動かしてもポインターがなかなか動かない場合に調節します。

- スライドバーを[重く]側へドラッグすると、ホイールパッドに強く触れないとポインターが動かなくなります。
- スライドバーを[軽く]側へドラッグすると、ホイールパッドに軽く触れただけでポインターが動くようになります。

5. 調節した後、[OK]をクリックする。
6. 「マウスのプロパティ」画面で、[OK]をクリックする。

ホイールパッドの有効/無効を切り替える

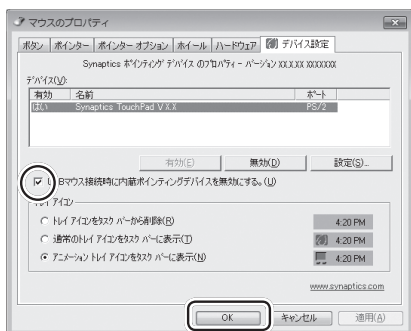
USBマウスの抜き挿しに連動してホイールパッドの有効/無効を切り替えることができます。

重 要

- 次の場合は、この機能が動作せずUSBマウス接続時もホイールパッドが有効になります。
  - Windowsを起動した直後
  - ユーザーの簡易切り替えやログオフを行ったときに表示されるユーザーの切り替え画面やロック画面
- マウス接続用のPS/2ポートを内蔵したUSBキーボードを接続した場合、USBキーボードにマウスを接続していなくても、ホイールパッドは無効になります。
- 「ホイールパッドユーティリティの設定」画面の[ホイールパッド機能を使用する]にチェックマークが付いていても、USBマウス接続時はホイールパッドおよびスクロール機能を使うことができません。
- USBマウスによってはこの機能が動作しない場合があります。

1 (スタート)-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[マウス]をクリックする。

2 [デバイス設定]をクリックする。

3 [USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする]をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

ホイールパッドの取り扱い

ホイールパッドは、指で操作するように設計されています。

- 操作面に物を置いたり、爪など先のとがったもの、硬いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので強く押さえたりしないでください。
- 油などでホイールパッドを汚さないでください。ポインターが正常に動かなくなります。
- ホイールパッドに汚れが付着した場合、ガーゼなどの乾いた柔らかい布か、水で薄めた台所用洗剤(中性)を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。
- ベンジンやシンナー、消毒用アルコール、中性の台所用洗剤以外の洗剤(弱アルカリ性洗剤など)を使用すると、塗装がはげるなど塗装面に影響を与えることがあります。使用しないでください。

メ モ

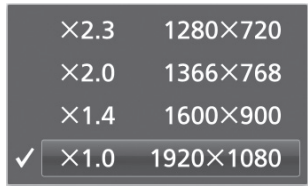
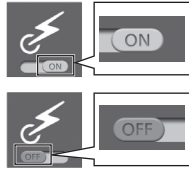
ダブルクリックの速さやボタンを押したときの動作は、(スタート)-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[マウス]をクリックし、「マウスのプロパティ」画面で変更できます。

Fnキーを使う

『操作マニュアル』「(キーボード)」の「Fnキーを使う」では、さらに詳しく説明しています。

Fnを押しながら、文字や記号が枠で囲まれているキーなどを押すと、次の表のような機能が働きます。

- CtrlにFnの機能を割り当ててお使いの場合(➡54ページ):Fnと Ctrlを置き換えてご覧ください。

- Fnを押したとき、画面に機能の一覧(ステータスバー)が表示されます。ステータスバーの表示/非表示および表示位置はHotkey設定で変更することができます。
  ➡ 『操作マニュアル』「(キーボード)」の「Hotkey設定」

キー	機能	画面表示
Fn + F1 Fn + F2	内部LCDの明るさを調整します。 Fn+F1(暗くする)/Fn+F2(明るくする)	
Fn + F3 ⊞ + P	キーを押すと右の画面が表示され、外部ディスプレイを接続している場合は画面の表示モードを切り替えることができます(Fn+F3を押して表示モードを選んだ後、Enterを押すまで切り替わらない場合があります)。 3つのディスプレイに画面を同時表示することはできません。 Windows起動後は、⊞+Pを押しても同じ操作ができます。	外部ディスプレイに画面を表示している場合は[プロジェクターの切断]と表示されます。
Fn + F4	スピーカーとオーディオ出力端子からの音声出力のオン/オフを切り替えます。 ビープ音が鳴る設定に変更していても、音声出力をオフにするとビープ音も鳴らなくなります。	オン オフ(ミュート)
Fn + F5 Fn + F6	スピーカーとオーディオ出力端子からの音量を調整します。 Fn+F5(小さくする)/Fn+F6(大きくする)	
Fn + F7	現在のパソコンの状態がメモリーに保存されてスリープ状態に入ります。	−
Fn + F8	プロジェクターヘルパーを使って保存した画面の設定(表示モードと画面の解像度やリフレッシュレートなど)を復元します。表示された「プロジェクターヘルパー」画面で復元する設定を選び、[OK]をクリックしてください。	−
Fn + F9	バッテリーの残量を表示します。	97% バッテリーパック装着時(表示は一例です。) --% バッテリーパック未装着時 67% バッテリーのエコノミーモード(ECO)が有効時(右上にが表示されます) (表示は一例です。)

Fnキーを使う

キー	機能	画面表示
Fn ＋ F10	現在のパソコンの状態をハードディスクに保存して休止状態に入ります。	−
Fn ＋ F11	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。（SysRq）	−
Fn ＋ F12	画面全体をクリップボードにコピーします。（PrtSc） Fn＋Alt＋F12を押すと、選択されているウィンドウのみコピーできます。	−
Fn ＋ Home Fn ＋ PgUp	解像度を変更して画面を拡大表示/縮小表示にします。 • Fn＋Home：拡大表示にする（解像度を下げる） • Fn＋PgUp：縮小表示にする（解像度を上げる） Fn＋HomeまたはFn＋PgUpを押すと、解像度の一覧が表示されます（現在設定されている解像度にチェックマークが付きます）。Fnを押したままHome（拡大表示（解像度を下げる））またはPgUp（縮小表示（解像度を上げる））を押して解像度を選び、指を離してください。 解像度が変更されます。	×2.3 1280×720 ×2.0 1366×768 ×1.4 1600×900 ✓ ×1.0 1920×1080 （画面は一例です）
Fn ＋ PgDn	本機に搭載されている無線機能（無線LANなど）のオン/オフを切り替えます。	ON オン OFF オフ
Fn ＋ End	内蔵CD/DVDドライブの電源のオン/オフを切り替えます。オフからオンへの移行中は、ステータスバーのアイコンが点滅します。	ON オン OFF オフ

セキュリティについて

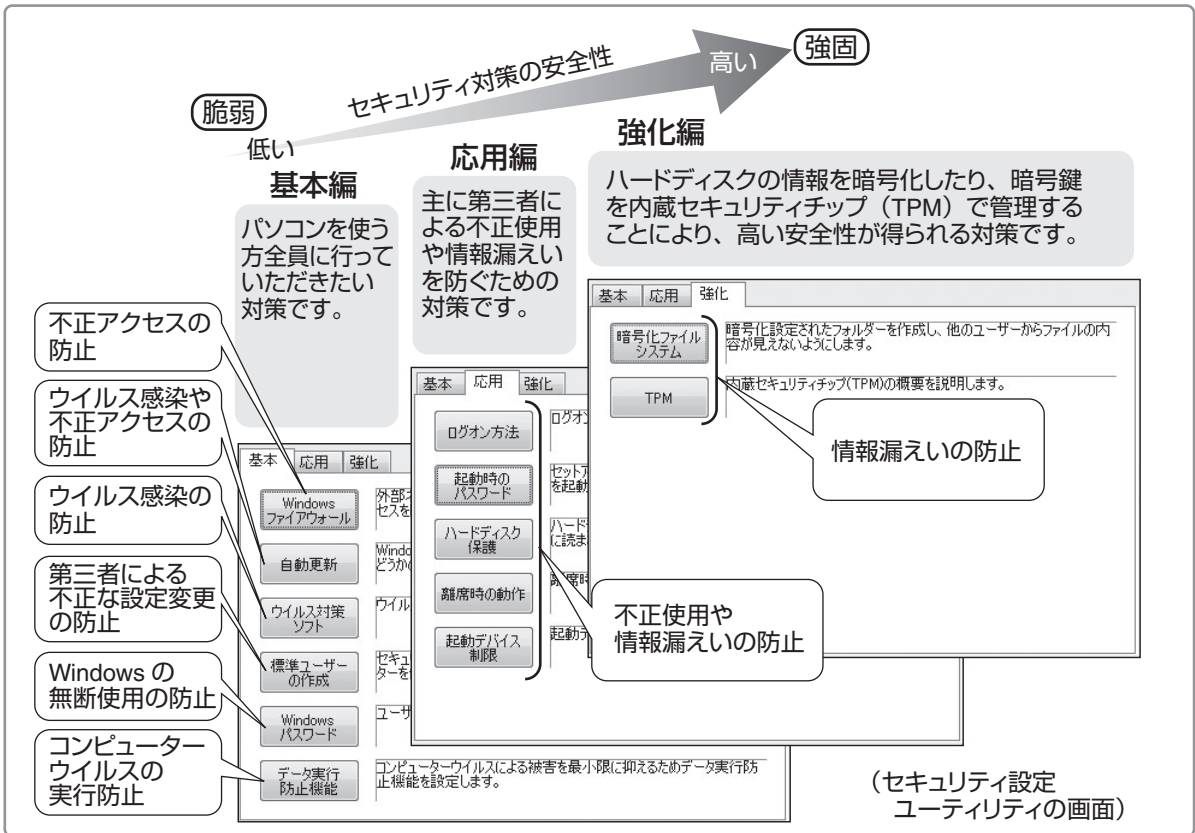
『操作マニュアル』「（セキュリティ）」では、さらに詳しく説明しています。

● **セキュリティ機能を使うときのお願い**
- お客さまが設定されたパスワードなどのセキュリティに関する設定は、弊社のサービスセンターなどで解除することはできません。パスワードなどの設定内容は忘れないようにしてください。
- 「パソコンが起動しない」や「インターネットにアクセスしたら、ウイルスに感染してしまった」など、思わぬトラブルや故障に備えて、大切なデータはバックアップを取り、安全な場所に保管しておくことをお勧めします。
- 情報漏えいやウイルス感染などによる損害について、弊社では一切責任を負いかねます。

ステップ別セキュリティ対策

ここでは、ご利用の環境や用途に合わせて、お客さまに行っていただきたいセキュリティ対策を「基本編」「応用編」「強化編」のステップに分けて紹介します。ステップが進むほど安全性は高くなります。

- 「基本編」「応用編」「強化編」それぞれのセキュリティ対策から、必要なものを組み合わせて設定してください。
- 「強化編」にあるデータの暗号化だけでは、安全性は高くなりません。必ず「基本編」「応用編」のセキュリティ機能と組み合わせて使ってください。
- 会社のネットワーク管理者から設定の指示などがある場合は、その指示に従ってください。本書に記載している内容がすべての環境に適しているわけではありません。

（セキュリティ設定ユーティリティの画面）

使ってみる

セキュリティ設定ユーティリティで設定する

本機には、各種セキュリティ機能の一元管理や設定が簡単に行えるセキュリティ設定ユーティリティが用意されています。起動時のパスワードやハードディスク保護など、セキュリティ上重要な項目の解除はセキュリティ設定ユーティリティからは行えません。それらを解除する場合は、セットアップユーティリティで行ってください。（➡51ページ）

一部の設定項目については、保存しておくことができます。これにより、パソコンの使用状況に応じてセキュリティの設定を一括して切り替えたり、元の設定に戻すことができます。別のパソコンのセキュリティ設定ユーティリティで保存した設定を本機に読み込み、パソコンのセキュリティ設定の内容を合わせることもできます。

メモ

- セキュリティ設定ユーティリティ使用中は、セキュリティ設定ユーティリティで設定できる機能を、個別に設定したり変更したりしないでください。
- Windowsのパスワード/標準ユーザーの作成について
- Windowsのセキュリティを安全性の高い設定にしていたり、他のセキュリティソフトを使っていたりすると、作成するパスワードやユーザーアカウントに特定の条件（文字数や複雑さなど）が必要になる場合があります。
- パスワードの入力は、大文字/小文字の違いに注意してください。
  Shiftを押しながらCaps Lockを押してキャップスロックにしていたり、NumLkを押してテンキーモードが有効になっていたりすると、設定したいパスワードと異なるパスワードが入力/設定されてしまうおそれがあります。
- Windowsのパスワードとして、漢字などの全角文字は入力できません。
- 一部のユーザーアカウントは、Windowsのシステム設定によって、表示されない場合があります。
- パソコンまたはご使用のアカウントがドメインに参加している場合、セキュリティ設定ユーティリティはご使用いただけません。

1 (スタート）-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[セキュリティ]-[セキュリティ設定ユーティリティ]をクリックする。

Windowsの動作上重要な項目を設定/変更する場合は、管理者のユーザーアカウントでログオンして、操作してください。標準ユーザーでログオンしたり、必要な設定がされていなかった場合、設定できない項目はグレー表示になり、設定や変更ができません。

メモ

セキュリティ設定ユーティリティが表示されない場合は、次の手順でインストールしてください。

① (スタート）をクリックし、[プログラムとファイルの検索]に[c:¥util¥secutil]と入力して Enter を押す。

② 「secutil」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックする。

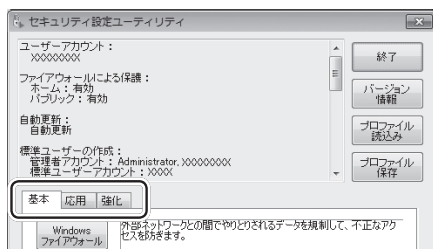
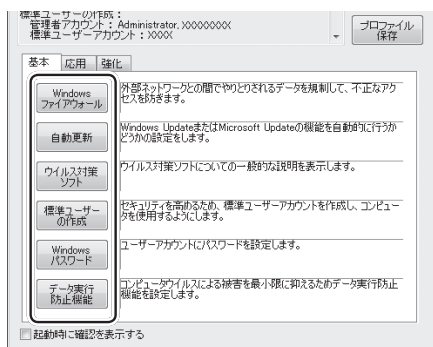
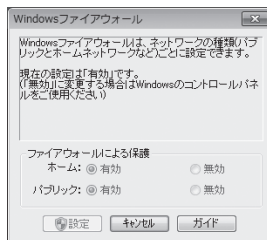
setupという名前のファイルが2つ以上ある場合は、[種類]に[アプリケーション]と表示されているファイルを右クリックしてください。

③ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックする。
標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力して[はい]をクリックします。

以降は画面の指示に従ってください。

2 「ご利用確認」画面の内容をよくお読みのうえ、[はい]をクリックする。

[いいえ]をクリックした場合、セキュリティ設定ユーティリティはお使いいただけません。

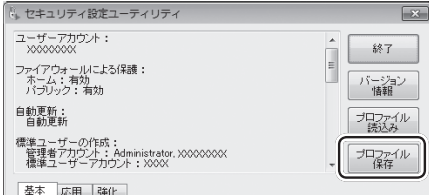
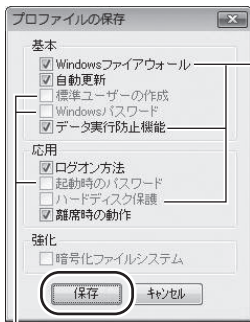
3 設定するセキュリティを[基本]、[応用]、[強化]から選択する。

4 設定する項目をクリックする。

[Windowsファイアウォール]をクリックした場合は、次の画面が表示されます。

以降は画面の指示に従ってください。

5 設定が終わったら、[終了]をクリックする。

セキュリティについて

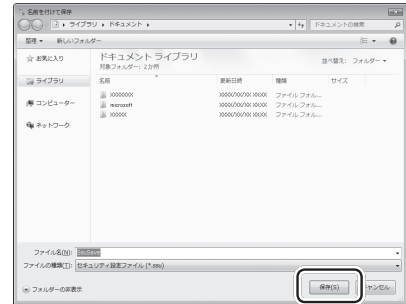
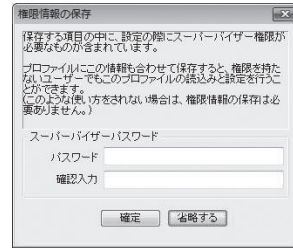
セキュリティの設定内容を保存する

現在設定されている内容を保存します。

1 ［プロファイル保存］をクリックする。

2 保存する項目をクリックしてチェックマークを付け、［保存］をクリックする。

Windows ファイアウォール、データ実行防止機能、ハードディスク保護は、有効に設定されている場合のみ選択できます。

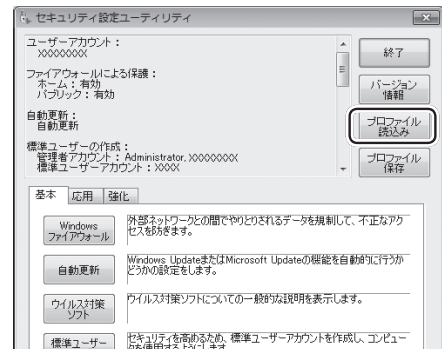
標準ユーザーの作成、Windows パスワード、起動時のパスワードは、設定および変更した場合に選択できます。

- 保存できない項目はグレーで表示されます。

3 保存するフォルダーを選択し、［保存］をクリックする。

各機能を設定するときにスーパーバイザーパスワードが必要となる項目を保存する場合は、次の画面が表示されます。

- 項目を入力し、［確定］をクリックするとスーパーバイザーパスワードがプロファイルに保存されるため、読み込み時にパスワードの入力が不要になります。
- ［省略する］をクリックするとパスワードなどはプロファイルに保存されません。読み込み時にパスワードの入力が必要になります。

セキュリティの設定内容を読み込む

設定内容を読み込み、セキュリティの設定を反映します。

1 ［プロファイル読込み］をクリックする。

2 読み込むファイルを選択して、[開く]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

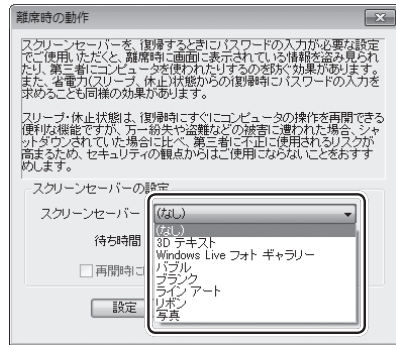
- 設定が読み込まれます。
  保存時に、「権限情報の保存」画面で[省略する]をクリックした設定を読み込んだ場合は、スーパーバイザーパスワードの入力画面が表示されます。
- 画面に実行結果が表示されます。

重 要

- **以下の機能を解除する設定は、セキュリティの問題上保存できません。**
  - **Windows ファイアウォール**
  - **データ実行防止機能**
  - **ハードディスク保護**
- **設定済みの起動時のパスワード（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード）は、読み込み時に変更することはできません。**
- **以下の機能は、セキュリティ設定ユーティリティで設定するときにスーパーバイザーパスワードの入力が必要です。**
  - **データ実行防止機能**
  - **ハードディスク保護**
- **以下の機能は、セキュリティ設定ユーティリティで設定するときに管理者のユーザーアカウントが必要です。**
  - **Windows ファイアウォール**
  - **自動更新**
  - **標準ユーザーの作成**
  - **ログオン方法**
- **暗号化ファイルシステムで暗号化したフォルダーを複数作成した場合、最後に作成したフォルダーの情報のみ保存されます。**

- **読み込みの結果は、「ドキュメント」フォルダーに ssulog.txt というファイル名で保存されます。**

メ モ

- セキュリティ設定ユーティリティを起動せずに設定を読み込むこともできます。正常に読み込みと設定が行われた場合は実行結果が表示されません。
  - 保存した設定のファイルをエクスプローラーなどでダブルクリックする。
  - セキュリティ設定ユーティリティを起動するときに引数で指定する（ネットワーク管理者向け）。
    ワイルドカードは使用できません。
- [離席時の動作]で設定されるスクリーンセーバーについて
  Windows のシステムフォルダーにインストールされているスクリーンセーバーを一覧で表示します。一覧に表示された識別名またはファイル名を選択してください。

バッテリーについて

『操作マニュアル』「(バッテリー)」では、さらに詳しく説明しています。

駆動時間について

バッテリーの駆動時間は、使い方や使用環境によって大きく変わります。

本機では、他のメーカーとの比較のために共通の測定法として社団法人電子情報技術産業協会の「JEITAバッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)」(以降、JEITA測定法と表記)を採用しています。

重 要

本書やカタログなどに記載のJEITA測定法に基づいて測定された数値は、画面を暗くするなど消費電力を抑えた状態で測定しているため、画面を明るくして使っていたり、アプリケーションソフトをたくさん起動していたりすると、駆動時間はJEITA測定法の駆動時間より短くなります。

バッテリー駆動時間の測定方法

JEITA測定法に基づいて測定された数値は、次の2つの方法でバッテリーが動作する時間を測定し、その平均を取った値です。

- **負荷をかけた状態での測定方法(測定法a)**
  内部LCDの輝度(明るさ)を20cd/m²に設定し、指定の動画ファイル(MPEG1形式)をハードディスクから読み出しながら再生し続ける。

  20cd/m²の設定方法

  ① (スタート)-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[バッテリ設定の変更]をクリックする。
  ② お使いの電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。
  ③ [詳細な電源設定の変更]をクリックし、[ディスプレイ]をダブルクリックする。
  ④ [ディスプレイの明るさ]をダブルクリックし、各項目を20%に設定して[OK]をクリックする。

- **負荷をかけない状態での測定方法(測定法b)**
  内部LCDの輝度を最も暗い状態に設定し、デスクトップ画面を表示したまま放置する。

  輝度を最も暗い状態に設定する方法

  ① (スタート)-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[バッテリ設定の変更]をクリックする。
  ② お使いの電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。
  ③ [詳細な電源設定の変更]をクリックし、[ディスプレイ]をダブルクリックする。
  ④ [ディスプレイの明るさ]をダブルクリックし、各項目を0%に設定して[OK]をクリックする。

詳細な測定方法については、JEITAのWebページ(http://it.jeita.or.jp/mobile/)をご覧ください。

駆動時間を長くするには

次のようなことを行うことで、バッテリーの駆動時間を長くすることができます。

- 画面右下の通知領域のをクリックしてをクリックし、[パナソニックの電源管理(省電力)]をクリックする。
  電源プランが変更されます。パフォーマンスを抑えて電力を節約します。
- Fn+F1で内部LCDの明るさを暗くする。
- Fn+Endを押してCD/DVDドライブの電源をオフにする。(➡34ページ)
  次の手順でもCD/DVDドライブの電源をオフにすることができます。
  ①画面右下の通知領域のをクリックしてをクリックする。
  ②[オプティカルディスクドライブの電源]をクリックし、[手動切替]の[オフ]をクリックする。
  [オン]が表示されている場合は、CD/DVDドライブの電源がすでにオフになっています。
- スリープ状態/休止状態を活用する。
  パソコンからしばらくの間離れるときは、Fn+F7でスリープ状態、またはFn+F10で休止状態にしてください。
- しばらく使わないときはディスプレイの電源を自動的に切るように設定する。
- 通信しないときはFn+PgDnを押して無線機能をオフにする。(➡34ページ)
- 使わない周辺機器(USB機器、外部マウスなど)は取り外す。
- CPUに大きな負荷がかかるアプリケーションソフトを使用しない。

充電について

ACアダプターを接続すると、自動的にバッテリーの充電が始まります。
本機は急速充電に対応しており、1時間でバッテリーの満充電の約80%まで充電することができます。
バッテリーのエコノミーモード（ECO）を無効にして、パソコンの電源を切るかスリープ状態/休止状態にして充電してください。（工場出荷時、エコノミーモード（ECO）は無効に設定されています）
パソコンの電源がオンの状態でも急速充電しますが、動作環境・システム設定により1時間では80%まで充電されない場合があります。

メモ

● バッテリーのエコノミーモード（ECO）を有効にしていると、急速充電はできません。

バッテリーパックの劣化を抑える

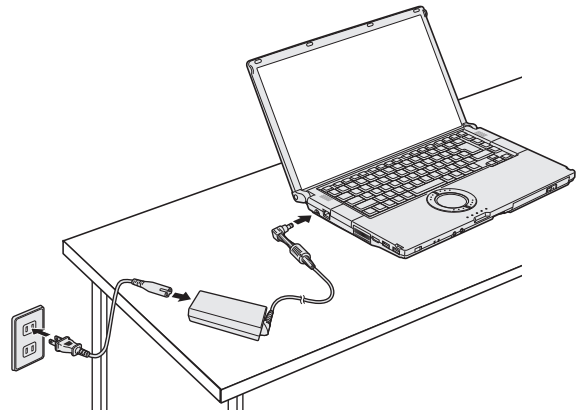
バッテリーパックは消耗品です。バッテリーパックの耐久年数は、使い方や使用環境によって大きく変わります。バッテリーパックの劣化を抑え、耐久年数を少しでも長くするためには、次の点を守ってください。

● バッテリーのエコノミーモード(ECO)を有効にする。
● 周囲の温度が10℃～30℃の場所で充電する。
● バッテリーの充電は1日1回以内。
● パソコンの電源を切った状態で充電する。

バッテリーのエコノミーモード（ECO）

バッテリーのエコノミーモード(ECO)を有効にすると、バッテリーの充電を満充電の80%までで停止します。100%（満充電）にしないことでバッテリーパックへの負担を軽減して劣化を防ぎ、バッテリーパックの耐久年数を長くします。工場出荷時は、バッテリーの駆動時間を優先してバッテリーのエコノミーモード（ECO）は無効に設定されています。
使い方に合わせてバッテリーのエコノミーモード（ECO）を切り替え、バッテリーを上手にお使いください。

ACアダプターを接続して使うことが多いとき

● バッテリーのエコノミーモード（ECO）有効（急速充電はできません）

- 満充電の80%までで充電を停止するため、バッテリーパックの劣化が抑えられます。
- 長時間のバッテリー駆動が必要でない場合にお勧めします。

ACアダプターを接続せずに使うことが多いとき

● バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効（ACアダプターを接続すると急速充電します）
- 100%まで充電できます。
- バッテリーの駆動時間を優先するときにお勧めします。

バッテリーのエコノミーモード（ECO）の切り替え

画面右下の通知領域のをクリックしてをクリックし、[バッテリーのエコノミーモード（ECO）]をクリックし、[有効]または[無効]をクリックしてください。

スリープ状態/休止状態を使う

しばらく席を外すなど、一定時間操作しないときは、スリープ状態や休止状態を使って消費電力を抑えることができます。
アプリケーションソフトを終了することなく電源を切るため、電源を入れると、電源を切る前に使用していた状態（アプリケーションソフトやファイル）が画面に表示されます（これを「リジューム」といいます）。このため、すぐに操作を始めることができます。

スリープ状態と休止状態の違い

機能	状態の保存先	リジュームまでの時間
スリープ状態	メモリー	短い
休止状態	ハードディスク	やや長い

機能	ACアダプターの接続またはバッテリーパックの取り付け
スリープ状態	必要： スリープ状態のときに電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。
休止状態	不要： データ保持のために電力は必要ありません。しかし、ACアダプターを接続またはバッテリーパックを取り付けているとき、本体は電力を消費します。

重 要

電源が切れている状態でも電力を消費します。バッテリー残量保持期間については、30ページをご覧ください。

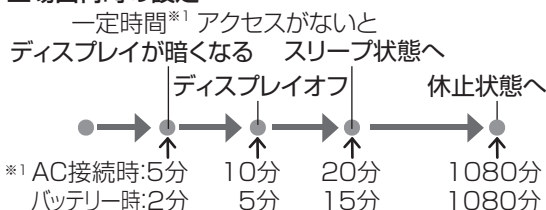
スリープ状態/休止状態に移行するまでの時間を変更/無効にする

工場出荷時は、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、スリープ状態/休止状態に移行します。移行するまでの時間は変更することができます。また、ディスプレイの電源が切れるまでの時間変更もできます。

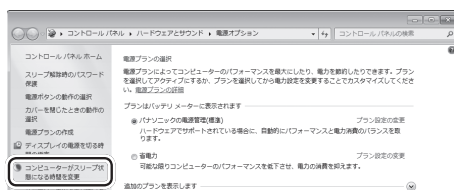
工場出荷時の設定

一定時間※1アクセスがないと

ディスプレイが暗くなる → ディスプレイオフ → スリープ状態へ → 休止状態へ

	ディスプレイが暗くなる	ディスプレイオフ	スリープ状態へ	休止状態へ
※1 AC接続時	5分	10分	20分	1080分
バッテリー時	2分	5分	15分	1080分

スリープ状態に移行する時間を変更する場合は手順1から、休止状態に移行する時間を変更する場合は手順1の後、手順5から行います。

1 通知領域の または をクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。

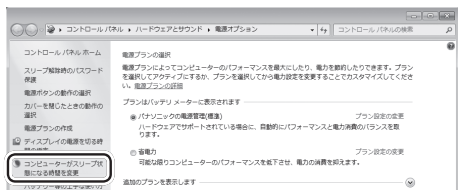
2 [コンピューターがスリープ状態になる時間を変更]をクリックする。

3 [ディスプレイを暗くする]、[ディスプレイの電源を切る]または[コンピューターをスリープ状態にする]までの時間を設定する。

- ディスプレイを暗くしないようにするには[ディスプレイを暗くする]を[なし]に設定します。
- スリープ状態に移行しないようにするには[コンピューターをスリープ状態にする]を[なし]に設定します。
- ディスプレイの電源が切れないようにするには、[ディスプレイの電源を切る]を[なし]に設定します。

4 [変更の保存]をクリックする。

スリープ状態への移行時間を変更すると、休止状態に移行する時間が変更になる場合があります。次の手順で休止状態に移行する時間を確認してください。

5 [コンピューターがスリープ状態になる時間を変更]をクリックする。

使ってみる

6 [詳細な電源設定の変更]をクリックする。

7 [スリープ]をダブルクリックする。
ここで休止状態へ移行する時間を確認/変更する電源プランを選択することもできます。

8 [次の時間が経過後休止状態にする]をダブルクリックする。

9 項目をクリックし、休止状態へ移行するまでの時間を確認/変更する。
- 工場出荷時の設定(1080分)よりも長い時間に設定することをお勧めします。短く設定すると、スリープ状態から休止状態へ移行する頻度が高くなります。移行時はハードディスクにデータを書き込むため、持ち運んでいる場合などは振動が加わることもあり、故障の原因になる場合があります。短く設定した場合は、本機を持ち運ばないようにしてください。
- 休止状態に移行しないようにするには、移行するまでの時間を[なし]に設定します。

10 [OK]をクリックする。

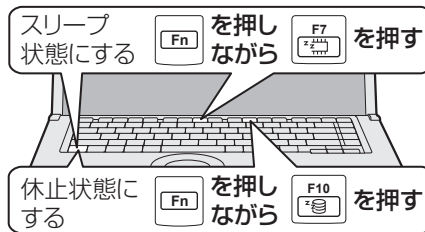
スリープ状態/休止状態に移行するまでの時間は、電源プランごとに設定できます。

スリープ状態/休止状態にする

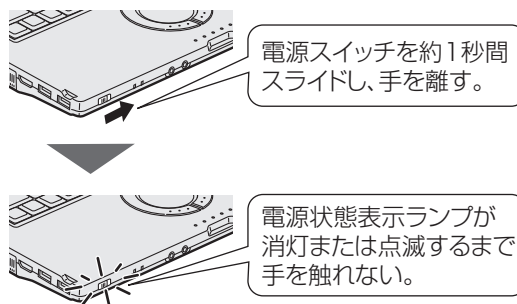
スリープ状態/休止状態にするには、4つの方法があります。
休止状態になるまで1分~2分程度かかる場合があります。画面には何も表示されませんが、そのままお待ちください。

重要

気温が高い場所でCPUに負荷のかかるアプリケーションソフトを連続して動作させた場合、内部温度制御機能が働き、休止状態に入る場合があります。
休止状態に入った場合は、しばらく(5分程度)してから電源を入れてください。

Fnキーを使う

Windowsの終了画面を使う

(スタート)-▶をクリックし、[スリープ]または[休止状態]をクリックします。

電源スイッチをスライドする

工場出荷時の設定では、電源スイッチを4秒以上スライドしたままにすると、スリープ状態/休止状態に移行せず電源が切れます(強制終了)。この場合、保存していないデータは失われます。
省電力機能が有効に設定されているため、電源スイッチをスライドしてもビープ音が鳴りません。
ビープ音を鳴らす場合は、『困ったときのQ&A』「画像/動画/サウンド」の「音が出ない/ビープ音が鳴らない」をご覧ください。
ビープ音を鳴らす設定にしていても、Fn+F4を押してスピーカーをオフにしている場合、ビープ音は鳴りません。また、Fn+F5を押してスピーカーのボリュームを小さくしている場合、ビープ音も小さくなります。

●設定を変更する

設定を変更することで、スリープ状態ではなく、休止状態やシャットダウン、何もしない設定にすることもできます。
「何もしない」に設定した場合は、スリープ状態/休止状態には移行しません。

1 (スタート)-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[電源ボタンの動作の変更]をクリックする。

2 [電源ボタンを押したときの動作]の設定を変更し、[変更の保存]をクリックする。

ディスプレイを閉じる

ディスプレイを閉じると、設定に従ってスリープ状態/休止状態に入ります(工場出荷時はスリープ状態に移行します)。
きちんとディスプレイを閉じていなかったり、ディスプレイを閉じた後すぐにディスプレイを開けたりすると、スリープ状態/休止状態に入らないことがあります。

●設定を変更する

設定を変更することで、スリープ状態ではなく、休止状態やシャットダウン、何もしない設定にすることもできます。
「何もしない」に設定した場合は、スリープ状態/休止状態に入りません。

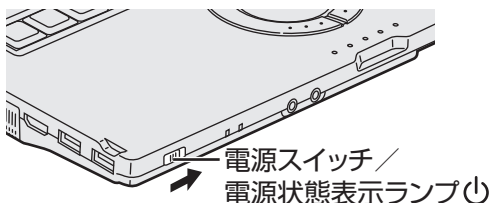
1 (スタート)-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[電源ボタンの動作の変更]をクリックする。

2 [カバーを閉じたときの動作]の設定を変更し、[変更の保存]をクリックする。

リジュームする(スリープ状態/休止状態からの復帰)

リジュームするには、2つの方法があります。

工場出荷時の設定では、スリープ状態/休止状態からのリジューム時に、ログオンしているユーザーアカウントのWindowsパスワードの入力が必要です。

電源スイッチをスライドする

ディスプレイを開ける

次の場合は、ディスプレイを開けるとリジュームします。
- [カバーを閉じたときの動作]を[スリープ状態]や[休止状態]に設定し、ディスプレイを閉じた場合
- スリープ状態/休止状態に入ってからディスプレイを閉じた場合

リジュームしない場合は、電源スイッチをスライドしてください。

メモ

● 工場出荷時は、USBキーボードのキーを押したり外付けマウスをクリックしたりすると、スリープ状態からリジュームするように設定されています。
変更方法は、『操作マニュアル』「(レッツノート活用)」の「スリープ状態/休止状態を使う」の「リジュームする(スリープ状態/休止状態からの復帰)」をご覧ください。
● リジューム後、Windowsの画面が完全に復帰して初期化などが完了するまで(画面が復帰して約15秒間/ネットワークに接続している場合は約60秒間)、Windowsの終了や再起動を行ったり、スリープ状態/休止状態機能を使用したりしないでください。

重要

セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで[復帰時のパスワード]を[有効]に設定すると、スリープ状態/休止状態からのリジューム時にもスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力が必要になります。
パスワード入力を3回間違えたり、1分以上放置したりして入力に失敗すると、次のような動作になります。(このとき電源スイッチでオフすることはできません)

● 休止状態からのリジューム時に失敗した場合:
  - 次回起動時、「Panasonic」起動画面が表示されても、セットアップユーティリティを起動して設定を変更しないでください。以降、正しくリジュームできなくなる場合があります。
  - ディスプレイを開ける方法やLAN Wake Up機能、タスクスケジューラーを使ってリジュームすることができなくなります。

● スリープ状態からの復帰時に失敗した場合:
USBデバイスを使ってリジュームすることができなくなります。

使用上のお願い

スリープ状態/休止状態、リジュームについては、『操作マニュアル』「(レッツノート活用)」の「スリープ状態/休止状態を使う」の「使用上のお願い」をよくお読みになってから、ご使用ください。

内蔵CD/DVD ドライブ

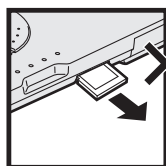
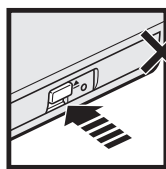
CD/DVD ドライブの取り扱い、本機で使えるディスクの種類、DVDを見る方法やディスクにデータを書き込む方法などについては、『操作マニュアル』「（CD/DVD ドライブ）」をご覧ください。

ドライブをお使いになる場所

油煙やたばこの煙の多いところでは使用しないでください。
レンズの寿命が短くなることがあります。

ドライブアクセス中の操作について

CD/DVD ドライブのトレイを開けたり、パソコンを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。
ディスクの損傷、読み出しや書き込みの失敗、故障の原因になります。

パソコンに衝撃を与えないでください。
データの読み出しや書き込みに失敗することがあります。

ケーブルやカードなどを抜き挿ししないでください。
データの読み出しや書き込みに失敗することがあります。

ディスクにアクセスするアプリケーションソフトを起動した後は、そのアプリケーションソフトを終了するまでCD/DVD ドライブのイジェクトボタンを押さないでください。

書き込みや書き換え作業が長時間に及ぶ場合は、ACアダプターを接続しておいてください。作業中にバッテリー切れが起きると書き込みに失敗する場合があります。

ドライブの作動音

次のような場合、CD/DVD ドライブからモーター音がします。

- CD/DVD ドライブの電源を入れた直後（ブーンなどの音）
- セットアップユーティリティで[光学ドライブ電源]を[オン]に設定している状態で、本機の電源を入れた直後（ブーンなどの音）
- CD/DVDなどのディスク再生中

これらは、CD/DVD ドライブのモーターが作動している音で、故障ではありません。

Fn＋Endの操作について

● 本機の電源を入れた直後など、OSの起動処理中にFn＋Endを押すと、CD/DVD ドライブが認識されない場合があります。
この場合は、次の手順で[ハードウェア変更のスキャン]を実行してください。
①（スタート）-[コンピューター]をクリックする。
②[システムのプロパティ]-[デバイスマネージャー]をクリックする。
③「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックする。
標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindows パスワードを入力して[はい]をクリックします。
④「デバイスマネージャー」画面で、1番上に表示されているコンピューター名をクリックし、[操作]-[ハードウェア変更のスキャン]をクリックする。

● Fn＋Endを押した後などCD/DVD ドライブに頻繁にアクセスしている間は、WinDVDを起動しないでください。

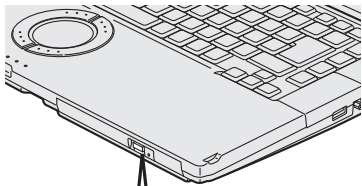
内蔵CD/DVDドライブ

CD/DVDドライブの電源をオフにしたとき

Fn + End を押してCD/DVDドライブの電源をオフにしたとき、「'Slimtype DVDXXXXXXXXX' はコンピューターから安全に取り外すことができます」や「'MATSHITA XXX XXXXXXX' はコンピューターから安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されることがありますが、CD/DVDドライブは内蔵のため取り外すことはできません。

ディスクのセット/取り出し

1 **Windowsが起動している状態で、CD/DVDドライブのイジェクトボタンを押す。**

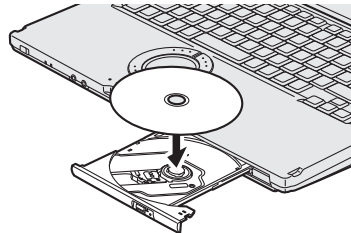
- CD/DVDドライブの電源がオフの場合、イジェクトボタンを1回押すとCD/DVDドライブの電源がオンになります。ディスクを取り出すには、もう一度イジェクトボタンを押してください。
- セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[光学ドライブ]が[無効]に設定されていると、イジェクトボタンは使えません。

2 **ゆっくりCD/DVDドライブのトレイを引き出す。**

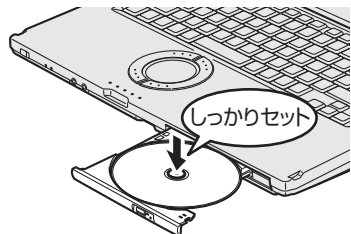
3 **ディスクをセットする/取り出す。**

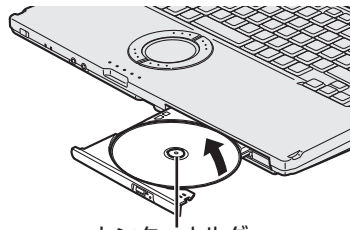
再生/記録面や、レンズなど光ピックアップ部に触れないでください。

● **ディスクをセットするとき**

① **タイトル面を上にして、トレイの上に置く。**

変形したディスクは使用しないでください。

② **ディスクの中心部をカチッと音がするまでしっかりと押してセットする。**

ディスクは確実にセットしてください。確実にセットしないでトレイを閉じると、ディスクが傷つくことがあります。

● **ディスクを取り出すとき**

センターホルダーに指を添え、ディスクの端を浮かせながら取り出します。

4 **トレイを閉じる。**

- CD/DVDドライブのイジェクトボタンは押さないでください。
- CD/DVDドライブのトレイがロックされたことを確認してください。

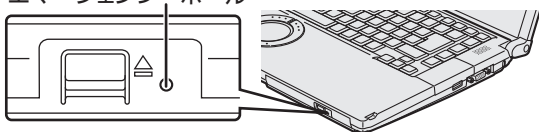
重 要

- **ディスクをセットした後、メディアが認識されるまでは、エクスプローラーなどでCD/DVDドライブのアイコンをクリックしないでください。**
- **セットしたディスクによっては、ファイルへのアクセス中に自動実行が開始されることがあります。**
  また、ディスクから動画を再生したとき、滑らかに再生できないことがあります。
- **お買い上げ後および再インストール後に初めてCD/DVDドライブの電源を入れると、CD/DVDドライブを新しいデバイスとして認識します。認識の処理が完了するまでの間（約30秒）は、CD/DVDドライブの電源をオフにしないでください。**

メ モ

CD/DVDドライブモーターの省電力モードについて
約30秒間CD/DVDドライブにアクセスがないと、省電力のために自動的にドライブモーターの電源が切れます。CD/DVDドライブにアクセスがあるとドライブモーターの電源が入ります。電源が入った後、ディスクからデータが実際に読めるようになるまで、約30秒かかる場合があります。

CD/DVDドライブのトレイが開かないとき

CD/DVDドライブのイジェクトボタンやアプリケーションソフトの操作を行ってもCD/DVDドライブのトレイが開かないときや、パソコンの電源を入れないでディスクを取り出したいときは、直径1.3 mmのピンをエマージェンシーホールに挿し込んでください。（ピンの直径がこれより小さい場合は、ピンを少し下に向けて挿し込んでください。）トレイが出てきます。

トレイが開いているとき

- トレイを開けたままで放置したり、レンズなど光ピックアップ部に触れたりしない。
  ゴミやほこりが付着し、データを読み取れなくなる場合があります。
- 開いた状態のトレイに無理な力をかけないでください。
- トレイにディスク以外のものを載せないでください。
- CD/DVDドライブのすき間部分にクリップなどの異物を入れない。故障の原因になります。

WinDVDについて

DVDなどの動画を再生する場合は、WinDVDまたはWindows Media Playerを使います。
WinDVDで再生するには、CD/DVDドライブにディスクをセットして自動再生の画面が表示されたら、[DVDビデオの再生-Corel WinDVD使用]をクリックしてください。

- WinDVDのアドバンス設定について
  DVD再生時にWinDVDの画面で[ツール]-[アドバンス設定]をクリックして[カラー]をクリックすると、明るさやコントラストなどを調節することができます。
  オプションの[LCD]、[CRT]、[プロジェクター]を選んだ場合は、[コントラスト]のスライダーを動かしてコントラストを調節してください。
- 本機に搭載されているWinDVDはパナソニック用に一部の機能が制限されており、WinDVDのヘルプに記載されている次のような機能が本機では使用できません。
  • アドバンス設定の詳細項目
  • CD（Audio CD、Video CDなど）の再生
  本機で使用できない他の機能について詳しくは、次のWebページをご覧ください。
  http://www.corel.jp/support/panasonic/
- HDMI機器の取り付け/取り外しは、HDMI機器およびパソコンの電源を切ってから行ってください。

CPRMで録画されたメディアの再生について

CPRMとは、録画制限のかかっているデジタル放送をDVDレコーダーでDVD-RAM、DVD-RおよびDVD-RWに録画する際に用いられる著作権管理技術のことです。
本機で再生するには、WinDVDにCPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムを組み込む必要があります（インターネットへ接続できる環境が必要です）。

➡ 『操作マニュアル』「（CD/DVDドライブ）」の「DVD-Videoを見る」（ブルーレイディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合は「DVD-Video/BD-Videoを見る」）

使ってみる

メモリー容量を増やす

本機には拡張メモリースロットが1つ用意されています。RAMモジュールを増設して、搭載されているメモリー容量を増やすことにより、Windowsやアプリケーションソフトの処理速度を上げることができます（お使いの使用条件により効果は異なります）。
モデルによっては、お買い上げ時にRAMモジュールが増設済みの場合があります。その場合は増設できません。

重要

次のことにご注意ください。

- RAMモジュールはCF-BAD02GUまたはCF-BAD04GUなどの推奨品をお使いください。
  推奨品については、弊社の最新のカタログやWebページでご確認いただけます。推奨以外のRAMモジュールを取り付けると、正常に動作しなかったり、故障の原因になったりする場合があります。
  また、場合によっては発熱によりカバーが変形する場合があります。
- 使用可能なRAMモジュールの仕様については、「仕様」（➡96ページ）をご覧ください。
- 推奨以外のRAMモジュールを使用した場合や誤った方法で取り付けまたは取り外した場合の故障や損害について、弊社では責任を負うことはできません。
  RAMモジュールの種類や取り付け方法をご確認のうえ、正しい方法で装着してください。
- RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。
  取り付け/取り外しのときは、本体内部の部品や端子などに触れないでください。
- RAMモジュールの取り付け/取り外しは、パソコンの電源を切り、ACアダプターやバッテリーパックを取り外してから行ってください。
- ネジの溝をつぶさないよう、ネジの大きさに合ったドライバーをお使いください。

RAMモジュールの取り付け

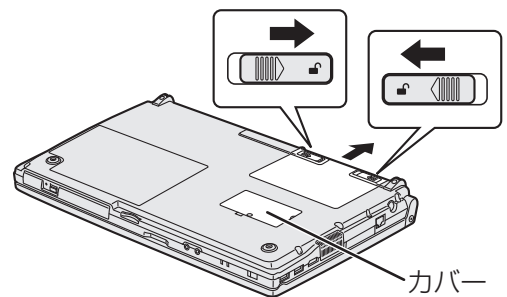
1 **RAMモジュール（別売り）を用意する。**

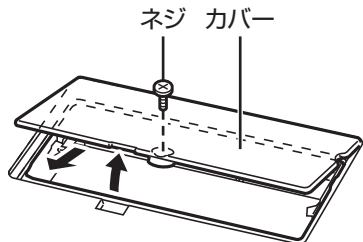
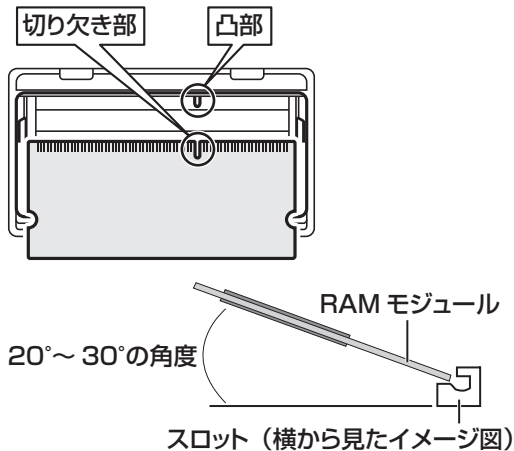
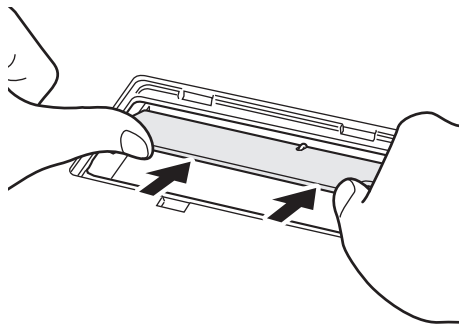
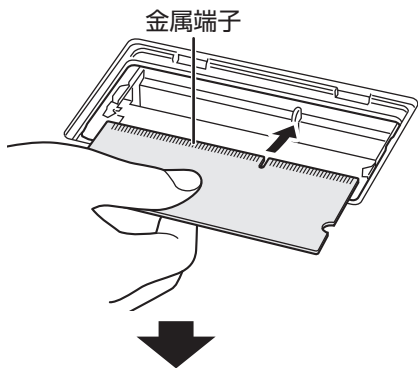
2 **パソコンの電源を切り、ACアダプターを取り外す。**

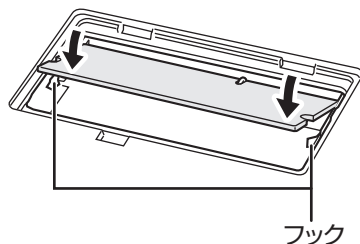
スリープ状態/休止状態のときに、取り付け/取り外しを行わないでください。

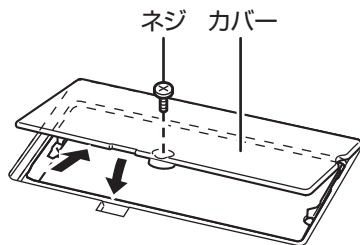
3 **本体を裏返す。**

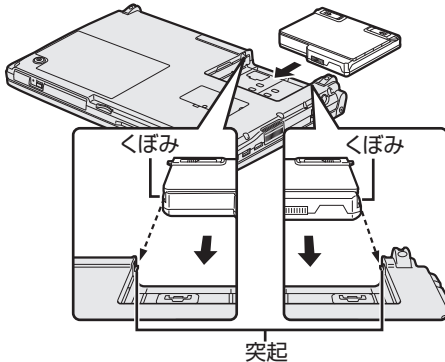
4 **左右のラッチをロック解除🔓の方向にスライドした状態で、本体と平行にバッテリーパックを押し出す。**

ラッチがロックされた状態で、無理にバッテリーパックを取り外さないでください。バッテリーパックが破損するおそれがあります。

5 **ネジを取り外し、カバーを引き抜いて外す。**

拡張メモリースロットのカバーの位置は、手順４をご覧ください。

6 **スロットの凸部とRAMモジュールの切り欠き部の向きを合わせて持ち、スロットと平行にRAMモジュールを軽く合わせる。**

7 **金属の端子が見えなくなるまで、スロットと平行にしっかりと挿し込む。**

- 挿し込みにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きを確認してください。
- しっかりと挿し込まずに次の手順を行うと、スロットが破損する場合があります。

8 **左右のフックでロックされるまで倒す。**

倒しにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きや挿し込み具合を確認してください。

9 **カバーを取り付け、ネジで固定する。**

10 バッテリーパックの左右にあるくぼみとパソコン本体の突起が合うように、矢印の方向に平行にスライドして取り付ける。

バッテリーパックの向きに注意してください。

11 バッテリーパックがしっかりと固定されていることを確認する。

左右のラッチは、バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。左右のラッチが正しくロックされていることを確認してください。ロックされていない状態で本機を持ち運ぶと、バッテリーパックが外れることがあります。

12 ACアダプターを取り付ける。

メモ

- RAMモジュールの挿し方を間違えたり、推奨以外のRAMモジュールを取り付けたりすると、パソコンの電源を入れても画面に何も表示されない場合があります。その場合は、パソコンの電源を切り、RAMモジュールが推奨品であることを確認して、正しく取り付け直してください。

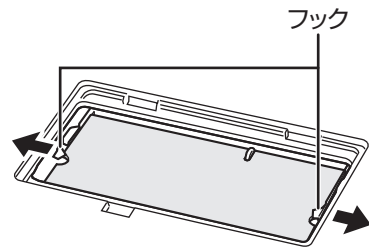
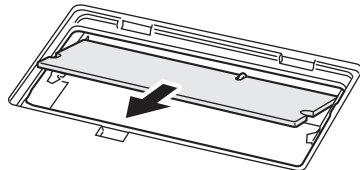
使用可能メモリーを確認する

増設した後の使用可能メモリーのサイズは、セットアップユーティリティの「情報」メニューの[使用可能メモリー]（➡54ページ）で確認できます。

RAMモジュールの取り外し

「RAMモジュールの取り付け」の手順2～5の後、次の手順で取り外してください。

1 左右のフックを外側にゆっくりと広げる。

RAMモジュールが斜めに持ち上がります。

2 ゆっくりとスロットから取り外す。

3 カバーとバッテリーパック、ACアダプターを取り付ける。（➡49ページ「RAMモジュールの取り付け」の手順9～12）

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、本機の動作環境（パスワードや起動ドライブなど）を設定するためのユーティリティです。以下の6メニューがあります。
「情報」、「メイン」、「詳細」、「起動」、「セキュリティ」、「終了」
モデルによって、表示される項目が異なります。

セットアップユーティリティを起動する/終了する

起動する

1 パソコンの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。

2 本機の起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押す。

[Boot Mode]を[高速]に設定した場合、「Panasonic」起動画面は表示されません。F2 または Del を押したまま電源を入れてください。セットアップユーティリティの画面が表示されるまで、F2 または Del を押したままにしてください。
[Boot Mode]の設定は、クイックブートマネージャーでも設定することができます。

3 パスワードを設定している場合は、下の画面が表示されるので、ユーザーパスワードまたはスーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押す。

メモ

- F2 または Del を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティは起動しません。Windowsを終了して再起動してください。
- セットアップユーティリティの画面を内部LCDと外部ディスプレイの両方に表示することはできません。
  Fn + F3 を押して表示モードを切り替えると、外部ディスプレイまたは内部LCDのどちらかに表示されます。
  外部ディスプレイに正しく表示できない場合は、内部LCDに表示してください。
  セットアップユーティリティの画面など、Windowsが起動するまでは、⊞ + P を押して表示モードを切り替えることはできません。
- パスワードを設定していても[起動時のパスワード]が[無効]になっている場合、パソコン起動時にパスワードの入力は不要です。
  また、[復帰時のパスワード]が[無効]になっている場合、スリープ状態/休止状態からの復帰時にパスワードの入力は不要です。
  セットアップユーティリティを起動したときは、パスワードの入力が必要です。
- パスワードの設定時や入力時にテンキーモードまたはキャップスロックになっていると、その状態をお知らせする画面が表示されます。

終了する

1 ← → または Esc を押して、「終了」メニューを表示する。

2 [設定を保存して再起動]または[設定を保存しないで再起動]を選んで Enter を押す。

3 [はい]を選んで Enter を押す。

ユーザーパスワードで制限される項目

「起動する」（➡51ページ）の手順3で入力したパスワードの種類によって、表示/設定できる項目が異なります。

本機を複数の人で使う場合は、スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を設定します。管理者以外の人には、ユーザーパスワードだけを教えておきます。これにより、設定を変更されるのを防ぐことができます。

●**スーパーバイザーパスワードを入力した場合**

セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

●**ユーザーパスワードを入力した場合**

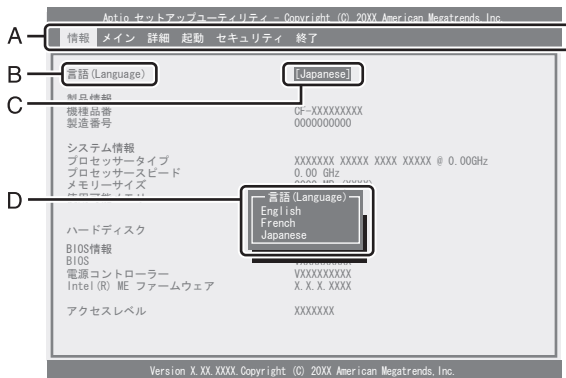
次のような制限があります（可能：○、不可能：×）。また、各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す F9 は使えません。

メニュー	参照	変更
「詳細」メニュー	○	×
「起動」メニュー：[起動オプション]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[Setup Utility 表示]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[Boot Popup Menu]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[起動時のパスワード]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[復帰時のパスワード]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[休止復帰時の起動デバイス]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[スーパーバイザーパスワード設定]	×	×
「セキュリティ」メニュー：[ハードディスク保護]	×	×
「セキュリティ」メニュー：[ユーザーパスワード保護]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[ユーザーパスワード設定]	○	○※1
「セキュリティ」メニュー：[内蔵セキュリティ（TPM）]	○	×※2
「セキュリティ」メニュー：[AMT設定]	×※2	×※2
「終了」メニュー：[デフォルト設定]	×	×
「終了」メニュー：[デバイスを指定して起動]	×※3	×※3

※1 [ユーザーパスワード保護]が[保護しない]に設定されている場合のみ、ユーザーパスワードの変更が可能。ただし、ユーザーパスワードを削除することはできません。

※2 サブメニューの[設定サブメニュー保護]が[保護しない]に設定されている場合は、設定サブメニューの参照/変更が可能([設定サブメニュー保護]を除く)。

※3 [Boot Popup Menu]が[有効]に設定されている場合は選択が可能。

セットアップユーティリティを操作する

A. [←][→]を押してカーソルを移動させ、メニューを選ぶことができます。

B. 選択できる項目が複数ある場合は[↑][↓]を押して項目を選ぶことができます。選択された項目は色が変わります。

C. 反転表示されている項目は[Enter]を押してサブメニューを表示させることができます。

D. サブメニューが表示されているときは[↑][↓]を押して項目を選ぶことができます。

設定に使うキー

[→][←] ：「情報」「メイン」「詳細」「起動」「セキュリティ」「終了」の各メニューを選択。

[↑][↓] ：カーソルを上下に移動（項目を選ぶときに使用）。

[Enter] ：[↑][↓]で項目を選んだ後に設定できる各項目のサブメニューを表示。

[F5] ：各項目の前候補を選択（設定値の変更時に使用）。

[F6] ：各項目の次候補を選択（設定値の変更時に使用）。

[F1] ：一般のヘルプを表示（[OK]を選ぶとヘルプの画面を閉じる）。

[F9] ：各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す。

[F10] ：設定を保存して再起動。

[Esc] ：サブメニューの終了、または「終了」メニューを表示。

「情報」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
言語（Language）	セットアップユーティリティの言語を選択します。	English French Japanese
製品情報 機種品番 製造番号 システム情報 プロセッサータイプ プロセッサースピード メモリーサイズ 使用可能メモリー ハードディスク BIOS 情報 BIOS 電源コントローラー Intel(R) ME ファームウェア アクセスレベル	情報の表示・確認用です。項目を選択したり変更したりすることはできません。	

「メイン」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
システム日付	Tab でカーソルを年、月、日に移動できます。キーボードから直接入力するか、F5 F6 で数値の修正ができます。	[xxxx/xx/xx(x)]
システム時間	24時間制です。Tab でカーソルを時、分、秒に移動できます。キーボードから直接入力するか、F5 F6 で数値の修正ができます。	[xx:xx:xx]

メイン設定

メニュー	働き	選択項目
フラットパッド	ホイールパッドを使う（有効）/使わない（無効）を設定します。	無効 有効
Fn/左Ctrlキー	内部キーボードの Fn と左側の Ctrl の機能を入れ換えずに工場出荷時のまま使う（標準）/入れ換えて使う（入れ換え）を設定します。 Fn Ctrl機能入れ換えユーティリティでも設定することができます。 [入れ換え]に設定した場合、Fn（「Ctrl」と印刷されている左側のキー）と Ctrl（右側）のキーを押しながらもう1つのキーを押す操作はできません。 キー表面の印刷やキーそのものを入れ換えることはできません。	標準 入れ換え
右Ctrlキー	内部キーボードの右側の Ctrl に Fn の機能を割り当てず工場出荷時のまま使う（標準）/ Fn の機能を割り当てる（Fnキー）を設定します。Fn Ctrl機能入れ換えユーティリティで設定することもできます。 [Fnキー]に設定して Fn の機能を割り当てた場合、Ctrl（右側）の機能を使うには Fn + Ctrl（左側）を押してください。 キー表面の印刷やキーそのものを入れ換えることはできません。	標準 Fnキー

メニュー	働き	選択項目
ディスプレイ	Windowsが起動するまでの表示モードを設定します。外部ディスプレイを接続していないときは、[外部ディスプレイ]を選んでいても、すべての情報が内部LCDに表示されます。Windows起動後は、デスクトップの何もないところを右クリックして[グラフィック プロパティ]で設定した内容が有効になります。	外部ディスプレイ 内部LCD

メニュー	働き	選択項目
光学ドライブ電源	起動時に、内蔵CD/DVDドライブの電源を入れる（オン）/入れない（オフ）を設定します。 ●[オン]に設定した場合、次回起動時に、内蔵CD/DVDドライブから起動（ブート）できるようになります。 内蔵CD/DVDドライブから起動するときは、[オン]に設定してください。ただし、「詳細」メニューの[光学ドライブ]が[無効]に設定されているときは、この項目は設定できません。 ●[オフ]の場合、Windowsが起動するまでトレイを開くことができません。 ●オン/オフに関係なく、Windowsが起動するまでは、Fn+Endを押してドライブの電源をオン/オフすることはできません。	オフ オン
充電中バッテリー状態表示	バッテリーパックの充電中にバッテリー状態表示ランプを点灯する/明滅するを設定します。	点灯 明滅
LED輝度	電源状態表示ランプの明るさを設定します。[連動]では、内部LCDの明るさに合わせてランプの明るさが変わります。[減光]では常に暗くなります。	連動 減光

「詳細」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
CPU設定	CPUの設定に関するサブメニューを表示します。 • データ実行防止機能 データ実行防止機能（プログラムのメモリー（バッファー）を悪用した不正プログラムの実行を阻止する機能）を使う（有効）/使わない（無効）を設定します。 通常は[有効]に設定しておいてください。 工場出荷時の設定は[有効]です。 • Intel(R) Hyper-Threading Technology Intel(R) Hyper-Threading Technologyを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。工場出荷時の設定は[有効]です。 • Core Multi-Processing Core Multi-Processing（複数のプロセッサーコアによる処理の分散）を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。工場出荷時のWindows 7使用時は[有効]のままお使いください。[無効]に設定した場合の動作はサポートしていません。工場出荷時の設定は[有効]です。 • Intel(R) Virtualization Technology Intel(R) Virtualization Technologyを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。[有効]に設定すると、Intel(R) Virtualization Technologyに対応した仮想化ソフトウェアを使用する場合に、CPUの負荷を軽減することができます。工場出荷時の設定は[有効]です。 • Intel(R) VT-d Intel(R) Virtualization Technology for Direct I/Oを使用しない（無効）/使用する（有効）を設定します。工場出荷時の設定は[無効]です。 • Intel(R) Trusted Execution Technology Intel(R) Trusted Execution Technologyを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。（インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーが使用できないモデルの場合は表示されません） 工場出荷時の設定は[無効]です。 [Intel(R) VT-d]が[有効]に設定されている場合のみ設定できます。 • Intel(R) Turbo Boost Technology 2.0 Intel(R) Turbo Boost Technology 2.0を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。（インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーが使用できないモデルの場合は表示されません）工場出荷時の設定は[有効]です。 Escを押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示

セットアップユーティリティ

周辺機器設定

メニュー	働き	選択項目
光学ドライブ	内蔵CD/DVDドライブを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
LAN	内蔵LANの機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
Power On by LAN機能	LAN経由でパソコンの電源を入れるPower On by LAN機能を使用しない（禁止）/使用する（許可）を設定します。 LAN経由で電源を入れた場合、起動時のパスワード入力画面は表示されなくなります。	禁止 許可
無線設定	搭載されている無線機能の設定に関するサブメニューを表示します。 • 無線LAN 内蔵無線LANの機能を使用する(有効)/使用しない(無効)を設定します。工場出荷時の設定は[有効]です。 Escを押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示

メニュー	働き	選択項目
SDスロット	SDメモリーカードスロットを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効

メニュー	働き	選択項目
USBポート	本機のUSBポートを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
レガシー USB	Windowsが起動する前に、USBキーボードやUSBフロッピーディスクドライブ、USB CD/DVDドライブなどを本機に認識させる機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。[USBポート]が[有効]で「起動」メニューの[Boot Mode]が[通常]に設定されている場合のみ、効果があります。 [無効]に設定した場合でも、USBキーボードを使ってセットアップユーティリティを操作することができます。	無効 有効

「起動」メニュー

メニュー	働き	選択項目
Boot Mode	Boot Modeを高速にする（高速）/高速にしない（通常）を設定します。[高速]に設定すると、パソコンの電源を入れた直後に表示される「Panasonic」起動画面を省略してWindowsの起動画面が表示されるまでの時間を短縮します。「Panasonic」起動画面が表示されませんので、セットアップユーティリティを起動する場合は、F2またはDelを押したまま電源を入れてください。セットアップユーティリティの画面が表示されるまで、F2またはDelを押したままにしてください。クイックブートマネージャーで設定することもできます。また、クイックブートマネージャーで電源オン時の初期化（Boot Mode）を高速にする設定を解除した場合や、すべての設定をクリアした場合は[通常]に戻ります。	高速 通常
起動オプション優先度	オペレーティングシステムを起動するデバイスの優先順位を設定します。優先順位を変更する場合、まず設定したい優先順位を選択し、次に対象のデバイスを選択します。 例：ハードディスクから起動する場合 ① ↑↓で[起動オプション #1]を選択し、Enterを押す。 ② ↑↓で[ハードディスク]を選択し、Enterを押す。 同じ操作で他の起動オプションにもデバイスを設定することができます。[起動オプション #1]に設定されているデバイスが認識できない場合は、[起動オプション #2]に設定されているデバイスから起動します。	ハードディスク 光学ドライブ LAN USBフロッピー USBハードディスク USB光学ドライブ 無効

メモ

- USBフロッピーディスクドライブから起動する場合は、当社製外部FDD（品番：CF-VFDU03U）のご使用をお勧めします。
- CD/DVDドライブから起動するときなど、一度だけ通常と異なる優先順位で起動する場合は、「終了」メニューの[デバイスを指定して起動]の下に表示されているデバイスを選んでEnterを押してください。また、パソコン起動時にもデバイスを選択することができます（下記）。
- オペレーティングシステムを起動するデバイスは、次の手順でパソコン起動時にも選択することができます。
  あらかじめ「セキュリティ」メニューで[Boot Popup Menu]を[有効]に設定しておく必要があります。（➡58ページ）
  ①パソコンの電源を入れる。
  ②本機の起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されたらすぐにEscを押す。
  「Panasonic」起動画面が表示されない場合は、Escを押したまま電源を入れてください。「起動するデバイスを選択してください」画面が表示されるまで、Escを押したままにしてください。
  ③「起動するデバイスを選択してください」画面でデバイスを選び、Enterを押す。
- USBポートに接続している機器から起動するときは、次の設定になっていることを確認してください。
  - 「詳細」メニューの[USBポート]が[有効]
  - 「詳細」メニューの[レガシーUSB]が[有効]
  - 「起動」メニューの[Boot Mode]が[通常]
- 内蔵CD/DVDドライブから起動するときは、次の設定になっていることを確認してください。
  - 「詳細」メニューの[光学ドライブ]が[有効]
  - 「メイン」メニューの[光学ドライブ電源]が[オン]
  - 「起動」メニューの[起動オプション #1]が[光学ドライブ]

「セキュリティ」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

起動時の表示設定

メニュー	働き	選択項目
Setup Utility表示	起動後すぐに表示される「Panasonic」起動画面の下に[Press F2 for Setup/F12 for LAN]というメッセージを表示させる（有効）/表示させない（無効）を設定します。	無効 有効
Boot Popup Menu	起動後すぐに Esc を押すと表示できる起動デバイスの選択画面を表示させない（無効）/表示させる（有効）を設定します。[有効]に設定すると、セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合でも「起動」メニューの[デバイスを指定して起動]の項目が選べるようになります。	無効 有効
起動時のパスワード	パソコンの起動時にスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を常に必要としない（無効）/必要とする（有効）/[Intel(R) Anti-Theft Technology]を[アクティブ]に設定している場合のみ必要としない（自動）を設定します。	無効 有効 自動
復帰時のパスワード	スリープ状態/休止状態からの復帰時にスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を常に必要としない（無効）/必要とする（有効）/[Intel(R) Anti-Theft Technology]を[アクティブ]に設定している場合のみ必要としない（自動）を設定します。[起動時のパスワード]が[有効]または[自動]に設定されている場合のみ設定できます。	無効 有効 自動
休止復帰時の起動デバイス	休止状態からの復帰時の起動デバイスを内蔵ハードディスクのみとするか、内蔵ハードディスクよりも優先度の高いその他のデバイスからの起動を試行するかを設定します。	優先デバイスを試行 ハードディスクのみ

メニュー	働き	選択項目
スーパーバイザーパスワード設定	セットアップユーティリティの設定を他の人に変更されたくないとき設定します。また、本機を起動されたくない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した後、[起動時のパスワード]を[有効]に設定してください。	サブメニュー表示
ハードディスク保護	ハードディスクを別のパソコンに取り付けた際に、ハードディスクのデータが読み書きできないように保護する（有効）/保護しない（無効）を設定します。スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	無効 有効
ユーザーパスワード保護	ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、ユーザーパスワードの変更を許可する（保護しない）/許可しない（保護する）を設定します。	保護しない 保護する
ユーザーパスワード設定	本機を複数の人でお使いになるときなどに設定します。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。また、セットアップユーティリティの起動時に、スーパーバイザーパスワードでなくユーザーパスワードを入力すると、一部の設定は変更できません。	サブメニュー表示

メニュー	働き	選択項目
Intel(R) Anti-Theft Technology	この項目は変更できません。 Intel(R) Anti-Theft Technology（インテル® アンチセフト·テクノロジー）はインテル®の盗難対策技術で、パソコンの盗難など万一のときにパソコンの電源を切って起動できないようにしたり、暗号化データへのアクセスに必要なキーデータを消去したりして、情報の流出を防ぐことができます。 インテル® アンチセフト・テクノロジーをお使いになる場合は、サービス事業者が提供する専用ソリューションが必要です。 使い方などについては、サービス事業者にお問い合わせください。	インアクティブ アクティブ 盗難 サスペンド
サスペンドモード遷移	Intel(R) Anti-Theft Technology（インテル® アンチセフト·テクノロジー）使用時、スリープ状態にしない（無効）/スリープ状態にする（有効）を設定します。 [Intel(R) Anti-Theft Technology]が[アクティブ]または[サスペンド]に設定されている場合のみ設定できます。	無効 有効

メニュー	働き	選択項目
内蔵セキュリティ（TPM）	内蔵セキュリティチップ（TPM）の設定に関するサブメニューを表示します。スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。 • 設定サブメニュー保護 ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、[内蔵セキュリティ（TPM）]を表示する（保護しない）/表示しない（保護する）を設定します。工場出荷時の設定は[保護する]です。 • TPMの状態 内蔵セキュリティチップ（TPM）を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。工場出荷時の設定は[無効]です。 • 待機中のTPM操作 [所有者情報の初期化]を選択すると、内蔵セキュリティチップ（TPM）内に保持された所有者情報を初期化し、内蔵セキュリティチップ（TPM）により保護されたデータを復元または利用できないようにします。本機を廃棄・譲渡する際に使用してください。 • 現在のTPMの状態 現在のTPMの設定が表示されます。項目を選択したり変更したりすることはできません。 Escを押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示
AMT設定	インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーに関するサブメニューを表示します（インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーが使用できるモデルのみ表示されます）。インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーは、インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー対応の市販のアプリケーションソフトと組み合わせて使うことで、ネットワーク上のパソコンの電源がオフの状態でも、ネットワーク管理者やシステム管理者がリモートでそのパソコンの情報を統合的に管理することができる機能です。 インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーを使用するには、設定が必要です。設定の際は、ネットワーク管理者またはシステム管理者に必ず確認してください。また、別途インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー対応の市販のアプリケーションソフトも必要になります。 ネットワーク管理者およびシステム管理者がいない場合は、インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーを使用しないことをお勧めします。 詳しくは、『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「セットアップユーティリティ」をご覧ください。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。 • 設定サブメニュー保護 ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、[AMT設定]を表示する（保護しない）/表示しない（保護する）を設定します。工場出荷時の設定は[保護する]です。 • Intel(R) ME Setup起動 Ctrl+Pを押したときにIntel(R) Management Engineのセットアップを起動する（有効）/起動しない（無効）を設定します。工場出荷時の設定は[無効]です。 • USBコンフィグ USBキー（USBメモリー）を使ったコンフィグ機能を使わない（無効）/使う（有効）を設定します。工場出荷時の設定は[無効]です。 • 起動タイムアウト マネジメントサーバーへの接続を確立するときに、タイムアウトになるまでの時間を秒単位（1 ～ 254）で設定します。[Intel(R) ME Setup起動]が[有効]の場合のみ設定できます。 • AMT設定のリセット Intel(R) ME Setupにより設定された各項目を工場出荷時の状態に戻します。 Escを押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示

使ってみる

セットアップユーティリティでパスワードを設定する

セットアップユーティリティでパスワードを設定すると、セットアップユーティリティ起動時にパスワードの入力が必要になります。また、[起動時のパスワード]を[有効]に設定しておくと、電源を入れた直後にパスワード入力が必要になるため、第三者の不正な利用を防ぐことができます。
設定する前に、必ず『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「パソコン起動時/リジューム時のパスワードを設定する」をご覧ください。

1 パソコンの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。

2 パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押してセットアップユーティリティを起動する。

「Panasonic」起動画面が表示されない場合は、F2またはDelを押したまま電源を入れてください。セットアップユーティリティの画面が表示されるまで、F2またはDelを押したままにしてください。

3 ←→で[セキュリティ]を選ぶ。

スーパーバイザーパスワードを設定する場合：
↑↓で[スーパーバイザーパスワード設定]を選び、Enterを押す。
ユーザーパスワードを設定する場合：
↑↓で[ユーザーパスワード設定]を選び、Enterを押す。
- ユーザーパスワードを設定するには、まずスーパーバイザーパスワードを設定する必要があります。

4 [新しいパスワードを入力してください]の[　　　　]の中に新しいパスワードを入力し、Enterを押す。

- 入力したパスワードは画面には表示されません。
- キーボードがテンキーモードまたはキャップスロックになっていると、パスワードの設定時や入力時に右のような「【重要】お知らせ」画面が表示されます。

【重要】お知らせ
Caps Lock ： オン
Num Lock ： オン

- パスワードに使える文字は、半角の英数字と記号、スペースで最大32文字です。英字の大文字と小文字は区別されます。
  - 「¥」など、パスワードに使えない記号キーがあります。使えない記号キーを押してもパスワードには入力されません。
  - 数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。
  - 「【重要】お知らせ」画面が表示され「Caps Lock：オン」と表示されていると（Caps Lockランプが点灯）、パスワードが大文字で設定されます。
    また、「Num Lock：オン」と表示されていると（NumLockランプが点灯）、キーボードの一部がテンキーになり、数字または演算記号が設定されます。
    キーボードのテンキーモードおよびキャップスロックの状態を確認してから、パスワードを入力してください。確認せずに入力すると設定したいパスワードと異なるパスワードが設定されてしまうおそれがあります。
- Ctrlなどのキーと組み合わせて入力することはできません。

5 [新しいパスワードを確認してください]の[　　　　]の中に手順4で入力したパスワードを再度入力し、Enterを押す。

6 F10を押し、[はい]を選んでEnterを押す。

重 要

パスワードは忘れないようにしてください。

- **お客さまが設定されたパスワードなど、セキュリティに関する設定は、弊社のサービスセンターなどで解除することはできません。**
  パスワードなどの設定内容は忘れないようにしてください。
- **スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合**
  有償での修理が必要になります。修理窓口へお問い合わせください。お持ち込みいただき、数日間お預かりさせていただくことになります。セットアップユーティリティの設定は工場出荷時の状態に戻ります。また、ハードディスク保護を有効に設定している場合、修理でも無効にできませんので、パスワードは絶対に忘れないようにご注意ください。
- **ユーザーパスワードを忘れてしまった場合**
  セットアップユーティリティを起動してパスワード入力画面でスーパーバイザーパスワードを入力すると、ユーザーパスワードを設定し直すことができます。
  スーパーバイザーパスワードを知らない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した人にご相談ください。
- **本機の修理を依頼される場合**
  スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を無効にしておいてください。

ハードディスク保護を設定する

セットアップユーティリティのパスワードを設定しておくと、パスワードを知らない第三者がパソコンを使うことはできなくなりますが、パソコンを分解し、内蔵のハードディスクを取り外して他のパソコンに取り付けると、ハードディスク内に保存されている情報が読まれてしまうおそれがあります。
ハードディスク保護は、データの完全な保護を保証するものではありません。

1 セットアップユーティリティを起動する。（➡60ページ手順1と2）
パスワードの入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
スーパーバイザーパスワードを設定していない場合は、次の手順2で設定してください。

2 ←→で[セキュリティ]を選ぶ。
スーパーバイザーパスワードを設定する場合：
① ↑↓で[スーパーバイザーパスワード設定]を選び、Enterを押す。
② [新しいパスワードを入力してください]の[　　　　]の中に新しいパスワードを入力し、Enterを押す。
③ [新しいパスワードを確認してください]の[　　　　]の中に手順②で入力したパスワードを再度入力し、Enterを押す。

3 ↑↓で[ハードディスク保護]を選び、Enterを押す。

4 ↑↓で[有効]を選び、Enterを押す。

5 確認の画面でEnterを押す。

6 F10を押し、[はい]を選んでEnterを押す。

起動時に「ハードディスク保護により、アクセスが禁止されています」と表示された場合は、セットアップユーティリティを起動し、設定内容をハードディスク保護を設定したときと同じ内容に設定し直してください。

使ってみる

「終了」メニュー

メニュー	働き
設定を保存して再起動	設定内容を保存して再起動します。
設定を保存しないで再起動	設定内容を保存しないで再起動します。

保存オプション

メニュー	働き
設定を保存する	設定内容を保存します。
設定を戻す	変更前の設定に戻します。

メニュー	働き
デフォルト設定	セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻します。

メニュー	働き
デバイスを指定して起動	OSを起動させるデバイスを指定します。次回起動時のみ選択したデバイスから起動します。 グレー表示になって選べない場合は、F10を押してセットアップユーティリティを終了し、再度セットアップユーティリティを起動してください。

メニュー	働き
コンピュータの修復	再インストールを実行するか、ハードディスクの内容を消去するかを選択する画面が表示されます。 ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行したときは表示されません。 グレー表示になって選べない場合は、F10を押してセットアップユーティリティを終了し、再度セットアップユーティリティを起動してください。
診断ユーティリティ	PC-Diagnosticユーティリティを起動し、ハードウェアの診断を行います。（➡78ページ） グレー表示になって選べない場合は、F10を押してセットアップユーティリティを終了し、再度セットアップユーティリティを起動してください。

パーティションを変更する

パーティションとは

ハードディスク上に作成した領域（区画）のことです。

１つのハードディスクに複数のパーティションを作成することで、１つのハードディスクを複数のディスクのように扱うことができます。
工場出荷時、変更可能な本機のパーティションは１つです（修復用領域（リカバリー領域とシステム領域から構成されています）は変更することができません）。

1 （スタート）をクリックし、[コンピューター]を右クリックする。

2 [管理]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力して[はい]をクリックします。

3 [ディスクの管理]をクリックする。

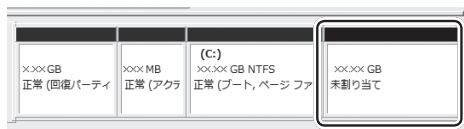
4 Windowsが使用しているパーティション（工場出荷時はCドライブ）を右クリックし、[ボリュームの縮小]をクリックする。

下記は表示例です。パーティションのサイズなどはモデルによって異なります。

5 [縮小する領域のサイズ]を入力し、[縮小]をクリックする。

ハードディスクの一部の領域を縮小することで、その中に複数のパーティションを作成することができます。
画面に表示されているサイズよりも大きなサイズには指定できません。また、40 GB以下に縮小すると、そのドライブにOSを再インストールすることができなくなります。

6 [未割り当て]領域を右クリックし、[新しいシンプルボリューム]をクリックする。

[未割り当て]領域は手順５で縮小した領域です。入力した数値より、少なくなります。

7 「新しいシンプルボリュームウィザードの開始」画面が表示されたら[次へ]をクリックする。

次の設定を行ってください。
②と③の設定を表示以外に変更する場合は専門的な知識が必要です。通常は表示されたままで[次へ]をクリックしてください。

① シンプルボリュームサイズの指定
　作成するパーティションのサイズを指定します。[未割り当て]領域をすべて使用する場合は、表示されたサイズのまま[次へ]をクリックしてください。
　表示されたサイズより少ない数値を入力した場合、残りのサイズは[未割り当て]領域として残ります。
② ドライブ文字またはパスの割り当て
③ パーティションのフォーマット

8 [完了]をクリックする。

新しいパーティションのフォーマットが開始します。（手順７の③で「このボリュームを次の設定でフォーマットする」を選択した場合）
画面にフォーマットの進行が表示されますので、終了するまでお待ちください。

● **パーティションを追加するには**

[未割り当て]領域が残っている場合は手順６から、Windowsの領域にまだ余裕がある場合は手順４からの操作を行うことで、新しいパーティションを追加できます。

● **パーティションを削除するには**

手順４の画面で削除するパーティションを右クリックし、[ボリュームの削除]をクリックしてください。

このパソコンにトラブルがあったときは

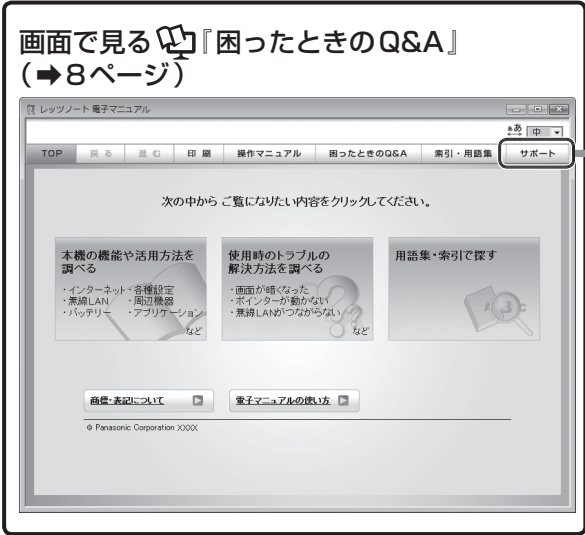
問題の解決方法

こんなとき → **確認する/ここで調べる**

画面に黒い点や、色の付いている点がある →

故障ではありません（➡75ページ）

画面が暗い →

Fn ＋ F2 を押す（➡28ページ）

仕様がわからない
- 使えるRAMモジュールは？
- 付属のアプリケーションは？

→

「仕様」（➡96ページ）

駆動時間が短い → 使用環境によって異なります（➡40ページ）

電源が入らない/電源は入るがWindows画面が出ない → 本書の「困ったとき」（➡66、67ページ）

Windowsの操作がわからない → 『取扱説明書 Windows® 7入門ガイド』付属していない場合があります。

Windows画面は出ているが、操作できない
- キーボード
- ホイールパッド
- インターネット
- 無線LAN　など

周辺機器が動かない

→ 画面で見る 『困ったときのQ&A』（➡8ページ）

アプリケーションソフトが動かない/おかしい
- ご購入時に導入済みのアプリケーションソフトの場合 → 画面で見る『困ったときのQ&A』
- その他のソフトの場合

さらに調べるとき／修復するとき

解決しないとき

修理に関するお問い合わせ

1. 付属の『修理依頼書』に記入する。
2. 付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』で修理に関する詳しい情報を確認し、修理窓口へ連絡する。

「ハードウェアを診断する」
（➡78ページ）

→ 「再インストールする」
（➡84ページ）

→ パナソニックパソコンお客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電　話　フリーダイヤル　携帯・PHS OK　0120-873029（パナソニック）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
※発信者番号通知のご協力をお願いいたします。
非通知に設定されている場合は「186-0120-873029」におかけください（はじめに「186」をダイヤル）。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合（発信者番号を非通知でお電話いただく場合を含む）は
(06)6905-5067

ＦＡＸ　(06)6905-5079

（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

（2011年2月1日現在）

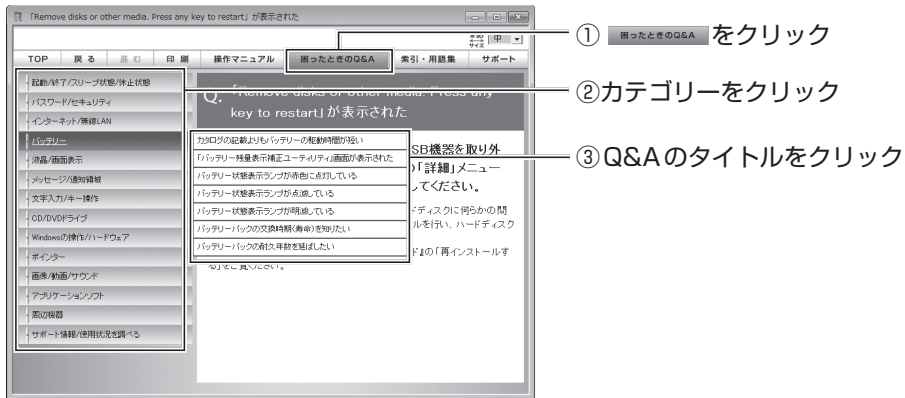
弊社のWebページの「よくある質問（FAQ）」
http://askpc.panasonic.co.jp

→ 周辺機器のWebページや説明書 → 周辺機器の相談センターへ

アプリケーションソフトのWebページや説明書 → 「アプリケーションソフトの問い合わせ先」
（➡93ページ）
→ アプリケーションソフトの相談センターへ

困ったとき

起動 / 終了 / スリープ状態 / 休止状態の Q&A

本機が起動しない、動かないなどのトラブルが発生した場合は、66 ～ 94ページで解決方法を確認してください。
解決方法が見当たらない場合は、デスクトップの（操作マニュアル）をダブルクリックして『困ったときのQ&A』も確認してください。

質　問	対　策
本機が起動しない/バッテリー状態表示ランプ（）が点灯しない	**ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが正しく取り付けられているか確認してください。** ➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』
	バッテリーパックがしっかりと固定されていることを確認してください。
	RAMモジュールを増設または交換した場合、RAMモジュールを取り外して再度電源を入れてください。 RAMモジュールを外すと電源が入る場合は、RAMモジュールの問題が考えられます。 ●パソコンの電源を切り、推奨のRAMモジュールであることを確認し、正しく取り付け直してください。 ●RAMモジュールの仕様を確認してください。 RAMモジュールについては、「メモリー容量を増やす」（➡48ページ）または「仕様」（➡96ページ）をご覧ください。
	しばらくしてから再度電源を入れてください。 CPUの温度が上がっている可能性があります。CPUの温度が上がっていると、CPUの過熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
	電源コードを抜き、1分以上待ってから再度接続してください。 ACアダプターとバッテリーパックを正しく接続していてもバッテリー状態表示ランプが点灯しないときは、ACアダプターの保護機能が働いている場合があります。電源コードを接続し直してもランプが点灯しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
SD/SDHC/SDXCメモリーカードをセットしたままWindowsを起動すると、チェックディスク（CHKDSK）が始まる	**チェックディスクが終了するまでそのままお待ちください。** SD/SDHC/SDXCメモリーカードへの書き込み中に、カードを取り出した可能性があります。 ➡ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「SD/SDHC/SDXCメモリーカードを使う」

質　問	対　策
電源は入るがWindowsが正常に起動しない	**電源状態表示ランプ⏻が点灯している場合** アクセスランプ 🛢 が点灯していないなど、ハードディスクにアクセスしていないことをご確認のうえ、電源スイッチを４秒以上スライドして電源を切ってください。その後、再度電源を入れてください。
	お買い上げ後初めて電源を入れた場合 Windowsのセットアップ画面が表示されず、「コンピューターが予期せず再起動されたか、予期しないエラーが発生しました」というようなメッセージが表示される場合があります。これは、Windowsのセットアップが始まるまでにパソコンの電源が強制的に切れた場合（ACアダプターを抜いたり、ACアダプターを接続せずにセットアップしてバッテリー残量がなくなったりした場合）に表示されるメッセージで、再インストールを行うまでWindowsが使えなくなります。この場合は、再インストールをしてください。
	休止状態からのリジューム時にWindowsが起動しなくなった場合 リカバリーディスクを使って「システム回復オプション」を起動し、[スタートアップ修復]を実行してください（➡83ページ）。 それでもWindowsが起動しない場合は、リカバリーディスクを使って再インストールしてください。
	セットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してください。 （➡53ページ）
	USBメモリーなど、周辺機器を取り外してください。 周辺機器を取り外すと起動できた場合は、周辺機器の問題が考えられます。周辺機器のメーカーにお問い合わせください。
	次の手順で、セーフモードで起動し、エラーの内容を確認してください。 ① パソコンの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が消えたとき（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード設定時はパスワード入力後）に F8 を押し続ける。 ②「詳細ブートオプション」が表示されたら指を離す。 ③ ↑↓で[セーフモード]を選ぶ。 ④ Enter を押す。以降は、画面に従って操作してください。
Windows起動時に音が途切れる	**Windowsの処理状況によっては、Windows起動時に音が途切れる場合があります。** 次の手順で起動時の音が鳴らないように設定することができます。 ① デスクトップで右クリックし、[個人設定]をクリックする。 ② [サウンド]をクリックし、[Windows スタートアップのサウンドを再生する]をクリックしてチェックマークを外し、[OK]をクリックする。
Windows 7（64ビット）とWindows 7（32ビット）を切り替えたい	**Windows 7（64ビット）とWindows 7（32ビット）を切り替える場合（例えば、Windows 7（64ビット）がインストールされているハードディスクにWindows 7（32ビット）をインストールする場合）は、ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って再インストールしてください。** リカバリー領域のデータが使えない場合は、リカバリーディスクを使って再インストールした後、リカバリー領域のデータを使って再インストールしてください。

起動/終了/スリープ状態/休止状態のQ&A

<table>
<tr><th>質　問</th><th>対　策</th></tr>
<tr><td rowspan="3">「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された</td><td>システムを起動できないフロッピーディスクがフロッピーディスクドライブにセットされていないか確認してください。
セットされている場合は、取り出してから何かキーを押してください。</td></tr>
<tr><td>USB機器を取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[レガシー USB]を[無効]に設定してください。
セットアップユーティリティの起動方法：➡51ページ</td></tr>
<tr><td>設定しても同じメッセージが表示される場合、ハードディスクに何らかの問題が発生していることがあります。
●再インストールを行い、ハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻してください。（➡84ページ）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">フロッピーディスクから起動できない</td><td>ご使用のフロッピーディスクドライブによっては、正常に起動しない場合があります。
フロッピーディスクドライブからの起動は、当社製外部FDD（品番：CF-VFDU03U）で動作を確認しています。</td></tr>
<tr><td>パソコンの電源を切り、外部FDDを接続し直してください。</td></tr>
<tr><td>起動用ディスクが正しくセットされているか確認してください。</td></tr>
<tr><td>セットアップユーティリティを起動し、次の設定になっていることを確認してください。
•「詳細」メニューの[USBポート]が[有効]
•「詳細」メニューの[レガシー USB]が[有効]
•「起動」メニューの[Boot Mode]が[通常]
•「起動」メニューで[起動オプション#1]が[USBフロッピー]
次回起動時のみ、フロッピーディスクから起動する場合は、「終了」メニューで[デバイスを指定して起動]の下に表示されているフロッピーディスクドライブのデバイス名（例：[MATSHITAFDD XXXXX]）を選び、Enterを押してください。
[Boot Mode]は、クイックブートマネージャーでも設定できます。かんたん高速起動設定モードを無効にするか高速起動詳細設定ウィザードモードで[電源オン時の初期化（Boot Mode）]を無効にしてください。</td></tr>
<tr><td>ユーザー名を変更したらログオンできなくなった</td><td>変更前のユーザー名でログオンしてみてください。
ユーザー名は「名前」と「フルネーム」という2種類の名前で管理されています。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>質　問</th><th>対　策</th></tr>
<tr><td rowspan="5">Windowsの起動や動作が遅い</td><td>メモリー容量を増やしてください。</td></tr>
<tr><td>お買い上げ後にインストールした常駐アプリケーションソフトがある場合は、そのアプリケーションソフトの常駐を解除してください。</td></tr>
<tr><td>ディスクデフラグツールを実行してください。</td></tr>
<tr><td>起動が遅い場合は、次の方法をお試しください。
●クイックブートマネージャーを使って、電源を入れてからWindowsが起動するまでの時間を短縮する。
ブートトレーニングを実行することで起動が早くなる場合があります。
➡『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「Windowsが起動するまでの時間を短くする」
●セットアップユーティリティの「起動」メニューで[Boot Mode]を[高速]に設定する。（クイックブートマネージャーでも設定することができます）
ただし、[高速]に設定すると、パソコンの電源を入れた直後に表示される「Panasonic」起動画面が表示されなくなります。
• セットアップユーティリティを起動する場合は、F2またはDelを押したまま電源を入れてください。
• PC-Diagnosticユーティリティを起動する場合は、セットアップユーティリティの「終了」メニューの[診断ユーティリティ]を選んでください。
また、次の操作ができなくなります。
• USBポートに接続しているUSB機器からの起動/LAN経由での起動
• 外付けキーボードでのセットアップユーティリティの操作およびスーパーバイザーパスワードやユーザーパスワードの入力</td></tr>
<tr><td>なお、Windowsの動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スリープ状態/休止状態からリジューム（復帰）しない</td><td>次のような場合は、電源スイッチをスライドして電源を入れてください。なお、保存していないデータは失われます。
• スリープ状態のとき、ACアダプターおよびバッテリーパックを取り外した。
• 周辺機器の取り付け/取り外しを行った。
• 電源スイッチを４秒以上スライドして強制終了した。</td></tr>
<tr><td>ACアダプターを接続し、リジュームしてください。
バッテリーの残量が少ない、または完全に放電している可能性があります。</td></tr>
<tr><td>再起動すると、内蔵CD/DVDドライブの電源がオフになる</td><td>[光学ドライブ電源]を[オン]に変更してください。
セットアップユーティリティの「メイン」メニューの[光学ドライブ電源]が[オフ]に設定されています。CD/DVDドライブの電源を常にオンの状態で起動したい場合は、[光学ドライブ電源]を[オン]に変更してください。
ただし、[オン]に設定すると、本体の電源を入れた直後にドライブの作動音が鳴ります。</td></tr>
</table>

起動 / 終了 / スリープ状態 / 休止状態の Q&A

質　問	対　策
電源が切れない（Windowsが終了しない）	**周辺機器を取り外してから Windows を終了してください。** 周辺機器を取り外すと終了できた場合は、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。
	ご購入後にインストールしたアプリケーションソフトを削除してください。 アプリケーションソフトをインストールした後で電源が切れなくなった場合は、（スタート）-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール]をクリックし、ご購入後にインストールしたアプリケーションソフトを削除してください。 削除すると終了できた場合は、アプリケーションソフトの問題が考えられます。ソフトのメーカーにお問い合わせください。
	次の手順で、ディスクのエラーチェックを行ってください。 ① 外部ディスプレイを含むすべての周辺機器を取り外す。 ② （スタート）-[コンピューター]をクリックし、[ローカルディスク（C:）]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。 ③ [ツール]をクリックして、[チェックする]をクリックする。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力して[はい]をクリックします。 ④ [チェックディスクのオプション]で[ファイルシステムエラーを自動的に修復する]と[不良セクターをスキャンし、回復する]にチェックマークを付け、[開始]をクリックする。 ⑤「次回コンピューター起動時にハードディスクのエラーを検査しますか？」というメッセージが表示された場合は、[ディスク検査のスケジュール]をクリックする。 ⑥ Windows を再起動する。 チェックディスクにかかる時間は、ドライブの容量やファイルの内容、[チェックディスクのオプション]の設定により異なります。 チェックディスクを行っても解決できない場合は、再インストールを行い、ハードディスクをお買い上げ時の状態に戻してください。 （➡84ページ）

パスワード/メッセージのQ&A

質　問	対　策
パスワードを入力しても再度入力を求められる	**Ⓘランプが点灯している場合は、NumLkを押してテンキーモードを解除してから入力してください。** セットアップユーティリティのパスワードを入力する場合、テンキーモードになっていると、その状態をお知らせする「【重要】お知らせ」画面が表示されます。
	Ⓐランプが点灯している場合は、Shiftを押しながらCaps Lockを押してキャップスロックを解除してから入力してください。 セットアップユーティリティのパスワードを入力する場合、キャップスロックになっていると、その状態をお知らせする「【重要】お知らせ」画面が表示されます。
キーを押しても文字が入力されない	**Fnキーがロックされている場合があります。Fnを1回押してロックを解除してから入力してください。**
「パスワードを入力してください」が 表示された パスワードを入力してください	**スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。** スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合は有償での修理が必要となります。ご相談窓口にご相談ください。 ユーザーパスワードを忘れてしまった場合は、セットアップユーティリティを起動して、パスワード入力画面でスーパーバイザーパスワードを入力してください。 ユーザーパスワードを設定し直すことができます。
パスワードの入力画面が表示されない	**スリープ状態/休止状態からリジュームしたときにパスワードの入力画面を表示させるには、次の設定を行ってください。** ●セットアップユーティリティのパスワードの入力画面を表示するには セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューでパスワードを設定し、[復帰時のパスワード]を[有効]に設定します。 ●Windowsパスワードの入力画面を表示するには （工場出荷時は、Windows パスワードが設定されていれば表示される設定になっています）。 ① (スタート）-[コントロールパネル]をクリックする。 すでにWindowsパスワードが作成されている場合は、手順⑦に進んでください。 ② [ユーザーアカウントと家族のための安全設定]をクリックする。 ③ [Windowsパスワードの変更]をクリックする。 ④ [アカウントのパスワードの作成]をクリックする。 ⑤ パスワードを設定し、[パスワードの作成]をクリックする。 ⑥ (スタート）-[コントロールパネル]をクリックする。 ⑦ [システムとセキュリティ]をクリックする。 ⑧ [バッテリ設定の変更]をクリックする。 ⑨ [スリープ解除時のパスワード保護]をクリックする。 ⑩ [現在利用可能ではない設定を変更します]をクリックする。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindows パスワードを入力して[はい]をクリックします。 ⑪ [パスワードを必要とする]をクリックし、[変更の保存]をクリックする。

パスワード/メッセージのQ&A

質　問	対　策
「'Slimtype DVDXXXXXXXXX'はコンピューターから安全に取り外すことができます」や「'MATSHITA XXXXXXXXXX'はコンピューターから安全に取り外すことができます」などのメッセージが表示された	**内蔵CD/DVDドライブの電源がオフになったことをお知らせするメッセージです。** Fn+Endを押してCD/DVDドライブの電源をオフにしたときなどに表示される場合がありますが、CD/DVDドライブは内蔵のため取り外すことはできません。
管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを忘れた	**他の管理者のユーザーアカウントでログオンし、忘れてしまったパスワードを削除してください。** ① （スタート）-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウントの追加または削除]をクリックする。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。 ② パスワードを忘れてしまった管理者のユーザーアカウントをクリックする。 ③ [パスワードの削除]をクリックする。 ④ [パスワードの削除]をクリックする。 パスワードが削除されます。 他に管理者のユーザーアカウントを作成していない場合は、再インストールして、ハードディスクを工場出荷時の状態に戻す必要があります。ただし、再インストールをすると、作成したデータやインストールしたアプリケーションソフト、メールの履歴などはすべて消去されます。
	パスワードリセットディスクを作成していた場合、パスワード入力失敗後に表示される[パスワードのリセット]をクリックし、表示されるメッセージに従って、パスワードを再設定することができます。 パスワードリセットディスクで解除できるのは、各ユーザーアカウントのWindows パスワードのみです。セットアップユーティリティのパスワードを解除することはできません。セットアップユーティリティのパスワードは忘れないように注意してください。 パスワードリセットディスクを作成するには、次の手順をご覧ください。 ① （スタート）-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウントと家族のための安全設定]をクリックする。 ② [ユーザーアカウント]をクリックする。 ③ [パスワードリセットディスクの作成]をクリックする。 以降、画面の指示に従ってパスワードリセットディスクを作成し、大切に保管してください。
Windowsが起動せず、数字またはメッセージが表示された	**システムの起動エラーです。「エラーコードが表示されたら」(➡92ページ）の内容に従って操作してください。**
	「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された場合は、68ページをご覧ください。

バッテリーのQ&A

質　問	対　策
カタログの記載よりもバッテリーの駆動時間が短い	**バッテリーの駆動時間は、バッテリーのエコノミーモード（ECO）の有効/無効や、使用環境、設定されている電源プランによって異なります（例えば、画面を明るくして使っているときなどは短くなります）。** **➡40ページ** カタログや本書の「仕様」（➡96ページ）などに記載されているバッテリーの駆動時間は、「JEITA バッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」に基づき測定された数値です。
バッテリーパックの交換時期（寿命）を知りたい	**バッテリーパックを正しく充電してもバッテリーの駆動時間が著しく短い場合は、バッテリーパックの寿命と考えられます。新しいバッテリーパックと交換することをお勧めします。** PC情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定していると、バッテリーパックの状態が定期的に確認され、お知らせする情報がある場合は画面右下に[バッテリーに関するお知らせがX件あります]という小ポップアップ画面が表示されます。 小ポップアップ画面をクリックしてバッテリーに関する情報（バッテリー残量表示補正およびバッテリーの消耗/交換時期）を確認することができます（➡『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「パナソニックからの必要な情報を確認する」）。
バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯している	**バッテリーの残量が少なくなっています（残量約9%以下）。** ACアダプターを接続してバッテリー状態表示ランプがオレンジ色に変わったら、そのままお使いください。ACアダプターがない場合は、すぐにデータを保存し、Windowsを終了してください。その後、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
バッテリー状態表示ランプが点滅している	**赤色に点滅している場合** すぐにデータを保存し電源を切った後、バッテリーパックとACアダプターを本体から取り外し、取り付け直してください。 それでも赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。ご相談窓口にご相談ください。
	オレンジ色に点滅している場合 次のどちらかの状態が考えられます。 ●バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、一時的に充電できない状態です。温度が充電可能な範囲内になると自動的に充電が始まります。そのままお使いください。 ●アプリケーションソフトや周辺機器（USB機器など）が多くの電力を消費し電力不足になっているため、充電できない状態です。起動しているアプリケーションソフトを終了し、周辺機器を取り外します。電力不足が解消されれば自動的に充電が始まります。
バッテリー状態表示ランプが明滅している	**バッテリーの充電中です。** セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[充電中バッテリー状態表示]を[明滅]に設定すると、点灯状態が明るくなったり少し暗くなったり（明滅）します。
「バッテリー残量表示補正ユーティリティ」画面が表示された	**バッテリー残量表示補正を実行した後、「Windowsを終了します」という画面で[いいえ]をクリックした可能性があります。[いいえ]をクリックするとWindowsの終了処理が中止され、次回起動時に再びバッテリー残量表示補正が始まります。** ●Windowsを起動するには、電源スイッチをスライドして電源を切り、もう一度電源を入れてください。

ポインターと画面表示のQ&A

質　問	対　策
ホイールパッド使用時ポインターが動かない	**セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[フラットパッド]が[有効]に設定されているか確認してください。**
	キーボードを操作し、外部マウスのドライバーを削除してください。 ① 管理者のユーザーアカウントでログオンし、⊞を押しながらRを押す。 ②「devmgmt.msc」と入力してEnterを押す。 ③ Tabを押し、↓を数回押して[マウスとそのほかのポインティングデバイス]を選び、→を押す。 ④ [Synaptics PS/2...]以外の名前が表示されている場合、↓で外部マウスのドライバーを選び、Del、Enterの順に押し削除する。 ⑤ 再起動確認の画面で[はい]を選び、Enterを押す。 再起動確認の画面が表示されない場合は、⊞を押し、→を２回押した後、↑で[再起動]を選んでEnterを押してください。 キーボードで操作できない場合は、電源スイッチを４秒以上スライドして電源を切った後、電源を入れてください。 ⑥ ⊞を押しながらRを押す。 ⑦「c:¥util¥drivers¥mouse¥setup.exe」と入力してEnterを押す。 ⑧ 画面の指示に従ってSynapticsのドライバーをインストールする。
	(スタート)-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[マウス]-[デバイス設定]をクリックすると表示される画面で、[USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする]にチェックマークを付けている場合、USBマウスを接続するとホイールパッドが無効になります。 • ホイールパッドをお使いになる場合は、USBマウスを取り外してください。 • USBマウスを接続してもホイールパッドが無効にならないように設定する場合は、[USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする]をクリックしてチェックマークを外して[OK]をクリックしてください。
ポインターが勝手に動く	**外部マウスのドライバーがインストールされていないことを確認してください。** 上記「ホイールパッド使用時ポインターが動かない」の２つ目の項目の手順①～⑤をご覧ください。
	ホイールパッドに触れたときの感度を調節してください。 「ホイールパッドを使う」をご覧ください。➡31ページ
マウス接続時ポインターが動かない	**マウスが正しく接続されているか確認してください。**
	接続したマウスのドライバーをインストールしてください。 外部マウスのドライバーをインストールすると、ホイールパッドが使えないことがあります。 詳しくは、『操作マニュアル』「(周辺機器)」の「外部マウスを使う」をご覧ください。
	セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[フラットパッド]を[無効]に設定してください。
	お使いのマウスのメーカーにお問い合わせください。 不具合などが修正された最新のドライバーがマウスのメーカーから配布されている場合があります。

困ったとき

質　問	対　策
マウス接続時ホイールパッドを無効にする	**(スタート)-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[マウス]-[デバイス設定]をクリックすると表示される画面で、[USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする]をクリックしてチェックマークを付けて[OK]をクリックしてください。(➡32ページ)**
明るさが変わった（暗くなった/明るくなった）	**Fn キーを使うことで、明るさを変更できます。** Fn + F1 ：画面が暗くなります。 Fn + F2 ：画面が明るくなります。 ➡28ページ
緑、赤、青のドットが残ったり、正しい色が表示されない/画面の色や明るさにむらが見える	**これらは故障ではありません。** • 本機に搭載のカラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（赤、青、緑色）するものがあります。（有効画素：99.998 %以上、画素欠けなど：0.002 %以下） • 液晶ディスプレイの構造上の特性により、見る角度によって色や明るさにむらが見える場合があります。また、画面の色合いは製品によって異なる場合があります。
画面が乱れる	**本機を再起動してください。** 解像度/色数を変更したり、本機の動作中に外部ディスプレイの取り付け/取り外しを行ったりすると、画面が乱れることがあります。
	内部LCDのリフレッシュレートが40ヘルツになっている可能性があります。次の方法でリフレッシュレートを変更してください。 ① デスクトップの何もないところを右クリックし、[グラフィック プロパティ]をクリックする。 アプリケーションモードを選ぶ画面が表示された場合は、モードをクリックして[OK]をクリックしてください。 詳細な設定を行わない場合は、[基本モード]を選んでください。 ② [マルチディスプレイ]をクリックし、[動作モード]で[クローンディスプレイ]をクリックする。 [クローンディスプレイ]が表示されていない場合は、外部ディスプレイを接続してください。 ③ [一般設定]をクリックする。 ④ [ディスプレイ]を[内蔵ディスプレイ]に設定し、[リフレッシュレート]が[40Hz]になっている場合は、[60Hz]に変更し、[OK]をクリックする。 ⑤ 確認の画面で[OK]をクリックする。
画面表示を分割しても、領域内で最大化されない（ウィンドウが領域からはみ出すなど）	**一部のアプリケーションソフトでは、領域内で最大化されない場合があります。** 画面分割ユーティリティでアプリケーションソフトのウィンドウに合うように領域の境界線を変更することができます。 画面分割ユーティリティについては、『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「画面表示を分割する」をご覧ください。

困ったとき

ポインターと画面表示のQ&A

質　問	対　策
一瞬真っ黒になる	**ログオンやログオフ、ユーザーの簡易切り替えを使用したとき、画面が一瞬真っ黒になる場合がありますが、故障ではありません。そのままお使いください。**
	ユーザーアカウント制御を設定している場合、（シールド）が表示されている操作を行うと「ユーザーアカウント制御」画面が表示され、この画面以外の部分が暗くなります。 管理者のユーザーアカウントでログオンしている場合は、[はい]をクリックしてください。 標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力し、[はい]をクリックしてください。
	電源プラン拡張ユーティリティの[画面の省電力機能]を有効に設定しているときに、次のような操作を行うと画面が一瞬真っ黒になる場合がありますが、故障ではありません。そのままお使いください。 • Fn+F1/Fn+F2で画面の明るさを調整する。 • ACアダプターを抜き挿しする。 動画再生ソフトやグラフィックのベンチマークソフトなどをお使いで、エラー画面が表示されたりソフトが正しく動作しなくなったりした場合は、電源プラン拡張ユーティリティの[画面の省電力機能]を無効に設定してください。 ➡『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「利用シーンに合った電源設定をする（電源プランの設定）」
何も表示されない	**電源状態表示ランプ⏻が点灯している場合は、ディスプレイの電源が切れています。** CtrlやShiftなど動作に影響のないキーを押してください。選択に使うキー（Enter、　（スペースキー）、Esc、Y、Nや数字キーなど）は使わないでください。 ディスプレイの電源が切れないようにするには、「スリープ状態/休止状態に移行するまでの時間を変更/無効にする」（➡42ページ）をご覧になり、[ディスプレイの電源を切る]を[なし]に設定してください。
	画面の表示モードが内部LCD以外に設定されている可能性があります。 Fn+F3または⊞+Pを押して表示モードを切り替えてください。 Fn+F3または⊞+Pを続けて押す場合は、画面の表示モードが完全に切り替わったことを確認してから押してください。
	画面が暗くなっている可能性があります。 Fn+F2を押して画面を明るくしてください。（➡28ページ）
	電源状態表示ランプ⏻が点滅または消灯している場合は、スリープ状態または休止状態になっています。 電源スイッチをスライドしてください。
	RAMモジュールを増設または交換した場合は、RAMモジュールが正しく取り付けられていません。 電源を切り、RAMモジュールが推奨品であることを確認し、正しく取り付け直してください。それでも画面に何も表示されない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
残像が表示される	**別の画面を表示してください。** 同じ画面を長時間表示させていると残像になることがあります。

リカバリーディスク(プロダクトリカバリー DVD-ROM)のQ&A

質　問	対　策
リカバリーディスクまたはプロダクトリカバリー DVD-ROMが付属していない	**プロダクトリカバリー DVD-ROMが付属しているかどうかは、付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「1 付属品の確認」で確認してください。** •「リカバリーディスク(プロダクトリカバリー DVD-ROM Windows® 7 Professional)」が記載されていない場合: プロダクトリカバリー DVD-ROMは付属していません。リカバリーディスク作成ユーティリティを使って、リカバリーディスクを作成してください。(➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』「5 リカバリーディスクを作成する」) •「リカバリーディスク(プロダクトリカバリー DVD-ROM Windows® 7 Professional)」が記載されている場合: プロダクトリカバリー DVD-ROMが付属しています。本書などでは、付属のプロダクトリカバリー DVD-ROMを「リカバリーディスク」と表記します。
リカバリーディスクの作成方法がわからない	**付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』「5 リカバリーディスクを作成する」をご覧ください。** 「5 リカバリーディスクを作成する」が記載されていない場合は、リカバリーディスクを作成することはできません。付属のプロダクトリカバリー DVD-ROMをお使いください。

ハードウェアを診断する

本機に搭載されているハードウェアが正しく動作しない場合は、PC-Diagnostic ユーティリティを使って、正常に動作しているかを診断することができます。
ハードウェアに異常が見つかったときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。詳しくは、「保証とアフターサービス」（➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』）をご覧ください。

PC-Diagnosticユーティリティで診断するハードウェア

診断するハードウェア	PC-Diagnosticユーティリティの表示
CPU	CPU/System
メモリー	RAM xxxx MB
ハードディスク	HDD xxx GB
内蔵CD/DVDドライブ	DVD-ROM
ビデオコントローラー	Video
サウンド	Sound
LAN	LAN
無線LAN	Wireless LAN
USB	USB
SDカードコントローラー	SD
内部キーボード	Keyboard
ホイールパッド	Touch Pad

● Video診断中に画面が乱れたり、Sound診断中にスピーカーから音が出ることがありますが、これらは異常ではありません。Sound診断中は、大きなビープ音が鳴りますので、ヘッドホンを装着しないでください。（Windowsでミュートに設定している場合、音は鳴りません。）
● ソフトウェアは診断できません。
● SDの診断を行う場合は、SDメモリーカードを取り付けてからPC-Diagnosticユーティリティを起動してください。
SDメモリーカードがない場合は、パソコンの電源を切り、再度PC-Diagnosticユーティリティを起動してください。SDメモリーカードを取り付けていない場合でも診断できるようになります。

操作のしかた

ホイールパッドで操作することをお勧めします。ホイールパッドで操作しないときは、代わりに内部キーボードで操作することもできます。

操作	ホイールパッドの操作	内部キーボードの操作
アイコンを選ぶ	ポインターをアイコンの上に合わせる	［　　　］（スペースキー）を押してから［→］［←］［↑］［↓］を押す（画面右上の[close]は選べません。）
アイコンをクリックする	タップまたはクリックする（右クリックは使えません。）	アイコン上で［　　　］（スペースキー）を押す
PC-Diagnosticユーティリティを終了してパソコンを再起動する	画面右上の[close]をクリックする	Ctrl+Alt+Delを押す

ホイールパッドが正しく動作しない場合は、Ctrl+Alt+Delを押してパソコンを再起動するか、電源スイッチをスライドして電源を切った後に、再度PC-Diagnosticユーティリティを起動してください。

診断する

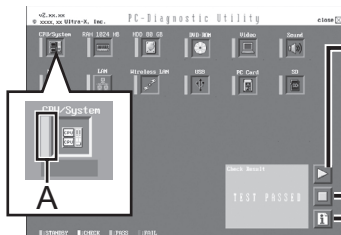
セットアップユーティリティを工場出荷時の状態にして実行します。セットアップユーティリティなどで使用できないように設定されている場合は、ハードウェアのアイコンがグレー表示になります。

1. **周辺機器を取り外す。**
2. **ACアダプターを接続する。**
   診断中は、ACアダプターの抜き挿しや周辺機器の取り付け/取り外しを行わないでください。
3. **パソコンの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。**
4. **パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押してセットアップユーティリティを起動する。**
   「Panasonic」起動画面が表示されない場合は、F2またはDelを押したまま電源を入れてください。セットアップユーティリティの画面またはパスワード入力画面が表示されるまで、F2またはDelを押したままにしてください。
   - お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、変更した設定をメモしておくことをお勧めします。
   - パスワードの入力画面が表示された場合は、スーパーバイザーパスワードを入力し、Enterを押してください。
5. **F9を押す。**
   確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押してください。
6. **←と→を使って「メイン」メニューに移動し、[光学ドライブ電源]を選びEnterを押し、[オン]を選びEnterを押す。**
7. **F10を押す。**
   確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押してください。
8. **パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押してセットアップユーティリティを起動する。**

ハードウェアを診断する

9 ←と→を使って「終了」メニューに移動する。

10 ↑と↓を使って[診断ユーティリティ]を選び Enter を押す。

PC-Diagnosticユーティリティが起動し、自動的にすべてのハードウェアの診断が始まります。（画面は英語です。）
アイコンの左側（A）に青色と黄色が交互に表示され始めるまでは、ホイールパッドまたは内部キーボードが使えません。

診断中にクリックして行える操作

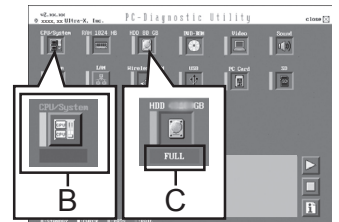
診断を最初から始めるとき

診断を中止するとき（診断を途中から再開することはできません）

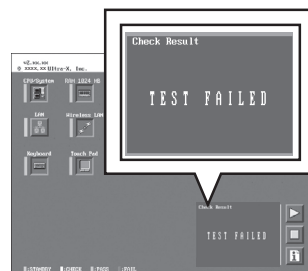
ヘルプを表示するとき（画面をクリックするか（スペースキー）を押すと元の診断画面に戻ります）

- SDの診断を行う場合は、SDメモリーカードを取り付けてからPC-Diagnosticユーティリティを起動してください。SDメモリーカードがない場合は、パソコンの電源を切り、再度PC-Diagnosticユーティリティを起動してください。SDメモリーカードを取り付けていない場合でも診断できるようになります。
- ハードウェアのアイコンの左側（A）の表示色で診断状況が確認できます。
  - 水色：診断していない状態
  - 青色と黄色が交互に表示：診断中。診断内容によって表示の間隔は異なります。RAM診断中は、表示が長時間止まることがありますが、そのままお待ちください。
  - 緑色：正常と診断
  - 赤色：異常と診断
- 気温が高い場所でお使いの場合、表示される診断時間よりも長くかかる場合があります。

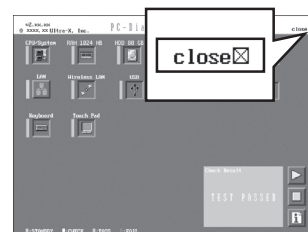
メモ

- 次の手順で、特定のハードウェアのみを診断することができます。
  ① ■をクリックして診断を中止する。
  ② 診断しないハードウェアのアイコンをクリックしてグレー表示（B）にする。
  ハードディスク、キーボード、ホイールパッドの場合は、クリックすると拡張診断（アイコンの下（C）に「FULL」と表示）になり、再度クリックするとグレー表示になります。
  ③ ▶をクリックして診断を始める。

- 拡張診断ができるハードウェアは、ハードディスク、キーボード、ホイールパッドです。通常のご使用時は、キーボードとホイールパッドの拡張診断を行う必要はありません（これらの拡張診断は、ご相談窓口にお問い合わせいただいたときに診断を行っていただく場合があります）。ハードディスクの拡張診断は、標準診断に比べて詳しい診断を行うため、診断時間が長くなります。
- PC-Diagnosticユーティリティは、次の手順でも起動することができます。
  セットアップユーティリティの「起動」メニューで[Boot Mode]を[高速]に設定すると、次の手順で起動できない場合があります。
  ① 手順7までを行う。
  ② パソコンの起動後、「Panasonic」起動画面が表示されている間に Ctrl + F7 を押し続ける。
  - 「Panasonic」起動画面が表示されない場合は、Ctrl + F7 を押したまま電源を入れてください。
  - 画面左下の「Please wait...」が表示されたらキーから指を離してください。押し続けていると、ポインターが表示されなくなる場合があります。

11 すべてのハードウェアが診断されたら、診断結果を確認する。

赤色になり「Check Result TEST FAILED」が表示されたら、パソコンのハードウェアが故障していると考えられます。赤色で表示されているハードウェアを確認して、ご相談窓口にご相談ください。
緑色になり「Check Result TEST PASSED」が表示されたら、パソコンのハードウェアは正常です。そのままお使いください。それでも正しく動作しない場合は、再インストールしてください。（➡84ページ）

メモ

RAMモジュールを増設した状態でメモリー診断をして「Check Result TEST FAILED」が表示された場合：
増設されたRAMモジュールを取り外して診断を行ってください。それでも「Check Result TEST FAILED」が表示された場合、内蔵のRAMモジュールが故障していると考えられます。

12 診断が終了したら、画面右上の[close]をクリックするか、Ctrl＋Alt＋Delを押してパソコンを再起動する。

重要

セットアップユーティリティの「メイン」メニューの[光学ドライブ電源]が[オン]に設定されています。[オン]に設定されていると、パソコンの起動直後にドライブから振動や作動音がします。パソコン起動時に作動音を鳴らさないようにするには、[光学ドライブ電源]を[オフ]に設定してください。

ハードディスクを復元する

Windows 7に搭載されている「システムイメージの作成」および「システム回復オプション」の「システムイメージの回復」を使うことで、ハードディスク全体をバックアップおよび復元することができます。

ハードディスクをバックアップする

「システムイメージの作成」機能を使うと、別の記憶メディア（外付けハードディスクなど）に、ハードディスク全体のバックアップを取ることができます。
ハードディスク全体をバックアップするには、次の手順を行ってください。

① （スタート）-[コントロールパネル]-[バックアップの作成]をクリックする。
② [システムイメージの作成]をクリックする。
③ バックアップする場所を選択し、[次へ]をクリックする。
以降は画面の指示に従ってください。

ハードディスクを復元する

「システムイメージの作成」を使ってバックアップしたイメージデータを復元するには、「システム回復オプション」の「システムイメージの回復」を使います。
「システムイメージの回復」を起動するには、次の手順を行ってください。

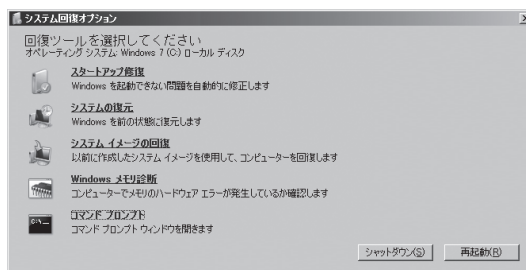
● Windowsが正常に起動する場合

① （スタート）-[コントロールパネル]-[バックアップの作成]をクリックする。
② [システム設定またはコンピューターの回復]をクリックする。
③ [高度な回復方法]をクリックする。
④ [以前に作成したシステムイメージを使用してコンピューターを回復する]をクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は[はい]をクリックしてください。
標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力して[はい]をクリックしてください。
⑤ ファイルをバックアップする場合は、[今すぐバックアップ]をクリックする。
画面の指示に従って、ファイルのバックアップを行ってください。
ファイルをバックアップしない場合は、[スキップ]をクリックしてください。
⑥ [再起動]をクリックする。
本機が再起動します。
パスワードの入力画面が表示された場合は、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力し、Enterを押してください。
⑦ [次へ]をクリックする。
すでに選択されているキーボード入力方式以外は指定しないでください。
⑧「このコンピューター上にシステムイメージが見つかりません」という画面が表示された場合は、システムイメージをバックアップした記憶メディア（外付けハードディスクなど）を本機に接続し、[再試行]をクリックする。
⑨「コンピューターイメージの再適用」画面で、[次へ]をクリックする。
以降は画面の指示に従ってください。

● Windowsが起動しない場合
「システム回復オプション」を起動し、[システムイメージの回復]をクリックしてください。
（➡83ページ）

システム回復オプションについて

システム回復オプションには、Windowsが正常に起動しなくなった場合に、システムファイルの修復などを行って起動できるようにする機能が集まっています。

システム回復オプション

システム回復オプションには、次のような機能があります。

スタートアップ修復	システムファイルが不足しているなど、Windowsが正常に起動しないとき、その問題を修復します。
システムの復元	システムファイルが正常に動作していたときの状態に戻します。個人用ファイル（文書やメールなど）は変更せず、システムファイルだけを元に戻すことができます。
システムイメージの回復	バックアップしたシステムイメージを使って、Windowsを復元します。
Windowsメモリ診断	メモリーにハードウェアエラーが起きていないか調べます。
コマンドプロンプト	コマンドプロンプトのウィンドウを開きます。

システム回復オプションを表示するには、次の手順を行ってください。

●「詳細ブートオプション」画面から行う方法

① ACアダプターを接続する。
② パソコンの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が消えたとき（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード設定時はパスワード入力後）に F8 を押し続け、「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、指を離す。
「詳細ブートオプション」画面が表示されない場合は、リカバリーディスクを使ってください。（➡下記）
③「詳細ブートオプション」画面で、↑と↓を使って[コンピューターの修復]を選び Enter を押す。
④「次へ」をクリックする。
すでに選択されている言語とキーボード入力方式以外は指定しないでください。
⑤ Windowsで登録したユーザーアカウント名を選ぶ。
⑥ パスワードを入力し、[OK]をクリックする。

●リカバリーディスクを使う方法（リカバリーディスクと同じ種類のWindowsがインストールされている必要があります）

①「リカバリーディスクを使う」(➡88ページ）の手順1～8を行う。
② [システム回復オプションを起動する。]をクリックし、[次へ]をクリックする。
③「次へ」をクリックする。
すでに選択されている言語とキーボード入力方式以外は指定しないでください。
④「次へ」をクリックする。

●作成したシステム修復ディスクを使う方法

リカバリーディスクと異なる種類のWindows（32ビットまたは64ビット）をインストールしている場合（例：リカバリーディスクが64ビット用で、インストールされているOSが32ビットの場合）は、リカバリーディスクを使って「システム回復オプション」を表示することはできません。あらかじめ作成しておいたシステム修復ディスクを使ってください。（➡87ページ）
「システム回復オプション」の表示方法は、「リカバリーディスクを使う方法」と同じです（➡上記）。修復ディスクからの起動時、何かキーを押すように促すメッセージが表示されます。キーを押した後、画面の指示に従って操作するとシステム回復オプションが表示されます。

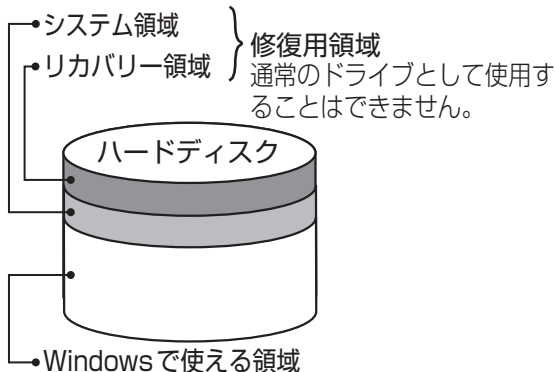
再インストールする

再インストールとは

再インストールとはハードディスクをフォーマットして、Windowsをインストールし直すことです。Windows 7（32ビット）またはWindows 7（64ビット）をインストールすることができます。
ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。また、お買い上げ後にお客さまがインストールされたアプリケーションソフトや各種設定（インターネットの設定など）も削除されます。
Windowsが起動しなくなったり、Windowsの動作が不安定になって修復できなくなったりした場合は、再インストールが必要です。

● **パーティションを複数作成している場合**
Windows用とデータ用にパーティションを分けている場合は、データ用のパーティションをそのままにしてWindowsだけを再インストールすることができます。

重 要

ハードディスク内の修復用領域は絶対に削除しないでください。
本機のハードディスクには、再インストールに必要なリカバリーデータが保存された修復用領域があります。修復用領域はリカバリー領域とシステム領域で構成されています。

● リカバリーデータを他のメディアにバックアップすることはできません。また、外付けのハードディスクなどにバックアップを取ることはできません。
万一、修復用領域が壊れたり、ハードディスクからの再インストールができなくなった場合は、リカバリーディスクを使用してください。（➡88ページ）

● ハードディスクリカバリーはダイナミックディスク（ディスク管理方式の一種）には対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。

再インストールの流れ

必要なデータのバックアップを取る
▼
ネットワークの設定、ユーザー名やパスワードをメモしておく。
▼
セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。
▼
再インストールする（約15分）。
（リカバリーディスク使用時は約30分）
▼
Windows のセットアップを行う。
▼
セットアップユーティリティの設定を変更する（必要な場合のみ）。
▼
インターネットに接続できる場合は、Windows Updateを行う。

再インストールの前に

周辺機器およびSDメモリーカードなどは、すべて取り外してください。
特に、USBフロッピーディスクドライブ、USB接続のメモリーや外付けのハードディスクを接続したままでは、再インストールが正常に行われない場合があります。

CPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムをWinDVDに組み込んでお使いになっていた場合は、CPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムをSDメモリーカードなどのメディアに保存してください。

再インストール後は、CPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムを再インストールする必要があります。CPRM拡張機能（CPRM Pack）は、登録ユーザーが20回までダウンロードできますが、再インストール前にメディアに保存することをお勧めします。
まだ一度もダウンロードされていない場合やダウンロードが20回に達していない場合は、再インストール後にダウンロードすることができます。（➡47ページ）

重要

●再インストールしても、DVD-Video/BD-Video（ブルーレイディスクドライブ搭載モデルの場合）のリージョンコードを設定できる回数は、工場出荷時の状態に戻りません。

再インストールする

重要

再インストールの途中で電源を切るなどして、再インストールを中止しないでください。Windowsが起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

1 **作成したデータなどのバックアップが取れる状態であれば、他のメディアや外付けハードディスクなどにバックアップを取る。**

再インストールすると、インストールしたアプリケーションソフトやメールの履歴などお客さまが作成したデータは、削除されます。

●データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作/誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。

2 **ネットワークの設定をメモしておく。**

再インストールすると現在の設定は消去されます。

3 **ユーザー名やパスワードをメモしておく。**

再インストールするとユーザーアカウントが削除され、Windowsパスワードも削除されます。

4 **パソコンの電源を切り、ACアダプターを接続する。**

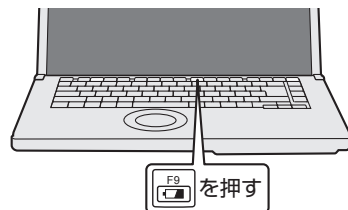
5 **パソコンの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押し、セットアップユーティリティを起動する。**

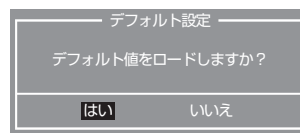
●「Panasonic」起動画面が表示されない場合は、F2 または Del を押したまま電源を入れてください。セットアップユーティリティの画面またはパスワード入力画面が表示されるまで、F2 または Del を押したままにしてください。

●パスワードを設定している場合は、次の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。

ユーザーパスワードでは、各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す F9 は使えません。

●お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、あらかじめ変更した設定をメモしておくことをお勧めします。

6 **F9 を押す。**

7 **次の画面で［はい］を選び、Enter を押す。**

困ったとき

8 F10 を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enter を押す。

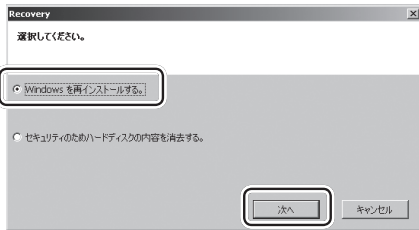
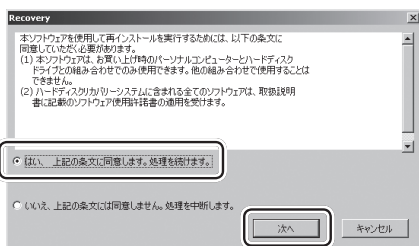
セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、Enter を押してください。

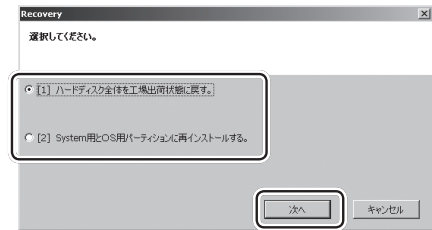
9 「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押し、セットアップユーティリティを起動する。

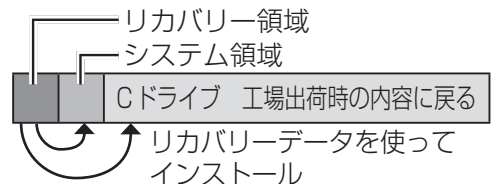
10 ← と → を使って「終了」メニューに移動する。

11 ↑ と ↓ を使って[コンピュータの修復]を選び、Enter を押す。

12 [Windowsを再インストールする。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。

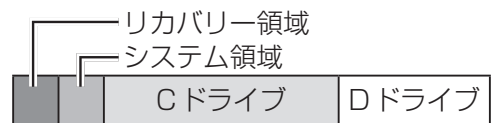
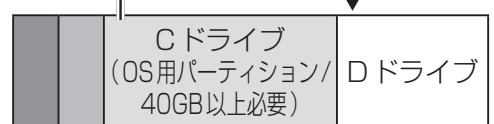
[キャンセル]をクリックすると、操作を中止できます。

13 [はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。

(リカバリーディスクを使って再インストールした場合は、以降の画面が一部異なります。)

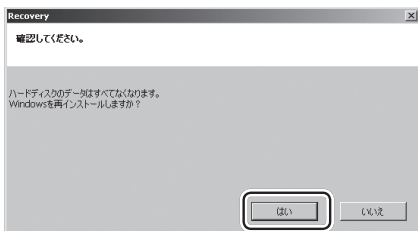
14 再インストールの方法を選び、[次へ]をクリックする。

再インストール方法によって、再インストール後のハードディスクの構成が異なります。
(リカバリー領域には、再インストールに必要なリカバリーデータが入っています。)

- **[[1] ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す]を選んだ場合:**

工場出荷時の状態に戻したい場合や工場出荷時の状態から新たにパーティションを作成する場合に選んでください。パーティションの変更方法は63ページをご覧ください。

- **[[2] System用とOS用パーティションに再インストールする]を選んだ場合:**

この項目は、次の図のようにあらかじめパーティションを分けてお使いの場合に選んでください。パーティションの分割方法は63ページをご覧ください。

【再インストール前】
ハードディスクを複数のパーティションに分けて使用。

ハードディスクを複数のパーティションに分けて使用しており、ハードディスクの構成を変更せずにCドライブ以外のパーティションのデータを残したい場合に選んでください。
予期しない誤動作/誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。必ずデータのバックアップを取っておいてください。システム領域とOS用パーティションにWindowsを再インストールできない状態の場合は、[[2]System用とOS用パーティションに再インストールする]の項目は表示されません。

15 確認のメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。

（画面は[[1] ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す]を選んだ場合の例です。）

16 「OS選択」画面でインストールするOS（[Windows7 32bit]または[Windows7 64bit]）をクリックし、[OK]をクリックする。

17 [OK]をクリックする。

- 再インストールが始まります。
- 再インストールの途中で電源を切るなどして、再インストールを中止しないでください。

18 終了のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

パソコンの電源が切れます。

19 電源を入れ、Windowsのセットアップを行う。

（➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』）

20 セットアップユーティリティを起動して、必要に応じて設定を変更する。

パスワード、日付、時間を除くすべての設定は、工場出荷時の状態に戻っています。

21 インターネットに接続できる場合は、（スタート）-[すべてのプログラム]-[Windows Update]をクリックし、Windows Updateを行う。

● **リカバリーディスクと異なる種類のWindows（32ビットまたは64ビット）を手順16で選んだ場合は、システム修復ディスクを作成してください（例：リカバリーディスクが64ビット用で、32ビットをインストールした場合）。**
システム修復ディスクは、ハードディスクから「システム回復オプション」を起動できない場合などに使います。
リカバリーディスクと同じ種類のWindowsをインストールした場合は、システム修復ディスクを作成する必要はありません。
システム修復ディスクの作成方法：
① （スタート）-[コントロールパネル]-[バックアップの作成]をクリックする。
② [システム修復ディスクの作成]をクリックする。
③ CD/DVDドライブに未使用のディスクをセットして、[ディスクの作成]をクリックする。
終了したら[閉じる]をクリックしてください。
作成したシステム修復ディスクを使って「システム回復オプション」を表示する方法については、「ハードディスクを復元する」（➡83ページ）をご覧ください。

重 要

● Microsoft® Officeインストール済みモデルをお使いの場合
- プロダクトリカバリーDVD-ROMが付属しているモデルをお使いで、プロダクトリカバリーDVD-ROMを使ってWindowsを再インストールした場合は、ExcelやWordなどMicrosoft® Officeのアプリケーションソフトが削除されます（その後、ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って再インストールしてもMicrosoft® Officeのアプリケーションソフトはインストールされません）。
再インストールした後、付属の『マイクロソフト オフィスホームアンドビジネス 2010』内のディスクを使ってセットアップしてください。
- ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータやお客さまが作成されたリカバリーディスクを使って再インストールした場合はMicrosoft® Officeのアプリケーションソフトもインストールされます。ディスクを使ってセットアップする必要はありません。

再インストールする

メモ

● CPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムをWinDVDに組み込んでお使いになっていた場合は、Windowsをセットアップした後、CPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムを保存しておいたメディアを使って再インストールするか、ダウンロードしてください。

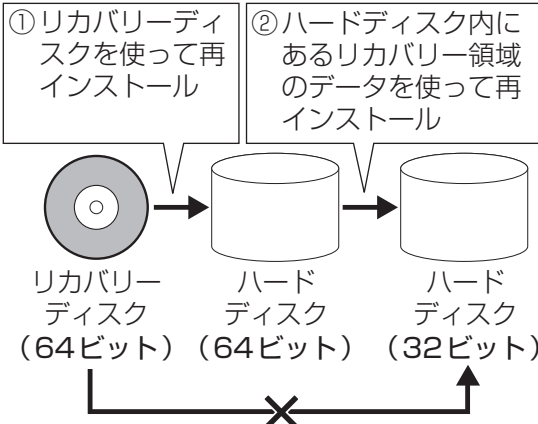
リカバリーディスクを使う

次の場合は、リカバリーディスクを使って再インストールしてください。

● 管理者アカウントのパスワードがわからなくなった場合。

●「再インストールする」（➡84ページ）の操作が最後まで実行できない場合（修復用領域が破損している可能性があります）。

リカバリーディスクを使った再インストールでは、Windows 7の32ビットと64ビットを切り替えることはできません。お買い上げ時にインストールされているWindowsがインストールされます。切り替えるには、ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って再インストールしてください。（➡85ページ）

● Windows 7（64ビット）のリカバリーディスクをお持ちの場合の例
リカバリーディスクを使ってWindows 7（64ビット）を再インストールした後、リカバリー領域のデータを使ってWindows 7（32ビット）を再インストールしてください。

リカバリーディスクを使って、リカバリーディスクと異なる種類のWindowsをインストールすることはできません。

重要

● **リカバリーディスク（プロダクトリカバリーDVD-ROM）が付属していないモデルをお使いの場合、再インストールすると、リカバリーディスクを再度作成できるようになります。**
DVD-Rまたは+R（1層）のディスクを使ってリカバリーディスクを複数回作成し、作成したリカバリーディスクを使って再インストールするときは、1枚目と同じときに作成した2枚目（モデルによっては2枚目および3枚目）を使用してください。
再インストール前に作成した1枚目と再インストール後に作成した2枚目を使用するなど、異なる時期に作成したリカバリーディスクを混在して使用すると、正しく再インストールできない場合があります。

次の手順で、ハードディスクのデータの消去や、「システム回復オプション」の起動も行うことができます。

1 **「再インストールする」（➡85ページ）の手順1～7を行う。**

2 **←と→を使って「メイン」メニューに移動する。**

3 **↑と↓を使って[光学ドライブ電源]を選び、Enterを押して[オン]を選び、Enterを押す。**

4 **F10を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押す。**
セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、Enterを押してください。

5 **「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押し、セットアップユーティリティを起動する。**

6 **リカバリーディスクをCD/DVDドライブにセットする。**

- DVD-Rまたは+R（1層）のディスクを使ってリカバリーディスクを作成した場合は、1枚目のディスクをセットしてください。
- CD/DVDドライブのトレイが開かない場合は、次の手順を行ってください。
  ①「詳細」メニューの[光学ドライブ]を[有効]、「メイン」メニューの[光学ドライブ電源]を[オン]に設定する。
  ② F10 を押し、確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、Enter を押す。
  ③「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押し、セットアップユーティリティを起動する。
  ④ リカバリーディスクをセットする。

7 **←と→を使って「終了」メニューに移動する。**

8 **↑と↓を使って[デバイスを指定して起動]の下に表示されているCD/DVDドライブのデバイス名を選び、Enter を押す。**

- CD/DVDドライブのデバイス名はSlimtype DVDXXXやMATSHITAXXXなどで表示されます。デバイス名がわからない場合は次の手順を行ってください。
  ① [起動]メニューに移動する。
  ② [起動オプション#1]を選び Enter を押し、[光学ドライブ]を選んで Enter を押す。
  ③ F10 を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び Enter を押す。

  次の画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。

9 **[Windowsを再インストールする。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。**

[キャンセル]をクリックすると、操作を中止できます。

10 **[はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。**

11 **再インストールの方法を選び、[次へ]をクリックする。**

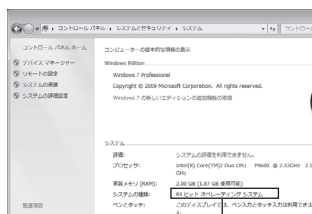
- 再インストール方法によって、再インストール後のハードディスクの構成が異なります。詳しくは86ページ手順14をご覧ください。
- 以降は画面の指示に従って、再インストールしてください。
- DVD-Rまたは+R（1層）のディスクを使ってリカバリーディスクを作成した場合は、途中で「ドライブに...番目のメディアを挿入してください」というようなメッセージが表示されます。メッセージに表示されている番号のリカバリーディスクをセットして[OK]をクリックしてください。
- 手順9で[セキュリティのためハードディスクの内容を消去する]を選ぶと、ハードディスクのデータの消去を行うことができます。

Windows 7のシステムの種類を確認する

次の手順でハードディスクにインストールされているWindows 7が32ビットか64ビットかを確認することができます。

1 **（スタート）-[コンピューター]をクリックする。**

2 **[システムのプロパティ]をクリックする。**

「システム」の「システムの種類」で確認してください。

- 32ビットの場合：
  32ビット オペレーティング システム
- 64ビットの場合：
  64ビット オペレーティング システム

困ったとき

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

ハードディスクデータ消去ユーティリティを利用すれば、内蔵ハードディスクに保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去できます。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客さまの損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

次の点を確認してください。

- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- データ消去には、1時間～7時間かかります（ハードディスクの容量によって消去時間は異なります）。
- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行するとハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。
- 修復用領域（➡84ページ）は消去されません。

データをすべて消去する

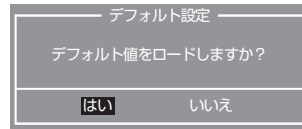
1 ACアダプターを接続する。

2 パソコンの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押し、セットアップユーティリティを起動する。

- 「Panasonic」起動画面が表示されない場合は、F2 または Del を押したまま電源を入れてください。セットアップユーティリティの画面またはパスワード入力画面が表示されるまで、F2 または Del を押したままにしてください。
- パスワードを設定している場合は、次の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。

ユーザーパスワードでは、各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す F9 は使えません。

3 F9 を押す。

4 次の画面で［はい］を選び、Enter を押す。

5 F10 を押して、確認のメッセージが表示されたら、［はい］を選び、Enter を押す。

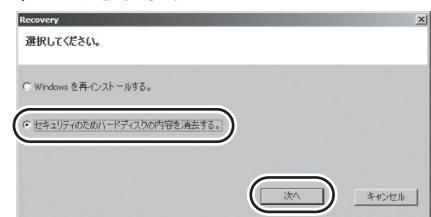
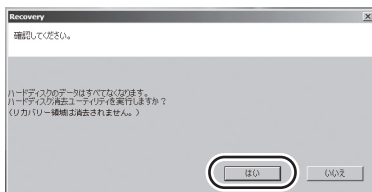
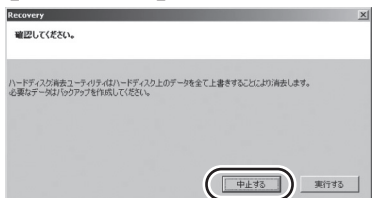
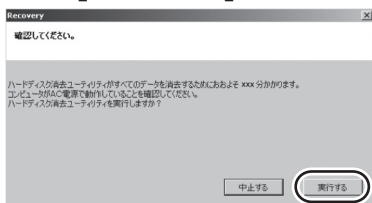
セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、Enter を押してください。

6 「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押し、セットアップユーティリティを起動する。

7 ← と → を使って「終了」メニューに移動する。

8 ↑ と ↓ を使って［コンピュータの修復］を選び Enter を押す。

9 ［セキュリティのためハードディスクの内容を消去する］をクリックして選び、［次へ］をクリックする。

［キャンセル］をクリックすると、操作を中止できます。

10 確認のメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。

11 [実行する]をクリックする。

12 再度[実行する]をクリックする。

13 [はい]をクリックする。

ハードディスクのデータ消去が開始されます。

14 終了のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

- ●パソコンの電源が切れます。
- ●何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

パソコンの廃棄・譲渡時におけるハードディスク内のデータ消去について

データ流出のトラブルを回避するためにはハードディスク内に記録されたすべてのデータを、お客さまの責任において消去することが非常に重要です。

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンの中にあるハードディスクという記憶装置に、お客さまの重要なデータが記録されています。

したがって、そのパソコンを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。

ところが、このハードディスク内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合、一般には次のような操作を行います。

- 「削除」操作を行う
- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- 再インストールをして、工場出荷状態に戻す

しかし、これらの操作を行っても、ハードディスク内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。

したがいまして、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人によって、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（ともに有償）を利用するか、ハードディスク内のデータを金槌や強い磁気によって物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

ハードディスク内にお客さまがインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

エラーコードが表示されたら

電源を入れたとき、次のエラーコードやメッセージが表示された場合は、対処の説明に従ってください。
それでも解決できない場合、またはこれら以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

<table>
<tr><th>エラーコード/メッセージ</th><th>対 処</th></tr>
<tr><td>システムCMOS値が正しくありません。</td><td rowspan="2">セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、内容が変更された場合に起こるエラーです。
●セットアップユーティリティで、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。
●それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>システムCMOSのチェックサムが正しくありません。</td></tr>
<tr><td>日付と時刻の設定が正しくありません。20XX/01/01に設定しました。</td><td>日付と時刻の設定が正しくありません。
●セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、日付と時刻を正しく設定してください。
●それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>エラー
ハードディスク保護により、アクセスが禁止されています。
セットアップユーティリティを起動し、正しく設定し直してください。</td><td>ハードディスクへのアクセスが禁止されています。
●セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで、[ハードディスク保護]を[無効]に設定してください。</td></tr>
<tr><td>< F2 >キーを押すとセットアップを起動します。</td><td>●エラー内容をメモした後、F2またはDelを押してセットアップユーティリティを起動してください。設定を確認し、必要に応じて適切な値に設定し直してください。</td></tr>
<tr><td>Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key</td><td rowspan="2">起動しようとしたフロッピーディスクやハードディスクにOSが正しくインストールされていません。
●フロッピーディスクドライブに起動できないフロッピーディスクがセットされている場合は、取り出してください。
●ハードディスクから起動できない場合は、セットアップユーティリティの「情報」メニューでハードディスクが正しく認識されているか確認してください。
・認識されている場合（「xxx GB」と表示）は、再インストールを行ってください。
・認識されていない場合（「なし」と表示）は、ご相談窓口にご相談ください。
●USB ポートに機器を接続している場合は、取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[レガシー USB]を[無効]に設定してください。</td></tr>
<tr><td>Disk error
Press any key to restart</td></tr>
</table>

セットアップユーティリティの起動方法：➡51ページ

アプリケーションソフトの問い合わせ先

本機に付属のアプリケーションソフトが正しく動作しない場合、まず、『操作マニュアル』「(アプリケーションソフト)」や各アプリケーションソフトのヘルプを十分にご確認ください。
インターネットに接続できる場合は、各アプリケーションソフトのメーカーのホームページにある、よくある質問などのサポート情報もご覧ください。ここにも問題解決方法やヒントが記載されていない場合は、お使いのパソコンの状況をご確認のうえ、下記へお問い合わせください。

（2011年2月1日現在）

●**緑のgooスティック**　goo事務局
Internet Explorerを起動したときに goo が表示されている場合のみ緑のgooスティックを使うことができます。

受付時間	月～金曜日 10:00 ～ 18:00（年末年始、祝祭日を除く）		
電話	045-848-4190（FAXによるお問い合わせは受け付けておりません）		
E-mail	info@goo.ne.jp	Web	http://stick.goo.ne.jp/

●Roxio Creator LJB　Roxioサポートセンター

受付時間	月～金曜日 10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00（祝祭日、特定休業日を除く）
電話	ナビダイヤル：0570-00-6940 （Roxioサポートセンターに電話でお問い合わせをされた場合、電話回線や端末の種類によって通話料が異なります。）

●WinDVD　コーレル株式会社　テクニカルサポート

受付時間	月～金曜日、10:00 ～ 12:00、13:30 ～ 17:30（祝祭日、夏季･年末年始特定休業日を除く）		
電話	03-3544-8179	FAX	03-3544-8175
E-mail	メールでのお問い合わせはWebフォームをご利用ください。詳細は右記のWebページをご覧ください。	Web	http://www.corel.jp/support

●**マカフィー・PCセキュリティセンター**（デスクトップに が表示されている機種をお使いの場合のみセットアップすることができます）

マカフィー・インフォメーションセンター

対応内容	マカフィー製品購入前のマカフィー製品に関するお問い合わせ
サポートページ	マカフィー・サポート http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/
	E-mailによるお問い合わせフォーム http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/info_redirect.asp
電話	ナビダイヤル：0570-010-220 ／ IP電話、光電話の場合：03-5428-1899
受付時間	9:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日を除く）

マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

対応内容	登録方法に関するご相談やお客さま登録情報の変更など
サポートページ	マカフィー・サポート http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/
	E-mailによるお問い合わせフォーム http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_redirect.asp
電話	ナビダイヤル：0570-030-088 ／ IP電話、光電話の場合：03-5428-1792
受付時間	9:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日を除く）

マカフィー・テクニカルサポートセンター

対応内容	ソフトウェアの操作方法や不具合などの技術的なお問い合わせ
サポートページ	マカフィー・サポート http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/
	マカフィー・チャットサポート http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp
	E-mailによるお問い合わせフォーム http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportform_redirect.asp
電話	ナビダイヤル：0570-060-033 ／ IP電話、光電話の場合：03-5428-2279
受付時間	9:00 ～ 21:00（年中無休）

（FAXによるお問い合わせは受け付けておりません）

アプリケーションソフトの問い合わせ先

●「i-フィルター 5.0」30日お試し版

窓口	デジタルアーツ株式会社 サポートセンター
FAQ	http://www.daj.jp/faq/
お問い合わせフォーム	http://www.daj.jp/ask/
E-mail	p-support@daj.co.jp
電話	月～金：03-3580-5678（受付時間 10:00 ～ 18:00（祝祭日を除く）） 土日祝祭日：0570-00-1334（受付時間 10:00 ～ 20:00） （指定休業日を除く）
URL	http://www.daj.jp/

●ATOK for Windows無償試用版

対応内容	ATOKの製品購入に関するお問い合わせ
窓口	インフォメーションセンター
電話	03-5324-7624（東京） 06-6886-9300（大阪）
受付時間	平日9:30 ～ 18:00（土・日・祝日・特別休業日を除く）
サポートサイト	http://www.justsystems.com/jp/if/

対応内容	ATOK試用期間中の操作に関するお問い合わせ
電話	088-666-1523
受付時間	平日10:00 ～ 17:00（土・日・祝日・特別休業日を除く）
サポートサイト	http://support.justsystems.com/jp/

対応内容	ATOK製品購入後の操作に関するお問い合わせ
電話	03-5324-7605（東京） 06-6886-7160（大阪）
受付時間	平日9:30 ～ 18:00（土・日・祝日・特別休業日を除く）
サポートサイト	http://support.justsystems.com/jp/

●キングソフト辞書

窓口	キングソフトサポートセンター
お問い合わせフォーム	https://pay.kingsoft.jp/contact/contact_ksd.html
E-mail	ksd_spt@kingsoft.jp
電話	ナビダイヤル：0570-008230
受付時間	10：00 ～ 17：00（土・日・祝祭日を除く）
URL	http://www.kingsoft.jp/dictionary/

●WinZip 14.5日本語版

窓口	コーレル株式会社Corelストア サービスセンター
E-mail	jpstore@corel.com
電話	ナビダイヤル：0570-009-002
受付時間	月～金曜日、10:00 ～ 12:00、13:30 ～ 17:30（祝祭日、夏季・年末年始・特定休業日を除く）
FAX	03-3544-8175
サポートページ	www.corel.jp/winzip/panasonic.html

フィルタリングについて

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットを利用すると世界中の情報にアクセスすることができますが、中には違法な情報や有害な情報も存在します。次のような情報は、青少年の健全な発育を妨げるだけでなく、青少年による犯罪や財産権侵害、人権侵害などの問題を助長していると見られています。

- アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- 出会い系サイト
- 暴力残虐画像を集めたサイト
- 他人の悪口やひぼう中傷を載せたサイト
- 犯罪を助長するようなサイト
- 毒物や麻薬情報を載せたサイト

情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるため、上述のようなサイトも公開をやめさせることはできません。また、日本では非合法でも、そのWebサイトを発信している国では合法なものもあります。

有害なインターネット上の情報の受信を自動的に制限する技術が、「フィルタリング」です。これは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、有害な情報の受信を制限できる有効な手段です。特に青少年がインターネットを利用する家庭では、パソコンにフィルタリング機能を持つソフトウェアをインストールするか、インターネット事業者のフィルタリング・サービスの利用をお勧めします。

本機には、「フィルタリング」機能をサポートするソフトウェアとして「i-フィルター 5.0」30日お試し版が用意されています。デスクトップの（有害サイトから守るiフィルターのセットアップ）をダブルクリックして「i-フィルター 5.0」30日お試し版をインストールすることができます。

「フィルタリング」は、ソフトウェアあるいはサービス事業者によって、「有害サイトブロック」「Webフィルター」「インターネット利用管理」などと表現される場合もあり、機能や利用条件が異なります。ソフトウェア提供会社あるいは、お客さまが契約されているインターネット事業者に、事前に確認されることをお勧めします。

フィルタリングに関する情報は、社団法人　電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」からも入手できます。

http://it.jeita.or.jp/perinfo/report/pcsupport/index.html

（2011年2月1日現在）

仕様 日本国内専用

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。
下記品番以外のパソコンをお持ちの場合は、付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』などで仕様を確認してください。

●本体仕様

品番		CF-B10AWHDR	CF-B10AWADR
CPU		インテル® vPro™ テクノロジー採用※1	
		インテル® Core™ i5-2520M vPro™ プロセッサー（インテル® スマートキャッシュ 3 MB※2、動作周波数2.50 GHz、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 2.0利用時は最大3.20 GHz）	
チップセット		モバイルインテル® QM67 Expressチップセット	
メインメモリー		標準4 GB※2 DDR3 SDRAM（最大8 GB※2）※3	
空きスロット数		1	
ビデオメモリー		最大1696 MB※2（メインメモリーと共用）※4	
グラフィックアクセラレーター		インテル® HDグラフィックス（インテル® Core™ i5-2520M vPro™ プロセッサーに内蔵）	
ハードディスクドライブ※5		500 GB（Serial ATA） 上記容量のうち約12 GBをリカバリー領域、約300 MBをシステム領域として使用（ユーザー使用不可）	
CD/DVD ドライブ		スーパーマルチドライブ内蔵	
		バッファーアンダーランエラー防止機能搭載	
連続データ転送速度※6※7	再生※8	DVD-RAM※10：最大5倍速、DVD-R※11：最大8倍速、DVD-RW：最大8倍速、DVD-R DL:最大8倍速、DVD-ROM：最大8倍速、+R：最大8倍速、+R DL：最大8倍速、+RW：最大8倍速、High Speed +RW：最大8倍速、CD-ROM：最大24倍速、CD-R：最大24倍速、CD-RW：最大24倍速、High-Speed CD-RW：最大24倍速、Ultra-Speed CD-RW：最大24倍速	
	記録※9	DVD-RAM※10書き換え：2倍速/3倍速/3～5倍速、DVD-R書き込み：2倍速/3倍速/3.5～4倍速/3.5～6倍速/3.5～8倍速、DVD-R DL書き込み:2倍速/3倍速/3～4倍速/3～6倍速、DVD-RW書き換え：2倍速/3倍速/3～4倍速/3～6倍速、+R書き込み：2.4倍速/3倍速/3.5～4倍速/3.5～6倍速/3.5～8倍速、+R DL書き込み：2.4倍速/3倍速/3～4倍速/3～6倍速、+RW書き換え：2.4倍速/3倍速/3～4倍速、High Speed +RW書き換え：3倍速/3～4倍速/3～7倍速/3～8倍速、CD-R書き込み：10倍速/11～16倍速/11～20倍速/11～24倍速、CD-RW書き換え：4倍速、High-Speed CD-RW書き換え：10倍速、Ultra-Speed CD-RW書き換え：10倍速/10～16倍速/10～20倍速/10～24倍速	
対応ディスク、および対応フォーマット※7	再生	DVD-ROM（1層、2層）、DVD-Video、DVD-R※11（1.4GB、2.8GB、4.7GB）※5、DVD-RW（Ver.1.1/1.2　1.4GB、2.8GB、4.7GB、9.4GB）※5、DVD-R DL（8.5GB）※5、DVD-RAM※10（1.4GB、2.8GB、4.7GB、9.4GB）※5、+R（4.7GB）※5、+R DL（8.5GB）※5、+RW（4.7GB）※5、High Speed +RW（4.7GB）※5、CD-Audio、CD-ROM（XA対応）、CD-R、Photo CD（マルチセッション対応）、Video CD、CD EXTRA、CD-RW、High-Speed CD-RW、Ultra-Speed CD-RW、CD-TEXT	
	記録	DVD-RAM※10（1.4GB、2.8GB、4.7GB、9.4GB）※5、DVD-R（1.4GB、2.8 GB、4.7GB for General）※5、DVD-R DL（8.5GB）※5、DVD-RW（Ver.1.1/1.2　1.4GB、2.8GB、4.7GB、9.4GB）※5、+R（4.7GB）※5、+R DL（8.5GB）※5、+RW（4.7GB）※5、High Speed +RW（4.7GB）※5、CD-R、CD-RW、High-Speed CD-RW、Ultra-Speed CD-RW	
表示方式		15.6型ワイド（16:9）Full HD TFTカラー液晶（1920×1080ドット）	
内部LCD表示		1920×1080ドット：約1677万色※12	
外部ディスプレイ表示※13		800×600ドット、1024×768ドット、1280×720ドット、1280×768ドット、1280×1024ドット、1360×768ドット、1366×768ドット、1400×1050ドット、1600×900ドット、1680×1050ドット、1600×1200ドット、1920×1080ドット、1920×1200ドット：約1677万色	
本体＋外部ディスプレイ同時表示※13		800×600ドット、1024×768ドット、1280×720ドット、1280×768ドット、1280×1024ドット、1360×768ドット、1366×768ドット、1400×1050ドット、1600×900ドット、1680×1050ドット、1600×1200ドット、1920×1080ドット：約1677万色※12	
無線LAN		インテル® Centrino® Advanced-N 6205 無線LAN：IEEE802.11a（W52/W53/W56）/b/g/n準拠※14（➡101ページ）	

品番		CF-B10AWHDR	CF-B10AWADR
LAN※15		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T	
サウンド機能		PCM音源(24ビットステレオ)、インテル® High Definition Audio準拠、ステレオスピーカー	
セキュリティチップ		TPM(TCG V1.2準拠)※16	
カードスロット		SDメモリーカードスロット※17×1スロット(SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード対応/著作権保護技術対応)	
拡張メモリースロット		DDR3 204ピンSO-DIMM×1スロット(1.5 V/PC3-8500/DDR3 SDRAM)	
インターフェース		USBポート×3(USB2.0×3)※18、LANコネクター(RJ-45)※15、外部ディスプレイコネクター(アナログRGB ミニDsub 15ピン)、HDMI出力端子※19、マイク入力端子(ステレオミニジャックM3(プラグインパワー対応))※20、オーディオ出力端子(ステレオミニジャックM3)	
キーボード/ポインティングデバイス		OADG準拠キーボード(90キー)、キーピッチ:19 mm(縦・横/一部キーを除く)/ホイールパッド	
電源		ACアダプターまたはバッテリーパック	
ACアダプター※21		入力:AC 100 V ~ 240 V、50 Hz/60 Hz、出力:DC 16 V、4.06 A、電源コードは100 V専用	
バッテリーパック		10.8 V(リチウムイオン)、公称容量4.5 Ah/定格容量4.2 Ah	
	バッテリー駆動時間※22	•付属のバッテリーパック(L)装着時: 約6時間(バッテリーのエコノミーモード(ECO)無効時) •別売りのバッテリーパック(S)装着時: 約3時間(バッテリーのエコノミーモード(ECO)無効時)	
	バッテリー充電時間※23	約2時間(電源オフ時)/約3時間(電源オン時)	
消費電力		最大約65 W※24 (社)電子情報技術産業協会 情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく定格入力電力値:39 W 23-J-1	
外形寸法		幅370.8 mm×奥行き229 mm×高さ31.4 mm / 43.2 mm(前部/後部)突起部除く	
質量※25	パソコン本体	約1.88 kg(付属のバッテリーパック(L)(約0.31 kg)装着時)	
	ACアダプター	約0.2 kg(電源コード(約0.06 kg)除く)	
使用環境条件		温度:5 ℃~ 35 ℃ 湿度:30 % RH ~ 80 % RH(結露なきこと)	
OS※26	ベースOS	Windows® 7 Professional 32ビット正規版(日本語版)/Windows® 7 Professional 64ビット正規版(日本語版) (Windows XP Mode搭載)	
	インストールOS	Windows® 7 Professional 64ビット正規版(日本語版) (Windows XP Mode搭載)	
Microsoft® Office Home and Business 2010		導入済み	—

●導入済みソフトウェア※26

○:セットアップ済み/セットアップ不要
■:セットアップが必要

こんなときに使う		アプリケーション名	お買い上げ時の状態
インターネット/ネットワーク	ホームページを見る	Microsoft® Internet Explorer 8.0	○
	インターネットで検索する	緑のgoo スティック※27	○
	ネットワークを簡単に切り替える	ネットセレクター 2	○
	IEEE802.11a設定を切り替える	無線切り替えユーティリティ	○
セキュリティ	セキュリティを設定する	セキュリティ設定ユーティリティ	○
	ウイルス対策をする	マカフィー・PCセキュリティセンター	■※28
	有害サイトへのアクセスを防止する	「i-フィルター 5.0」30日お試し版	■※29
	内蔵セキュリティチップ(TPM)を使って暗号化する	Infineon TPM Professional Package V3.7	■※30
PDFファイル	PDFファイルを見る	Adobe Reader※31	○

仕様

こんなときに使う		アプリケーション名	お買い上げ時の状態
ファイル管理	ファイルを圧縮／解凍する	WinZip 14.5日本語版	■※32
バッテリー	バッテリー残量表示を補正する	バッテリー残量表示補正ユーティリティ	○
ホイールパッド	ホイールパッドをより使いやすくする	ホイールパッドユーティリティ	○
キーボード／文字入力	テンキーモードを知らせる	NumLock お知らせ	○
	Fnキーをより使いやすくする	Hotkey 設定	○
		Fn Ctrl 機能入れ換えユーティリティ	■※33
	日本語入力時、便利な変換機能や文章校正機能を使う	ATOK for Windows無償試用版	■※34
	指定したテキストの意味を表示する辞書ソフトを使う	キングソフト辞書	■※35
電源プラン／省電力	電源プランの切り替えや省電力の設定をする	電源プラン拡張ユーティリティ	○
CD/DVDの作成	CD/DVDに書き込む／DVDビデオの作成	Roxio Creator LJB（MyDVD含む）	○
音楽／動画	音楽や動画を再生する	Microsoft® Windows® Media Player 12	○
	DVDビデオを見る	Corel® WinDVD® 2010（OEM 版）CPRM対応※36	○
周辺機器	外部ディスプレイをより使いやすくする	プロジェクターヘルパー	○
	USBキーボード接続時にテンキーモードに切り替える	USBキーボードヘルパー	■※37
	外部ディスプレイ接続時、拡張デスクトップモードをより使いやすくする	ディスプレイヘルパー	■※38
	プロジェクターに画面を映す	Wireless Manager mobile edition 5.5	■※39
	インテル® ワイヤレス・ディスプレイを使って外部ディスプレイに画面を表示する	インテル® ワイヤレス・ディスプレイ・ソフトウェア	■※40
画面	虫めがねのように画面の一部を拡大表示する	ズームビューアー	○
	画面全体を拡大表示する	ぴったりビュー	■※41
	画面表示を分割する	画面分割ユーティリティ	■※42
Windows 7に対応していないアプリケーションソフトの動作確認	Windows 7のデスクトップ上で、Windows XP環境を実行する	Windows XP Mode	■※43
パソコンの設定変更／状態確認	Windows が起動するまでの時間を短縮する	クイックブートマネージャー	○
	CD/DVD ドライブ文字を変更する	オプティカルディスクドライブ文字変更ユーティリティ	○
	ホームページの更新情報／バッテリーやハードディスクに関する情報などを表示する／HDMI接続を補助する	PC情報ポップアップ	○
	パソコンの使用状態を確認する	PC情報ビューアー	○
	パソコンの各種設定をする	Aptioセットアップユーティリティ	○
	ハードウェアを診断する	PC-Diagnosticユーティリティ※44	○
リカバリーディスクの作成	リカバリー領域から再インストールできなくなったときに備えて、リカバリーディスクを作成する	リカバリーディスク作成ユーティリティ	○
廃棄や譲渡時	ハードディスクのデータを消去する	ハードディスクデータ消去ユーティリティ※45	○

こんなときに使う		アプリケーション名	お買い上げ時の状態
その他	DirectX 11 ※46		○
	Microsoft® .NET Framework 3.5.1		○
	インテル® PROSet/Wireless Software （無線LANの認証方式を拡張しています）		○

※1　インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー（インテル® AMT）の機能をお使いになるには、セットアップユーティリティの[AMT設定]で設定が必要です（➡59ページ）。また、別途管理アプリケーションソフトが必要になります。
　　インテル® アンチセフト・テクノロジーをお使いになる場合は、サービス事業者が提供する専用ソリューションが必要です。（➡58ページ）
※2　1 MB＝1,048,576 バイト。1 GB＝1,073,741,824バイト。
※3　32ビットOSでは仕様により、実際に使用できるメモリーサイズは小さくなります（3.4 GB ～ 3.5 GB）。
※4　本機の動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。ビデオメモリーのサイズはOSにより割り当てられます。
　　Windows 7（32ビット）では最大1557 MBになります。
※5　1 MB＝1,000,000バイト。1 GB＝1,000,000,000バイト。OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でGB表示される場合があります。
※6　データ転送速度は当社測定値。DVDの1倍速の転送速度は1,350 KB/秒。CDの1倍速の転送速度は150 KB/秒。
※7　CD-R、CD-RW、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RWは、書き込み状態や記録形式によっては、性能が保証できない場合があります。また、ご使用のディスク・設定・環境によっては、再生できない場合があります。
　　2.6 GBのDVD-RAMの書き込みには対応していません。
※8　偏重心のディスク（重心が中央にないディスク）を使用すると、振動が大きくなり速度が遅くなることがあります。
※9　使用するディスクによって、書き込み速度が遅くなることがあります。
※10 DVD-RAMは、カートリッジなしのディスクまたはカートリッジから取り出せるディスク（Type2、Type4）のみ使用できます。
※11 DVD-Rは、4.7 GB（for General）の再生に対応。DVD-R（for Authoring）の再生については、ディスクアットワンス記録したものに対応しています。
※12 グラフィックアクセラレーターのディザリング機能を使用して約1677万色表示を実現しています。
※13 パソコン本体の外部ディスプレイコネクターは、パソコン用外部ディスプレイを接続するためのコネクターです。外部ディスプレイによっては、正しく表示できない場合があります。また、家庭用のテレビを外部ディスプレイとしてお使いの場合は、テレビに付属の取扱説明書で対応解像度をご確認ください。HDMI対応ディスプレイを接続した場合、出力可能な最大解像度などの表示スペックは、接続機器の仕様により異なります。詳しくは接続機器の仕様をご確認ください。
※14 本機と通信するには、W52/W53/W56のいずれかに対応した無線LANアクセスポイントをお使いください。IEEE802.11n準拠モードで通信するには、本モードに対応した無線LANアクセスポイントが必要です。また、本機および無線LANアクセスポイントの暗号化設定をAESに設定する必要があります。詳しくは無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。
※15 コネクターの形状によっては使用できないものがあります。伝送速度は、理論上の最大値であり、実際のデータ伝送速度を示すものではありません。使用環境により変動します。
※16 お使いになるにはInfineon TPM Professional Packageをセットアップする必要があります（➡『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「データを保護・暗号化する」）。
※17 UHS-I高速転送に対応しています。
　　容量2 GBまでの当社製SDメモリーカード、容量32 GBまでの当社製SDHCメモリーカード、容量64 GBまでの当社製SDXCメモリーカードの動作を確認済み。
　　すべてのSD機器との動作を保証するものではありません。
※18 USB対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。
※19 HDMI対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。
※20 コンデンサー型マイクロホンをお使いください。
※21 本製品はAC100 V対応の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。（➡13ページ）

20-J-1

※22「JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」による駆動時間。バッテリー駆動時間は動作環境・液晶の輝度・システム設定により変動します。バッテリーのエコノミーモード（ECO）有効に設定しているときの駆動時間は、無効時の約8割になります。
※23 バッテリーのエコノミーモード（ECO）有効（電源オン/オフ）時の充電時間は約3時間。バッテリー充電時間は動作環境・システム設定により変動します。完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。

※24 パソコンの電源が切れていて、バッテリーが満充電や充電していないときはパソコン本体で約0.7 Wの電力を消費します。スリープ状態／休止状態でのバッテリー残量保持期間は、「電源を入れる／切る」をご覧ください（➡30ページ）。
ACアダプターをパソコン本体に接続していなくても、電源コンセントに接続したままにしていると、ACアダプター単体で最大0.3 Wの電力を消費します。
※25 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。
※26 ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って再インストールすると、インストールするOS（Windows 7（32ビット）またはWindows 7（64ビット））を選ぶことができます。お買い上げ時にインストールされているOS、ハードディスクリカバリー機能またはリカバリーディスクを使ってインストールしたOSのみサポートします。
※27 Windows 7（64 ビット）で[Internet Explorer（64 ビット）]を起動した場合、緑のgooスティックは表示されません。
※28 デスクトップの「マカフィーでPCのセキュリティ対策をする」をダブルクリックしてセットアップしてください。ウイルススキャン、サイトアドバイザプラス（安全なウェブ検索）機能のみが搭載されています。その他の機能はインターネットからダウンロードしてご利用いただけます。
ご利用前にユーザー登録が必要です。ユーザー登録をすると、DAT（ウイルス定義ファイル）のアップデートサービスやその他ユーザーサポートがご利用いただけます。90日の試用期間終了後、引き続きご利用になる場合は、表示されたメッセージに従って、有償契約をお申し込みください。
※29 デスクトップの「有害サイトから守るiフィルターのセットアップ」をダブルクリックしてセットアップしてください。
※30 お使いになるにはセットアップが必要です（➡ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「データを保護・暗号化する」）。
※31 Adobe Readerのアップデートを促すメッセージが表示された場合は、画面に従ってアップデートしてください。
Adobe Readerの最新版については次のWebページをご覧ください。
http://www.adobe.com/jp/
※32 デスクトップの「WinZipのセットアップ」をダブルクリックしてセットアップしてください。期間限定の試用版を使うことができます。
※33「C:¥util¥setfnctrl」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックしてセットアップしてください。
※34 デスクトップの「ATOK 無償試用版のセットアップ」をダブルクリックしてセットアップしてください（試用期間：60日間）。
※35 デスクトップの「キングソフト辞書のセットアップ」をダブルクリックしてセットアップしてください。
※36 CPRMで録画されたメディア（DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DLおよびDVD-RW）を再生する場合は、WinDVDにCPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムを組み込んでください（➡ 『操作マニュアル』「（CD/DVD ドライブ）」の「DVD-Videoを見る」（ブルーレイディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合は「DVD-Video/BD-Videoを見る」））。DVD-Audioの再生には対応していません。
※37「C:¥util¥ukbhelp」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックしてセットアップしてください。Panasonic Notificationがインストールされていない場合は、Windowsのログオン画面でUSBキーボードヘルパーは動作しません。
※38「C:¥util¥disphelp」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックしてセットアップしてください。
※39 ワイヤレス投写用アプリケーションソフト。当社製プロジェクター TH-LB20NT/TH-LB30NT/TH-LB50NT/TH-LB55NT/TH-LB60NT/PT-FW100NT/PT-F100NT/PT-F200NT/PT-F300NT/PT-FW300NT/PT-LB51NT/PT-LB75NT/PT-LB80NT/PT-LB90NT/PT-LW80NT/PT-DZ570/PT-DW530/PT-DX500/PT-F300/PT-FW300と無線LAN接続または有線LAN接続するときに使います。PT-DZ570/PT-DW530/PT-DX500は別途ワイヤレスモジュール（別売り）が必要です。
デスクトップの「Wireless Manager mobile editionのセットアップ」アイコンをダブルクリックしてセットアップしてください。
詳しくは『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「プロジェクターを使う」をご覧ください。
※40 インテル® My WiFiテクノロジーをセットアップした後、デスクトップの「Intel(R) Wireless Displayのセットアップ」をダブルクリックしてセットアップしてください。
詳しくは『操作マニュアル』「（無線機能）」の「インテル® ワイヤレス・ディスプレイを使う」をご覧ください。
※41「C:¥util¥optiview」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックしてセットアップしてください。
※42 デスクトップの「画面分割ユーティリティのセットアップ」をダブルクリックしてセットアップしてください。デスクトップに「画面分割ユーティリティのセットアップ」が表示されていない場合は、「C:¥util¥scrpart」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行] をクリックしてセットアップしてください。

※43 (スタート) -[すべてのプログラム]-[Windows Virtual PC]-[Windows XP Mode]をクリックしてセットアップしてください。詳しくは、『操作マニュアル』「(アプリケーションソフト)」の「Windows XP Mode」をご覧ください。アプリケーションソフトの動作環境やWindows 7への対応状況については、アプリケーションソフトのメーカーにお問い合わせください。
Windows XP Modeは、Windows XPが持つすべての機能や性能を保証するものではありません。
※44 起動方法は「ハードウェアを診断する」(➡78ページ) をご覧ください。この機能には（株）ウルトラエックスの技術を使用しています。
※45 修復用領域上で実行するユーティリティ（実行できない場合は、リカバリーディスクから実行してください)。
※46 本機のグラフィックアクセラレーターはDirectX 10.1まで対応しています。

Windows XP Professionalへのダウングレード権について
Windows 7 ProfessionalはMicrosoft社よりWindows XP Professionalへのダウングレード権が与えられています。Windows XPにダウングレードするには、Windows XP Professionalのインストールメディアが必要になります。(本機のWindows 7 Professionalは、Windows XP Modeを使うことができ、Windows 7上でWindows XPを実行することができます。)

●無線LAN

項目		内容
データ転送速度（規格値）※47		IEEE802.11a：54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE802.11b：11/5.5/2/1 Mbps IEEE802.11g：54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE802.11n 20MHz時：6/13/19/26/39/52/58/65/78/104/117/130 Mbps 20MHz、Short GI有効時：7/14/21/28/43/57/65/72/86/115/130/150 Mbps 40MHz時：13/27/40/54/81/108/121/135/162/216/243/270 Mbps 40MHz、Short GI有効時：15/30/45/60/90/120/135/157/180/240/270/300 Mbps
準拠規格		ARIB STD-T66/ARIB STD-T71 IEEE802.11a（W52/W53/W56）、IEEE802.11b、IEEE802.11g、 IEEE802.11n※48（無線LAN標準プロトコル）
伝送方式		OFDM 方式、DS SS方式
有効距離※49		IEEE802.11a：見通し約30 m IEEE802.11b/g/n：見通し約50 m（アクセスポイントとの通信時）
使用無線チャンネル	インフラストラクチャ通信モード	IEEE802.11a/n：36/40/44/48チャンネル（W52） 52/56/60/64チャンネル（W53） 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140チャンネル（W56） IEEE802.11b/g/n：1 ～ 13チャンネル
	ad hoc通信モード	IEEE802.11b/g：1 ～ 11 チャンネル
RF周波数帯域		2.4 GHz帯域（2.4 GHz ～ 2.4835 GHz） 5 GHz帯域（5.15 GHz ～ 5.35 GHz、5.47 GHz ～ 5.725 GHz）※50

※47 無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
表示の数値は、本機と同等の構成を持った機器と通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

IEEE802.11b/g
IEEE802.11a
J52 W52 W53 W56

※48 IEEE802.11n準拠の表記は、他のIEEE802.11n対応製品との接続性を保証するものではありません。
※49 有効距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフト、OSなどの使用条件によって異なります。
※50 5.2GHz/5.3GHz帯（W52/W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。W52/W53をご使用で無線LANがオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめIEEE802.11aを無効に設定しておいてください。5.47GHz ～ 5.725GHzの周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

電源プラン一覧

電源プランの名前	省電力効果のレベル （●の数が多いほど省電力の効果があります）	特徴	利用シーン
パナソニックの電源管理(省電力)	● ● ● ● ●	ACアダプター接続時もバッテリーで使用時も、工場出荷時に用意されている電源プランの中で最も消費電力を節約します。	パソコンの処理速度を抑えても、消費電力を節約したいときに適しています。
パナソニックの電源管理(放熱優先)	● ● ● ●	バッテリーで本機を使用しているときは、バッテリーの駆動時間が長くなります。パソコンの処理速度を抑えて、冷却ファンを高速に回転させることで本体の発熱を抑えます。	使用中に本体が熱いと感じたとき（発熱を下げたいとき）に適しています。
パナソニックの電源管理(モバイル)	● ● ●	バッテリーで本機を使用しているときは消費電力を節約します。ACアダプターを接続すると、パソコンの処理速度を優先します。	出張や外出などで、パソコンを持ち歩くことが多いときに適しています。
省電力	● ● ●	パフォーマンスを抑えて消費電力を節約します。 バッテリーの駆動時間を長くすることができます。	アプリケーションソフトや周辺機器をあまり使わないときには適しています。
パナソニックの電源管理（標準）	● ●	必要に応じて消費電力を増やしたり節約したりします。工場出荷時は、この電源プランに設定されています。	通常の使用時に適しています。
バランス	●	必要に応じて消費電力を増やしたり節約したりします。 [パナソニックの電源管理（標準）]とは、[ワイヤレスアダプタの設定]などが異なります。	通常の使用時に適しています。
パナソニックの電源管理(プレゼンテーション)	●	操作をしない状態が続いてもハードディスクやディスプレイの電源が切れず、スクリーンセーバーも起動しない設定です。また、冷却ファンの回転を低速に設定し、冷却ファンの音を小さくしています。	会議などでプレゼンテーションを行うときに適しています。
高パフォーマンス	省電力の効果なし	パソコンの処理速度を優先します。消費電力は多くなります。	アプリケーションソフトや周辺機器を頻繁に使うときに適しています。

工場出荷時の設定でお使いになった場合の省電力レベルや特徴を説明しています。
省電力効果のレベルは動作環境などにより変動します。

電源プランを切り替える

1 画面右下の通知領域の をクリックして をクリックする。

2 表示されたメニューから、設定したい電源プランをクリックする。
現在設定されている電源プランにチェックマークが付いています。

3 電源プランの変更内容を確認し、[OK] をクリックする。

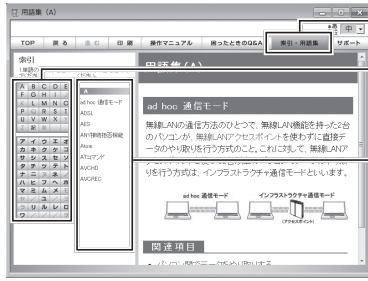
電源プランの詳細設定の変更方法などについては、『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「利用シーンに合った電源設定をする（電源プランの設定）」をご覧ください。

ソフトウェア使用許諾書

第1条	権　　利	お客さまは、本ソフトウェア（パソコン本体に内蔵のハードディスク、付属のマニュアルやCD-ROM/DVD-ROMなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、特許権、著作権またはその他一切の権利は弊社が所有するものであり、お客さまに移転するものではありません。
第2条	第三者の使用	お客さまは、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。
第3条	コピーの制限	本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）を目的とした１回に限定されます。
第4条	使用パソコン	本ソフトウェアは、本パソコン１台での使用とし、他のパソコンで使用することはできません。
第5条	解析、変更 または改造	本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客さまの解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客さまに対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。
第6条	アフターサービス	お客さまが使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。
第7条	免　　責	本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第６条に限ります。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客さまの損害および第三者からのお客さまに対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。
第8条	合意管轄	本ソフトウェアの使用に関して、訴訟の必要が生じた場合、お客さまおよび弊社は弊社の本社所在地を管轄する裁判所に対してのみ訴えを提起することができるものとします。
第9条	準拠法	本ソフトウェアの使用はあらゆる面において日本国の法律に支配され、かつそれに従って解釈されるものとします。
第10条	輸出管理	お客さまが本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

さくいん

の項目は、画面で見る『操作マニュアル』の「索引・用語集」をご覧ください。

デスクトップの 操作マニュアル をダブルクリックしてください。

① 索引・用語集 をクリック

②お探しの用語の頭文字をクリック

③一覧から見たい用語をクリック

さくいん

さくいん

● Microsoftとそのロゴ、Windows、Windowsロゴ、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
● Intel、Intel Core、インテルは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
● SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

● Adobe、Adobeロゴ、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
● McAfee、VirusScanおよびマカフィーは米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
● Corel、Corelロゴ、WinDVDはCorel Corporation、またはその子会社の商標または登録商標です。
● Sonic、Roxio、Roxio CreatorおよびMyDVDは米国Sonic Solutionsの商標または登録商標です。
●「i-フィルター」はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
● HDMI、HDMIロゴ、および High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
● ホイールパッドは、パナソニック株式会社の登録商標です。

その他の製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

重要なお知らせ

● お客さまの使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
● 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命にかかわる機器／装置／システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器／装置／システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
● 本機は、医療診断目的で画像を表示することを意図しておりません。
● お客さままたは第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障／修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化／消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、「使用上のお願い」(➡16 ～ 20ページ）の内容に注意してください。

● 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
● 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
● 落丁、乱丁はお取り換えします。
● 本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
● 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B
2-J-2

本装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じる場合があります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

3-J-1-1

日本国内で無線LANをお使いになる場合のお願い
この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

この機器が、2.4 GHz周波数帯（2400から2483.5 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式／直交周波数分割多重変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約40 mであることを意味します。

25-J-2-1

5 GHz 帯の無線LANをお使いになる場合のお願い
5 GHz 帯の無線LANは、電波法の規制により、屋外で使用できません。
お客さまが2.4 GHz帯11nモードで無線LANをお使いの際に、無線LANのデバイス・プロパティにて802.11nチャンネル幅を「自動」(40 MHz帯域幅も可能) へ設定を変更される場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。また万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、本設定を20 MHzへ戻してください。

43-J-2

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
この記号はヨーロッパ連合内でのみ有効です。
本製品を廃棄したい場合は、日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。

53-J-1

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

22-J-1

愛情点検	長年ご使用のパソコンの点検を！
	こんな症状はありませんか：• 異常な音やにおいがする • 水や異物が入った ▶ ご使用中止：故障や事故防止のため、電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社 ITプロダクツビジネスユニット

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

© Panasonic Corporation 2011

SS0211-0
DFQW5472ZA

Printed in Japan